



発刊のことば

いま子孫に何を遺すか

気高郡連合婦人会会長 村上小枝

“青谷町・長尾鼻が、原子力発電所の候補地に”。地元紙日本海新聞に、ショッキングな記事を見たのは、四年前一九七九年六月のことでした。その年の三月に、スリーマイル島で、世界を震撼させた原発事故が起った直後でした。

折しも、県立博物館で開かれた『私たちは原子力発電と共存できるのか』をテーマにした講演会（一九七九・六・一六）に、会長、副会長ら役員四人で参加しました。講師の京都大学原子炉実験所、小出裕章氏は、まず「原発は人類と共存し得ない」と結論を述べてから、原発が抱える数々の危険性を指摘し、さらに、弱者にしわよせる原子力産業の差別構造は許せないと訴えました。

聴き終えたその時、私たちはこの問題に取り組む決意をかためたのでした。

「いのちとくらしとふるさとを守る」を、貫いた活動目標に掲げてきた気高郡連合婦人会が、この問題を避けて通つたなら、後日後悔する時が来るかもしれない、と直感したからでした。

その年の秋、小出氏を講師に『私たちは次代に何を遺すべきか』をテーマに、青谷の地で郡連合婦人会の大会を開きました。そして「私たちはきれいな農水産物がとれる豊かな自然を子孫に遺そう。自分たちの物質的繁栄のために、地球上の資源を使い切つて、何十万年も毒性が消えぬ核廃物や、荒廃した環境をのこしてはならないのだ」と申し合わせました。

以来、私たちは「原発」「エネルギー」問題や、全国各地の原発立地点や候補地の攻防の状況などの関係書物を、仲間で情報交換し、つぎつぎ購読して学習を深めながら、できる限り運動の輪を広げるために、地域住民に参加を呼びかけて、共同学習の会を重ねました。

また一方で、講演の記録を、県連合婦人会の機関紙『鳥取県婦人新聞』に掲載する広報活動に、力をそぎました。

そんな気高い婦人会の願いを込めて、この講演・記録集をまとめました。

このささやかな小冊子を出版することが、原発を郷土に寄せつけぬ防波堤の一つになり、一人でも多くの人に読んで頂くことが、防波堤をより強くすることになると信じます。

一度狙つたら、決して諦めないと、巨大な力をもこうに、今後何年も続くであろう息の長い闘いの中で、講演・記録集の三人の講師、久米・小出・平井先生が、いつも私たちに話しかけ、力になって下さることでしょう。

発刊を祝して



生命とくらしを守るために

鳥取県連合婦人会会長 近藤久子

『原発のないふるさとを』の発刊を心からおよろこび申し上げます。

原発建設候補地に長尾鼻が、という情報が伝わるとただちに気高郡連合婦人会では原発の安全性、経済性等をめぐって極めて精力的な学習活動を開催されました。その内容は克明に私たちの機関紙『鳥取県婦人新聞』に載せられ、他都市の会員もどれだけ啓発されたかしません。せっかくの貴重な記録、散逸しないようぜひまとめて出版し、広く学習や運動の資料に役立つことができれば、と願っていましたところ、このたびその夢が実現され、まことに嬉しく存じます。

万一、事故がおこれば、他の災害とことなり、その被害は極めて広範囲に及び、しかもその殘忍な爪あとは遠い未来にまで及ぶ、まことに惨憺な害をもたらすのですけれど、とかくわべの豊さだけに心を奪われ、面倒なことはよけて通りたがる人がとが多く、さらに偏見が先行し、その厚いカベで眞実がさえぎられるがちな中で、この種の問題を主体的にうけとめ、生命とくらしを守るために、学習を基礎に、組織的に運動するまでに意識を高められたことは並大抵な努力ではなかつたはずです。住みよい社会をめざしてくらしをめぐるさまざまな問題に早くから積極的にとりくみ、健康を守るために総合的地区診断や公害工場の進出阻止等、数々の成果をあげてこられた輝しい活動の歴史にあらためて深く敬意を表します。

島根につぐ原発候補地として長尾鼻が浮上しながら、電力会社がとりあえずあきらめざるを得なかつたのも、気高郡連合婦人会の方々の手になるばう大な反対署名の積み上げがあつたからこそと思われます。

このたびの出版を契機に、いっそ学習を深め、連たいを強め、運動推進につとめられることを祈つてやみません。

一九八三年一〇月

目 次

発刊のことば いま子孫に何を遺すか 気高郡連合婦人会会長 村上 小枝
発刊を祝して 生命とくらしを守るために 鳥取県連合婦人会会长 近藤 久子

第一部 なぜ原発に反対するか（講演）

原子力発電を考える 大阪大学理学部 久米三四郎
原子力発電の安全性 京都大学原子炉実験所 小出 裕章
原子力発電の経済性 九州大学工学部 平井 孝治

第二部 どう原発に反対したか（記録と資料）

- | | | | |
|------------|-------------|-----|-----|
| 1 | ねらわれる長尾鼻 | 130 | 129 |
| 2 | 原発講演会から | 119 | 108 |
| 3 | 原発学会から | 98 | 95 |
| 4 | 原発反対の署名運動から | 91 | 89 |
| 5 | 県内の原発反対運動から | 61 | 37 |
| 年表・原発反対の歩み | | II | I |

写真・カットの出典一覧

編集後記

大会申し合わせ

長尾鼻に原発はゴメンだ!
ふるさとを死の灰の墓場にしてはならない!!



- ◎私たちは、次の世代のために、地球上に限りある資源、エネルギーを節約するため
(1)物を大切にする家庭教育と実践に努めよう
(2)くらしのムダを再検討し、つき合いの合理化と改革をはかろう
(3)買われる消費者から脱皮し、主体性を持った消費者になろう
(4)税金のムダ使いを監視し、自主的な選挙で、政治家を選出しよう
(5)人類が殺しあうために、ぼう大な資源と予算を使う核兵器を、廃絶させる運動を続けよう
- ◎私たちは、次の世代に、きれいな環境を残すため
(1)俗悪なテレビ番組やCM、悪書自動販売機を組織の力で排除する運動を続け、積極的に、良い文化環境を育てる努力をしよう
(2)合成洗剤や、安全性に疑いのある食品添加物を、使わない運動の輪をひろげよう
(3)安全性に問題のある原子力発電所建設に反対しよう
- ◎私たちは、次の世代のために、女性差別や同和問題など、差別のない社会をつくりあげる努力をしよう

一九七九年一一月二五日

気高郡連合婦人会 大会

第一部 講演

なぜ原発に反対するか

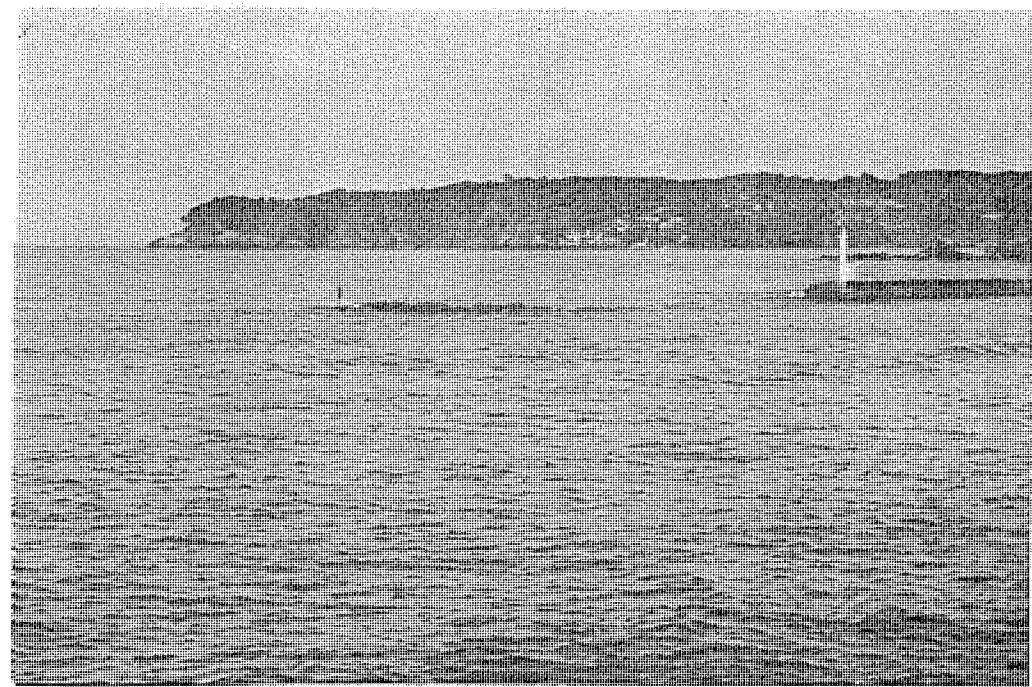
原子力発電を考える

大阪大学理学部

久米三四郎



- 3 -



青谷側から遠望した長尾鼻

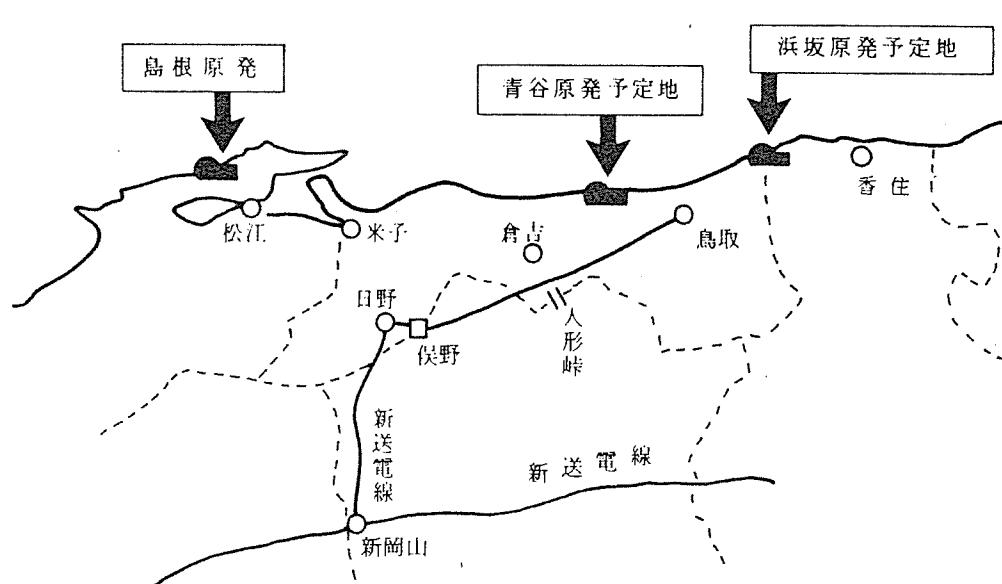
はじめに 山陰の地とのかかわり

私が原発にかかりました。兵庫県と鳥取県の境にある香住、あそこに、十三・十四年ほど前ですが関西電力がはじめて原発を置こうとしまして、あの頃は民宿が登場しはじめた頃でして、その民宿の方々といふか住民の方が大学の研究室へこられて、「放射能の話をしてほしい」と。

いまはすっかりさま変わりいたしましたが、当時は違いました。原子力発電バンザイの時でございました。「原爆は悪いけど原発はいいものだ」という風潮が強い時代でございまして、大学の先生がたが皆、「非常にいいものだ」と。それで「こんな田舎へもつてくるのはしばらくの間で、あと少すると大阪湾や東京湾にズラッと並ぶから必配せんでええ」(笑い)。

で、香住の方々が「どうも話の調子がよすぎる」と研究室へ来られまして、それが私がこうして住民の方々とお話しするようになつたきっかけでございます。

それから次に浜坂にも(原発の)話が出て参りまして、そこの方々とも一緒にかなり長い間やつてきました。鳥取県には三年ほど前だつたと思いますが、鳥取市でもお話しました。そしてだんだん西へ来てまして、今日は青谷・気高



はじめに 山陰の地とのかかわり

第一章 原爆と原発

第二章 死の灰のこわさ

第三章 許容量の考え方

第四章 死の灰はもれる

第五章 事故の危険性

第六章 結び

- | | |
|-----------------|----|
| はじめに 山陰の地とのかかわり | 5 |
| 第一章 原爆と原発 | 6 |
| 第二章 死の灰のこわさ | 7 |
| 第三章 許容量の考え方 | 8 |
| 第四章 死の灰はもれる | 9 |
| 第五章 事故の危険性 | 10 |
| 第六章 結び | 11 |
- ・原子力発電は火力発電
 - ・ウランが燃える
 - ・原子爆弾の仕組み
 - ・爆発時間十万分の一秒
 - ・原爆も結局は湯わかし
 - ・制御棒を上げたり下げる
 - ・原発一日で原爆三発分
 - ・やっかいな死の灰
 - ・原爆も原発も死の灰は同じ
 - ・耳かき一杯で肺ガン百万人
 - ・放射能と放射線
 - ・放射線の急性障害
 - ・晩発性のガンと遺伝
 - ・見分けつかぬ放射線障害
 - ・遺伝の危険性と社会差別
 - ・突然変異は微量でも起きる
 - ・許容量とはしんぱう量
 - ・利益は一方、被害も一方
 - ・五百ミリレムでガン一万人
 - ・原発の事故とは
 - ・逃げる間もない暴走事故
 - ・カラダき事故と水素爆発
 - ・まだ続くスリーマイル事故
 - ・パイプのヒビ割れから大事故へ
 - ・鳥取県は地震が一番問題
 - ・「大事故は一億年に一回」のウソ
 - ・役に立たない避難計画

の皆さんとお話することになりました。そういう意味ではこの山陰両県は非常に印象深い地になつております。

最近では原子力発電をめぐつていろんな問題——戦争との関係もございますし、また世界中で反原発の運動が盛んになつてきております。そういう風に世界中で原発をめぐつてどんな事が起つてゐるか、というような事を、お話ししたいと思います。そして今後皆さんが原子力発電を考えたり、議論されるには、どうしてもしっかりとつかりしたとつかりが必要だと思いますので。

青谷や気高の人が何を一番心配なさつてゐるか、ということは大体察しあつきますが、やはり、原発とは一体どういうものかということと、そのやつかいさはどうして出てくるのか、それはどの程度のものか、最後にそのやつかいなものはどうして無理に進めようとするのか、をお話したい。その合間に、推進派と反対派とどういう具合に意見が違つてゐるかを折りませながら話していきたいと思います。

第一章 原爆と原発

原子力発電は火力発電

原子力発電所といふのは火力発電所でございます。火をつくつくり出すのでございます。

ウランが“燃える”

核燃料とはどういうものか。核燃料には現在のところウランというものを使つております。それと、現在はまだ使われていませんけれどもプルトニウム、そういうものもあります。

これらは特別な性質をもつていて、ウランとかプルトニウムは、あるままの量——大体ドッジボールくらいの大きさと考へていいのですが——を一緒にしますと、人間が手を加えなくとも燃えてまつ赤になつて参ります。そして熱を出す。そういう性質がございます。これを原子の火と呼んでいます。

核燃料というのはマッチで火をつけようとしてもあかんのです。そうじやなくてある量以上を集めると自然に火がつく。ですから“燃える”といつてもメラメラと煙をあげて燃えるのではない。原発でいえば棒がちょうど焼け火ばしのようにまつ赤になつてゐる。それが原子の火の燃えている状況、とそういう風に考えて下さい。

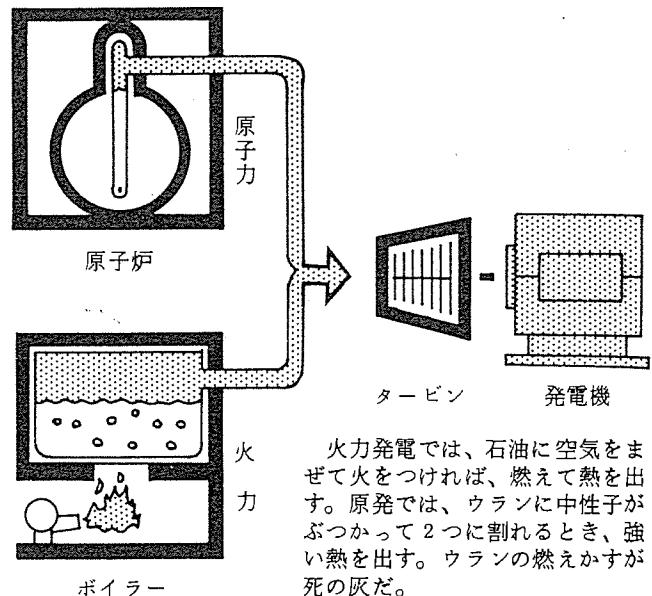
原子爆弾の仕組み

そういうものが初めて私たちの目の前に登場したのが、日本人にとって忘れられない、ヒロシマ・ナガサキだつたのでございます。

原爆のカラクリを申します。ここにあるのが原爆の図でございまして、これが広島に落とされた爆弾、“広島原爆”でございます。こつちが長崎に落とされたヤツです。形が一寸違いまして、長崎の方は形がずんぐりしてまして、英語で“脂肪太りのおやつさん”というあだ名がついています。こつち（広島）は細つそりしているので“リトルボーイ”（少年）というあだ名がついております。

で、この中に（図参照）核爆薬が入つております。原子力発電所の場合は核燃料と呼びますが、こちらは人殺しが目的ですから核爆薬と呼びます。ただしモノは同じでして、広島に使つた爆薬がウラン。現在原子力発電所に使つてゐるものと同じものでございます。長崎のは、これがもう一つのプルトニウム。広島原爆をウラン爆弾、長崎原爆をプルトニウム爆弾ということもございます。

原爆とはどういうものかというと、さきほども言つたようにウランやプルトニウムは一つにかたまとまつ赤に燃える。その性質を利用して、はじめは爆弾の中で爆発したらいけませんから、仕切りをいれて二つに分けておき



火力発電では、石油に空気をまぜて火をつければ、燃えて熱を出します。原発では、ウランに中性子がぶつかって2つに割れると、強い熱を出す。ウランの燃えかすが死の灰だ。

ます。そしてお尻に普通の火薬を入れておいて、まずそれを爆発させます。まわりにはこの、普通の火薬が爆発したくらいでは壊れない、丈夫な鉄の容器のを使つてあります。で、これが爆発しても容れものは壊れないで、こちらのウランの塊まりをもう一つの塊まりの方にドーンと押す。そうすると分けてあつたウランが一体になりますから、人間が手を加えなくても全体がまつ赤になつて原子の火が燃えます。そしてそのエネルギーで今度は容れものが保たなくなりまして、次の瞬間、ピカ！ドン！と爆発したわけですね。広島の上空六千メートルでこれが爆発しました。ピカというのまつ赤にやけたその熱線で、大勢の人を焼き殺しましたし、ドンというの爆風で、大勢の人をなぎ例して殺したわけです。

それから長崎原爆。これはスイカの切りみのように、二つじゃなく沢山に分けておいて、そのまわりに火薬を仕かけてその火薬を爆発させます。そうすると核爆薬がみんな、まん中へむいて走ってきて、一つの塊りとなる。そしてまつ赤になつて次の瞬間に爆発する。こういうことでござります。

原子爆弾というのは非常に簡単だということがおわかりになると思います。アメリカでもこないだ、ある学者が、『誰でも作れる原爆の本』というのを書いたそうでござります。

爆発時間十万分の一秒

原子力発電所も同じものをを使います。爆弾の時には、これが火の玉のようにまつ赤になるまでにどれくらいの時間がかかるかというと、十万分の一秒。ですから普通の火薬が爆発してウランとかプルトニウムという核爆薬が一体になつたと思ったら、まさきも出来ない間にまつ赤になつて、次の瞬間に全体が爆発して。ですから実際には、普通の火薬が爆発するとほとんど同時に原爆そのものが爆発する。そういう事になつています。

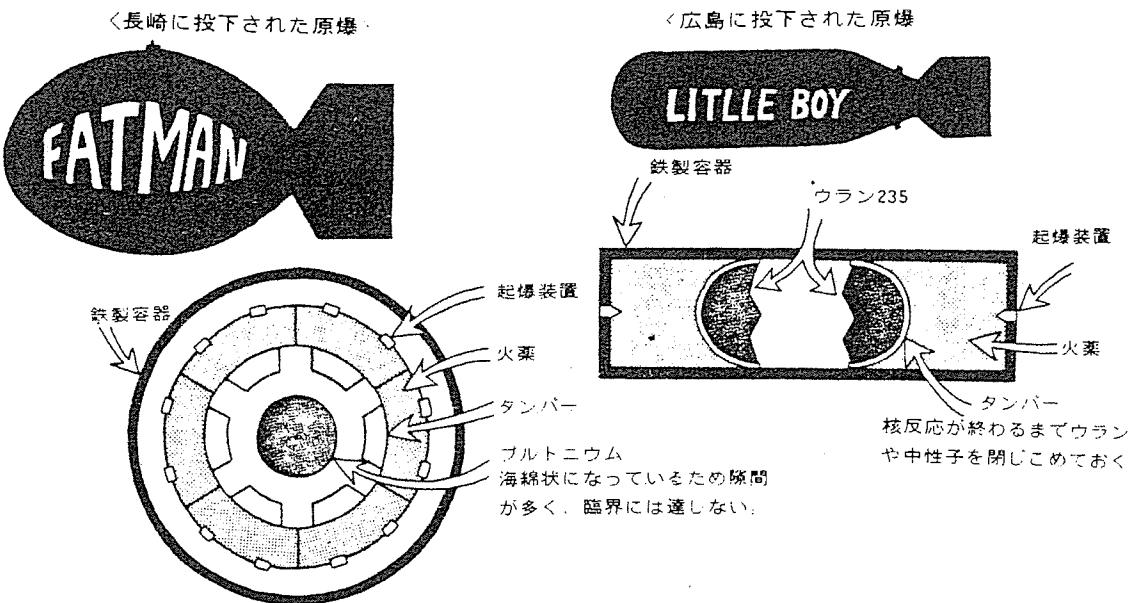
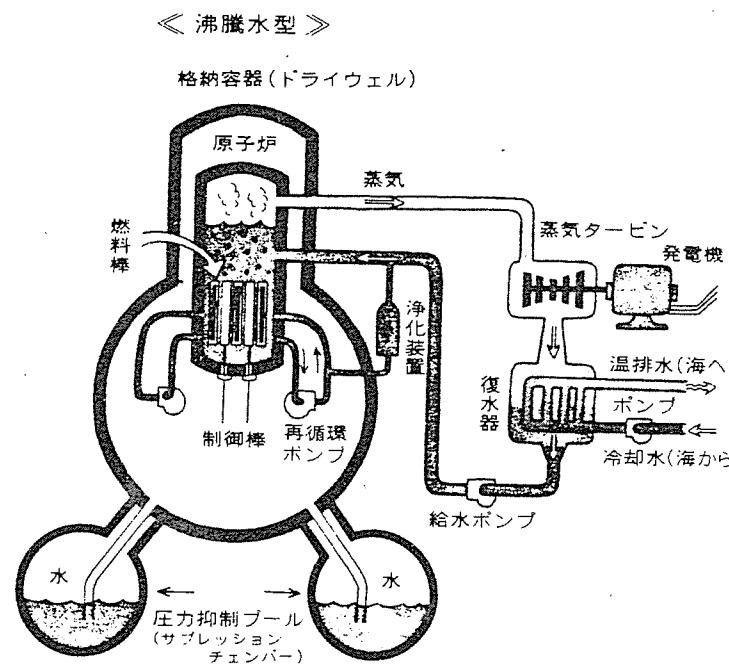
ごく短い時間に、原子の火のエネルギーを一挙に出します。そして人を殺す。原子力発電は人を殺すのが目的ではありませんから、もっとゆっくりそれをやろう、というわけです。

原発も結局は湯わかし

ここに原発の絵がありますが（図参照）、中国電力がいま使っているのも、こないだ敦賀で事故を起こした原子力発電もこのタイプで「沸騰水型」。お湯が沸騰する、というあの字の原発でござります。もう一つ、こちらはもっぱら関西にきてる型のものでございまして、何れもアメリカ

生れの原発です。

ここに原発の絵がありますが（図参照）、中国電力がいま使っているのも、こないだ敦賀で事故を起こした原子力発電もこのタイプで「沸騰水型」。お湯が沸騰する、というあの字の原発でござります。もう一つ、こちらはもっぱら関西にきてる型のものでございまして、何れもアメリカ



ておりますが——こちらから来た蒸気が勢いよく当たるとグルグル回ります。回ると、発電機の、ここについてる磁石が回って電気が出でいく、とこういう仕組みでござります。

それから『むつ』のような原子力船はどうなつてゐるか、ついでに言うと、発電機のところにスクリューがついてる。タービンの羽根がグルグル回るとスクリューも回つて、艦が進んだり後退したりすることになつております。ここに発電機がついてるかスクリューがついてるか、です。

原子力発電に戻りまして、このお湯を沸かすところは普通の火ではボイラート呼んでいますが、これは原子の火ですから原子炉と呼んでおります。原子の火のボイラーといふ意味であります。で、普通のボイラートは、釜の底から石油や石炭でたいていいるのですから、家庭の釜とおんなじです。原子の火は違いまして、火が水の中、さつきも言つたように焼け火ばしのようなものですから水の中に入れておいでやる。そうすると水が熱くなる。その方がずっと効率がよろしい。外から見ると火の氣は全然みえません。

しかし結局は湯沸しとして、原子力発電というと皆さんにか、ウランを採つてきて魔法の箱みたいなもんにいれ、スイッチを押すと殺人光線が出て電気になる——と、これはマンガの見過ぎであります（大笑い）、この湯沸しに使つてる、それだけのものであります。

ヤツですね。ですから、「むつ」から中性子がもれたのは、制御棒を抜いた、そして原子の火が燃え始めた、そういう事を意味しますね。

そうやつてここへ中性子を感じる装置を置いといて、実際に原発を運転するには危険で中へは入れませんから、外に運転室があつてそこへ線をひいて、メータに出るようにしてあります。そうしておいてゆつくりゆつくり制御棒を抜いていくと、どつかで、一寸、メーターに触ればじめます。「あつ、これは燃え始めた」、と外にいてわかるようにしてあります。

そうなるとその段階で引き抜くのをやめてほんとに、燃えるか燃えないか、という程度で燃やしていく。そしてこれが焼け火ばしのようになつてお湯が沸いて、蒸気になつて、電気をおこす。これが原子力発電所です。

今度は、原子の火を消したいなあと思つたら、制御棒を上げてやればよいわけですね。そうすると邪魔ものが入りますから、焼け火ばしのようなものが冷めてもとの色に還る。ですから、実際はもう少し複雑ですけれど、制御棒を上げたり下げたり、これが原子力発電を運転する事になるわけです。この時は爆弾と違いまして、何べんも燃したり、消したり、燃料がもえつきるまで、できます。

制御棒を上げたり下げたり

その燃料、皆さんの絵には太い線で三・四本描いてあります。が、実際はもっと沢山あるのでして、さつきの原爆の絵のここ（核爆薬）と同じものであります。

爆弾の時には間があけてありますが、原子力発電の時にはこの燃料の間に棒がつつ込んであります。その棒のことを制御棒と呼んでいます。島根原発の制御棒がさかさまに入つとつた、とか、抜けた、とか新聞に出たあの制御棒です。

で、これは何をするかというと、これが燃料と燃料の間につつ込んでありますと邪魔になつて火が点かない。何本も何本もいれてございます。

で、燃やしたい時には下の方に装置がついていて、棒が下がるようになっています。邪魔ものの棒を、ゆつくりゆつくり慎重に抜いていくとどつかで、ぎりぎりのところで、ちょうど燃え始めるところがある。そして特別な線——中性子が出てくるわけです。

皆さんは、中性子爆弾というのを新聞でたびたび見ていますし、『むつ』が太平洋に出た時に、「中性子がもれた」、そして、「ストッキングにご飯粒をつめて一生懸命防いだ」、そんな話を覚えておられると思いますが、あの時出てきた

原発一日で原爆三発分

広島原爆は十万分の一秒で爆発しましたが、その同じウランが燃えるのにこちら（原発）では約八時間かかります。ここでいま、青谷・気高をねらつての原発ですと大型になります。一〇〇万キロワット以上のものが必ずやつて参ります。

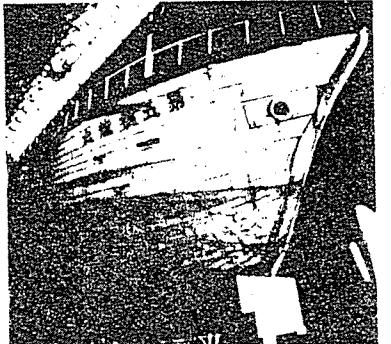
島根のヤツはまだ小そうざいますけれども、あんなものではもうけにならん、というので大きなものになつて参ります。

一〇〇万キロワットという大きなものになりますと、この中で八時間かかる、広島原爆一発分が燃えてる。ですから二十四時間、つまり一日かかる原爆三発分を燃やしている、と覚えておいて下さい。

第二章 死の灰のこわさ

やつかいな死の灰

原子力発電は制御棒を上げ下げするという非常に簡単なことで、皆さんにもやれそう、フロにも使えそうですが、



第五福龍丸

フロに使えたのは、原子の火が燃えると、ほかのものに変っていくからでございます。それは「死の灰」といわれているもので、広島・長崎で死の灰のためにものすごく現在も苦しんでいる人が多いのは、皆さんもご存知のとおりです。それからビキニ・マグロ・カツオを採つておった『第五福龍丸』という船が死の灰を被つて、亡くなつたり大ケガをされているわけです。そういうものが（原発でも）実はできて参ります。

それは、燃え方を原爆のように激しく燃すか、原発の火のようにゆっくり燃すか、に關係なくて、ウランやプルトニウムというのは燃えさえすれば、燃やした量に応じて、後に死の灰が出てきます。燃えた時間に關係なく、どれだけの量が燃えたかです。

もうおわかりですね。広島原爆の三発分が一日に燃えてるわけですから、青谷・氣高原発が一日燃やしますと、広島にまき散らした死の灰三発分がたまつてくる。一発でもあんな事になつたんですから、三発分というと大変なことです。そのために、それが外へ出てこないようにするために

耳力キ一杯で肺ガン百万人

からどうしたかというと、いまの原子力発電と同じようなものを作つてウランを燃やしました。そうすると次々にプルトニウムができるくるという、そういう性質を利用して長崎の爆弾をつくりました。ですから、原子力発電やつてると、一つは死の灰、もう一つはプルトニウムができる。

もう一つはこれが非常に猛毒で、耳力キ一杯分——大体一グラムですが——そのまま飲んでも効果は薄いんですが、煙のように、こう、細かいチリにして、大勢の人々に吸わせますと、一〇〇万人の人を肺ガンで殺すことが出来るという、人間が創り出したものの中では、最も猛毒だといわれているものでござります。発ガン物質ですね。

それがどれくらいできるかというと、やはり一〇〇万キロワットぐらいの大型の原発になると、なんと一年に三百

大変な装置をつくる。
皆さんのフロで使えたというのはそういう事でありますけれど、原発というのは非常に簡単に便利なのでありますけれども、その時できる死の灰が非常にやつかいために、いつまでも反対をうける。皆さんのが集まつてこうして必配なさるもの、そこが大もとになつてゐる。

原爆も原発も死の灰は同じ

死の灰には区別がございませんで、広島でできた死の灰も、長崎でできた死の灰も、原子力発電所でできた死の灰も、全く同じものである、という事をはつきり覚えといつて下さい。

問題は、どれだけウランを燃やしたかですから、一日三発分だと一年に大体、千発分の死の灰が原発のおなかいっぽいに出てくる。とんでもない危険なものだという事になります。

もう一つ、いやらしい事があります。こうしてウランを燃していますと、死の灰だけではなくて実は、もつとやつかいなものが出来る。それが長崎爆弾に使われた、プルトニウムというものです。

地球上の人を何べんも殺せるようなものが、一年で死の灰（原爆の）千発分と、プルトニウム三百キログラムが、これはもう、放つておいても、原発を運転している間に出来ます。これが、処理でも設備にも、原子力発電に最後までつきまとう大きな問題でござります。

電力会社のパンフレットなど見ますと、「原発の中には確かにやつかいなものができる」と非常に簡単に書いてあります。が、どれくらいやつかいなものが、どれくらい出来るかという事は書かないのが、ああいうパンフレットの特徴であります。皆さんもそこをしっかりと押えておきませんと、「何かまあヤイヤイ言つて大した事やないな」と思つてしまふ。

放射能と放射線

死の灰やプルトニウムを総括して“放射能”と呼んでおります。放射能とは放射線を出す力そのものを言つておつたんです。が、この頃では放射線を出す力をもつた物質も放射能と、専門家の人もそう呼んでおります。

放射線というのは目に見えない光線です。この部屋に出来るのは目に見える光線ですね。だが、エネルギーがもつ

と高くなると段々目に見えなくなる。こういうものを放射線と呼んでいます。

皆さんの身近かにあるのはレントゲンとかX線。今までも病院ではX線科と書いてございますが、両方ともこれは、放射線という言葉とおんなじです。ただ、病院では、お医者さんが「息をとめて」と言う時だけジーッとスイッチが入って、後は放射線が出ない様に消してあるからいいんですけれども、放射能というものはスイッチなんかついたら入りますから、四六時中、放射線を出してい。

放射線の急性障害

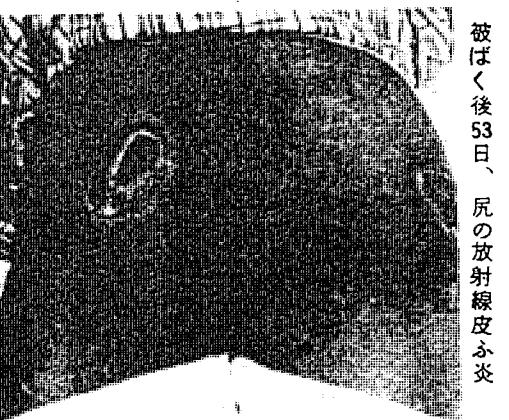
放射線というのは、お医者さんでも使うから役に立つ、と思つておいでかもしれませんけど、実はお医者さんのものでも当たるとまず害が出てくる。非常にやっかいなものでございます。で、それを放射線によつてひき起こされる病気、というので放射線障害と呼んでいます。

放射線障害には大きく分けて、

“急性”の障害と、後から、忘れ



〔例1〕エックス線の発見者レントゲン博士の助手の手。ひどい放射線障害で指がくねくね曲がっている。



〔例2〕十年近く前、千葉の造船所で起きた放射線障害。検査用のイリジウムという放射能を知らずにひろった労働者がズボンのポケットに入れていたら、手や尻が放射性皮ふ炎でひどくただれた。

た頃に出てくるという意味で“晚発性”的障害といふことがあります。

急性というヤツは読んで字の如くに大体、放射線を浴びてから一週間ほどの間に勝負がつく。亡くなる人は亡くなつてしまふし、生き残る人でもケロイドなんかになつて表へてくる。具体的には、髪の毛が抜ける、皮ふがボロボロになつて、血を吐いて死ぬ。そういうので、これは私たちの体をつくつてゐる細胞が死んでしまつて、潰瘍状態なんですね。皮ふや内臓なんかの細胞がぐじやぐじやに崩れて血を吐いたりして死ぬ。こういう病氣でございます。よく、皆さんが広島・長崎の写真をごらんになつて目にされるの

がこちらでございます。

晚発性のガンと遺伝

もう一つ、さらにやっかいなのに晚発性というのがあります。そして、放射線を浴びてから忘れた頃に出てくる。晚発性の害にも二つあります。一つはガン。もう一つは遺伝的障害。すなわち、親が放射線を浴びたために、子供や孫に、困つたいろいろの障害がひきつがれていく、というこの二つがございます。

ガンと遺伝の障害の二つは、これはまるつきり違うようですが、それでも、この十年ほどの間にいろいろ調べられて、もとは一緒だ、ということになりました。それは、私たち

の体をつくつてゐる細胞には大きく分けて二種類ありますて、体をつくつてゐる、胃だとか腸だとか肺だとか、そういう体をつくつてゐる体細胞。それから、男の人も女の人も、子供をつくる上だけに役に立つ生殖細胞。男の人では精子になりますし、女人では卵子になる。そういうものになるもとの細胞を生殖細胞といふんです。

その二種類がございますが、これが放射線にあたつて死んでしまえば、それはもう、さつき言った急性障害ですが、そうじゃなくて、死なない程度に浴びると、細胞は生き残るんです。けれども変化してしまう。それを“突然変異”といいます。

これは添加物の問題なんかで気高郡の婦人会さんは随分やつてこられてご存知ですか？ その突然変異した細胞がもとになつて、体細胞の場合は増殖はしませんけれども変化します。生殖細胞の場合は増殖はしませんけれども変化した細胞はそのまま、子供にひき継がれていく、というこになつて、突然変異した、困つた性質が、子供・孫・またその子供――という風に受けつがれていく。

要するに、ガンも、遺伝の問題も、放射線にあたつて突然変異するという点が、両方が共通していることがはつきりしてきた。ですから、放射線のやっかいなのは、発ガンと遺伝毒性ということが中心問題となつてくるわけでござります。



見分けつかぬ放射線障害

そのあらわれ方で非常にやつかいなことは、放射線でできたガンと、例えばタバコを喫つてできたガンとは区別がつかんのですねえ。全然つきません。それから、放射線を浴びてからずうと後の、忘れた頃に出てきますからこれも大変困る。

縁起でもない事言うようですが、いま青谷に原発ができたとします。そうするとエントツから放射能が出てくるわけですから、それで皆さんのがんになつたとして中国電力へ行つたとしても、「証拠もってこい」というわけですから、原発の放射線でガンになつたというその証拠は全然ない。そこが一番問題なわけです。

どうやつたらわかるかというと、疫学調査というのをやります。原発ができますねえ。そして気高・青谷の発ガン率というのを年々調べていつてると、十年ぐらい経つた頃からだんだん増えてくる。どうもガンで死ぬ人が増えていく、ということで、どうやらこれは原子力発電所がきたせいじゃないか、となる。

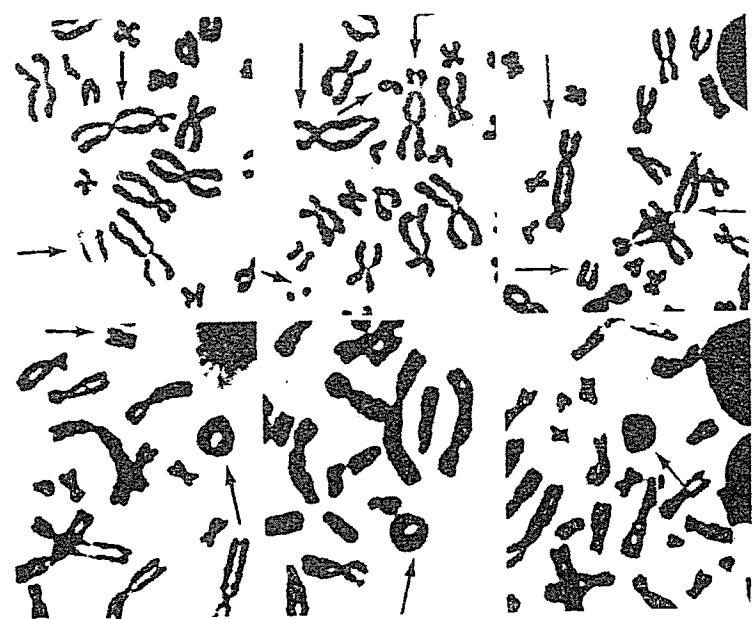
子孫の影響となると、これはチョットやソットではわかりません。皆さんのがん死んでしまつたはるか先になつてわかるわけで、こりやもう、どうしようもありませんが、ガントのしかかつてくる。

発電所の附近の人にガンが出るということはまた、遺伝的な欠陥もある場合がある、ということです。発ガン率が高くなつたということは、当然、遺伝的な影響も受けている。そうすると、原発附近の人には結婚問題という形で非常に深刻な社会差別が出てくる。これは何と考へても、言葉でうち消しても、そういう問題だけはその地方の人に重くのしかかつてくる。

実際にガンになられた方もならない人も、悲惨な、陰惨な形で放射能の影響というのが出てくる。特に遺伝毒であるという事があるために、一層、その陰惨さが増してくる。

突然変異は微量でも起きる

このガンや遺伝の問題で、もひとつやつかいなのは、急性障害といるのはある程度以上の放射線を浴びないと、細胞がぐじやぐじやにやられるという、広島・長崎に多く見られたような障害は起こりませんが、ガンや遺伝障害の原因である突然変異は、どんなに少い放射線をあびた場合も、



リンパ球(細胞)中の染色体異常を示す顕微鏡写真 被ばく後400日矢印が変形をしている染色体

の場合は数十年ぐらいの間にそれが出てまいります。

しかし、そうやって何となく、青谷や気高の人々に、また鳥取県の人々にガンが出てくるといつても、そのガンになつた人の中で、誰がエントツから出た放射能でガンになつたか、は金輪際、証明できません。

因果関係がはつきりしないままに残る。ここのお所が一番やつかいな問題ですから、放射線障害のことをいう場合に、急性障害ももちろん大変なことですけれども、晩発性障害の方が問題にされるわけです。

ですから、これは浴びてしまつたら「『巻の終り』」ですから、その前はできるだけ浴びることをくいとめよう、と世界中が一致しているのはそのことでございます。この点をぜひ、皆さんには理解していただきたい。

遺伝の危険性と社会差別

この間、福井県の大飯町で原発が増設されるというので住民が反対したのですけれども、とうとう町が押し切つたという事がありました。その時、あるお医者さんが個人名でこういうビラを流されました。最近、福井県の若狭地方にガン患者が増えてきた、という事が書いてございます。

これは、その先生だけでなくこの地方の何人かのお医者さんが同じことを言っておられて、「どうもガンの発生率が

必ず、私たちの体の中につくられていく。ただ、私たちの体には何億という細胞がありますから、一つや二つやられてもガンになつて出てくる率は減る。こういうことになるのですね。

皆さんの中にも煙草好きの方がおられたら申し訳ありませんが、「煙草喫うたらいかん。肺ガンと関係ある」という事ははつきりしてゐるのに、「死んでもええ」というて喫うておられる方がある（笑い）。そういう人に限つてなかなか肺ガンにならん（大笑い）。

あれとおんなじで、発ガンの機構とかそういう確率の点ではクジやアテモノと一緒に、運の悪い人は一発でもやられるし、運のええ人はお尻から煙が出るほど喫うても肺ガンでは死なん（大笑い）。

でも、一日に五十本喫う人でも、一本しか喫わん人でも、体内で肺ガンの原因が作られる、という点では同じです。だから体に対して絶対安全だという量はない、という事になつてくる。この点は非常に大事なところでござります。



母となる日を待ち

第三章 許容量の考え方

許容量とはしんぼう量

ところが世の中には“許容量”というものが出てきます。この十月二十六日（一九八一年）の新聞に政府が出しましたし、たぶん電力会社も出すと思いますが、大きな紙面を買い切つて、「原発から出る放射能など問題にならん」と、そういう図が出ております。ああいう図が出てくるのは許容量というものがあるからです。

どうして許容量というかといふと、本当は体に対して安全な量というのは絶対にないのですけれども、原発をつくると電気が出でくるのでうるおう、と。だから少々の事はあってもしんぼうしよう、と。そのしんぼう量というものを許容量というわけです。体が許す、という量じゃなくて、人間が許す、そういう量であるわけです。この点を間違えないように。

しかしこれには一つ、おとし穴があるんですね。

利益は一方、被害も一方

国会なんかで論議する時は、日本全土で利益と損害が重

なるように議論します。しかし、実際には原発を作つて利益を得る人と、それから死の灰を残される人とは社会的に分かれてしまうんですね。被害は一方だけ、利益は一方だけ、となる。それを全体をつっ込んで国全体で、バランスがとれてる、と。たとえそうであつたとしても、非常にそこに問題が出てまいります。

本当に電気を使う山陽側で原発をやるんでしたら話はわかるのですけれども、電気は表（山陽）で使つて原発は裏（山陰）へもつてくる、といふんでは、便利さとやつかいさを受ける者がそこで分れてくる。そうすると、「しんぼうしよう」というのは「する方はしんぼうだけしよう」という事になつてくるので、各地で問題が出てくる。

五百ミリレムでガン一万人

一年間にどれだけ放射線を浴びたか、というその「どれだけ」という量をミリレムという言葉で表わします。ここでもう、皆さん、今まで一回も聞いたことない言葉だと

いうので、「もうアカン」（大笑い）とこうなつてしまふんですが、そんな事ないんで、一メートルの千分の一をミリメートルと言いますね。そんなもんです。

ただこれは、長さの単位でなくて、どれだけ体に悪い線を浴びたか、の単位なんです。それをちょうどメートルの

放射線障害の発生数

被ばく量 (年間・ミリレム)	年間障害者数(人口1億人につき)	
	ガン	遺伝的障害
500	1万人	2万人
5	100人	200人
0	0	0

よう、体に対する放射線の影響を表わす単位としてレムというのがあつて、それでは大き過ぎるので千分の一＝ミリレムというわけです。

そういう単位で表わしまして、一年間にいくら浴びてもよろしいか、といふように決まるのです。一年間に五百ミリレムという量が出てくるわけです。ところが、いまも言ったように、放射線は体にとつてどんなに少くとも無害ではありません。で、一年間、五百ミリレムという量を一億の人につつと浴びせ続けたら、国民の間にどれだけガンや遺伝の問題が発生するか、というのがこの表です。（表参照）

これは私たち反対派がデッヂあげた数字ではなくて、一九七二年にアメリカの一流の遺伝学者・医学者・生物学者二十人ほどを集めて政府が計算させた結果でございまして、もしもこんな量を一億の人たち全部に浴びせ続けますと、一年間にガンで死ぬ人が一万人できるし、重大な遺伝的欠

陥一外から見てわかるような欠陥、それから厄介な病気の中の幾つかは遺伝病である事が判つていますが、そういう重大な遺伝障害をもつた赤ちゃんが二万人生まれてくる。こういう計算になつてゐるわけとして、とても安全量とはいえないわけです。

なんでこんなものを認めているか、というと、日本は国會を通さないで、科学技術庁や通産省の告示という形で、皆さんのが知らん間にずっと作つてゐるんですけれども、日本の国民全体がこんな放射線を受けることはまずない、だから表のようにはならんと、それだけでありまして、放射線のやっかいさというのは全然否定できない。

引き下げられた許容量

アメリカでは、一九六九年の頃に非常に住民運動が盛んになりました、「五百ミリレムなんてとてもしんぼうできない」というので反対運動した結果、アメリカ政府はその百分の一の五ミリレムというのを、法律の方は下げるわけにはいかないけれども、原発をつくる時の目安としては一応五ミリレムを守るように、という基準を一九七一年につけました。

で、日本の電力会社は猛烈にそれに抵抗しましたが、結局は三年おくれて、そういうことにしました。十月二十六

日の新聞をもつておられる方は見て下さい。その一番下のところに五ミリレムという数字の出でているのは、こういうところから出でている。

いま自慢そうに、百分の一に減らした、と言つてゐる人||電力会社は、陰で猛烈に反対したのであります。日本はアメリカのようにはとてもやれん、これでええ。といつて随分反対したこと、全然、表に出さずに、いまのこれを自慢そうに示してゐるのです。

百分の一の五ミリレムとなると、ガンも一万人の百分の一の百人、遺伝障害は二万人の百分の一の二百人、とこうなります。原子力発電でこれくらいの死の灰を浴びても、出てくるガンは一年にこれくらいだから、遺伝に害のある赤ちゃんはこれくらいだから、原発は便利なものだからしんぼうしよう、こういう事になつておるわけです。が、「わしはそんなんイヤだ。ゼロにしよう」となると原発をつけないようにするしかない。

これでおわかりのように、許容量というのはそれを受け取る人たちの考え方で決まつてくる。ですから、国によつてその値(あたい)が違つてくるわけで、住民意識の強いところはアメリカのように下がるし、そうでないところは今までの値の使われるところもある。ぜひ、この許容量といふものを考えていただきたい。

このサカナどここのサカナや?

「自然」というのは、宇宙線という、どこか分らん所からとんでくるものが三分の一ぐらい。それから壁の中、あるいは泥の中にウランが入つていてそれが出てくる。野菜の中にもあるカリ、の中にも放射能はございます。そういうもので体の外からも内からも照らされます。

こいつは、地球上に住んでる限りは、いまのところ避けようがありませんし、そういう環境の中ですつといままで生き続けてきたわけです。それはどういう事かというと、百ミリレム浴びると、日本は一年に大体二十万人ぐらいガンで亡くなつてゐるのですが、その中の二千人ぐらいは自然の放射線で亡くなつてすることになります。

遺伝的の障害をもつた赤ちゃんも生れてきますが、その中の四千人ほどは自然の放射線を浴びたために生れたのだ、と。それがバランスがとれた状態ですすんでいるために見

自然放射線と推進派のトリック

推進派は「放射線は自然の中にも百ミリレムぐらいあるんだ。それに比べると原発の五ミリレムというのは問題にならん」と。「自然の百ミリレムの中で人間がこれまで生きてきて、どうつてことないじゃないか。だからそれよりずっと低いのだから問題にならん」と。その論調が一つです。これには大きなトリックがあります。

「自然」というのは、宇宙線という、どこか分らん所からとんでくるものが三分の一ぐらい。それから壁の中、あるいは泥の中にウランが入つていてそれが出てくる。野菜の中にもあるカリ、の中にも放射能はございます。そういうもので体の外からも内からも照らされます。

こいつは、地球上に住んでる限りは、いまのところ避けようがありませんし、そういう環境の中ですつといままで生き続けてきたわけです。それはどういう事かというと、百ミリレム浴びると、日本は一年に大体二十万人ぐらいガンで亡くなつてゐるのですが、その中の二千人ぐらいは自然の放射線で亡くなつてすることになります。

遺伝的の障害をもつた赤ちゃんも生れてきますが、その中の四千人ほどは自然の放射線を浴びたために生れたのだ、と。それがバランスがとれた状態ですすんでいるために見

もう一つの論調は、自然にも百ミリレムあるのだから、その百分の五の、五ミリレムは大したことない、と。竹村健一さんという人が『私も原子力が恐かった』という本を書いて、「自然の(放射線)はカワラが頭に落ちたくらいだが、原発から出るのはハエが一寸とまつた。そんなもんやのに住民がワイワイ騒いどる」、とこういふ書き方をしてるんだそうですが、そのインチキはこうです。

五ミリレムというのを確かに影響は少い、という事はわかりますね。しかし当たつた人はガンになる。あるいは、その子供さんに不幸な結果が出てくる。当たらんかった人は「助かった!」。こういう事になる。ですから、当たつた人は全体だから、全体が皆、こう、ハエがとまつてチヨツト痛い、というのではなくて、やられる人は確実に殺される。クジ引きみたいなもんですね。

「大丈夫や」言うエライ先生に限つてその晩民宿へ泊ると、「このサカナ、どこのサカナや?」(大笑い)。それは何でかいうと、一寸かすつたかすり傷というようなわけにはいかんのです。その先生が食べる、あるいは土産に持つて帰つて子供に食べさせると、ひょっとしてガンになるかも知れんのです、それは。そういう意味で、確率で低い、といふ事で、それを頭にハエがとまつて払うようなもんや、とごまかしているのです。

だから例えば、死の灰が入ってない魚と、五ミリレム程度やけど入ってる魚を目の前に置いて、竹村さんも子供にどっち食べさすかというたら、入ってない方を必ず食べさす。これは親がやる当然の行為です。いくら少くとも、うつかり引いたらその子にとって将来、不幸になるというヤツは食わさんのです。そこをごまかしてゐる。

放射線によるガンや遺伝というのはどうして出てくるのか。結局、最後は突然変異で、どんなに少い線を浴びても突然変異は確実に起こる。ただ、起こう方が多いか少ないかの違いという、そこをしつかりとつかまえておいて下さると、怪しげな理屈にだまされずにする。

電力会社のもう一つの「ガシ

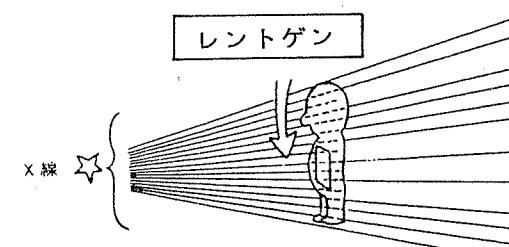
もう一つのエマガシは電力会社のノンブレード式新開口

告に出ているもので、左下からスレートと右上に線が引いてある絵が書いてあって、左下の方には原子力発電所、右上にはガンの人が寝て放射線当てる絵がある。そこへ何万という数が書いてあって、それと五ミリレム（原発の）とは比べものにならん、とこう書いてあります。

射線というのは、ガンでもう後二～三ヶ月で死ぬかもし
ん。けど、それを一寸でも延ばしたいというんで、他を
されることを覚悟でてるんで、いまのガンをやつつけ
ために、十年先、二十年先のガンをあきらめよう、とそ
いう事をやってるわけです。

また別のガンが出来る、という例が幾つもあります。そ
な、もう、のるかそるかの時に当てる線量と五ミリレム
比べて、同じ図にのせて「問題にならん」、という。こ
なものを皆さんのが税金で国の名前で新聞に載せるという
は、許し難い行為やと思います。

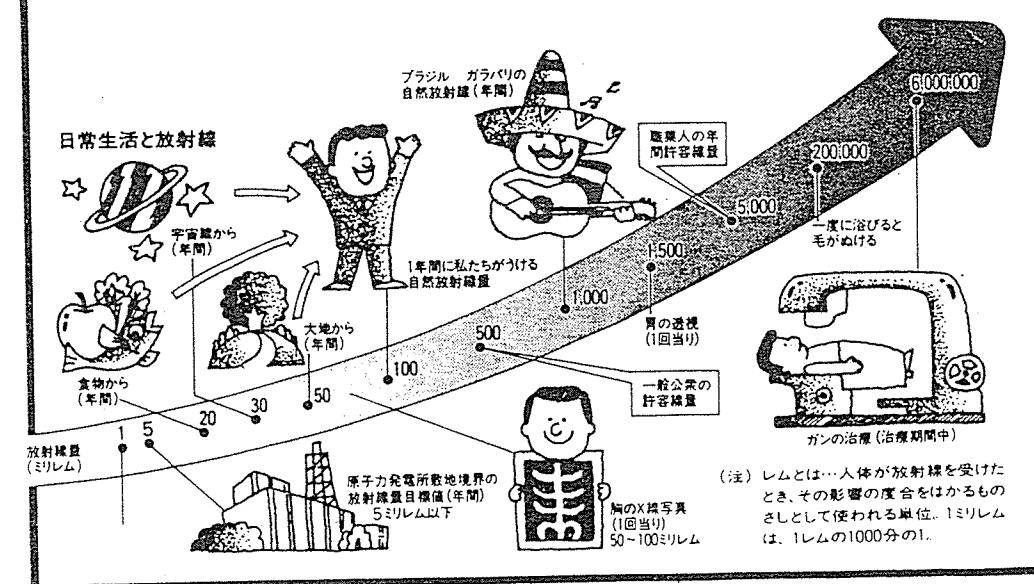
同じ載せるならもつと身近なものをのせる。レンタカーの場合も百ミリレムですから、それをずっとやつてるとちょうど自然のものと同じで、一枚撮る毎に年々二千人ガンで亡くなってる。それから当たたその子供さん、当た子供の子供から四千人ほど、欠陥をもつた赤ちゃんがれていいわけです。にもかかわらず、これまで何でそん



機器のレンタル料金にかかる注意

事してたか」といふと脳梗塞で死ぬ人が多かったりします。で、早く発見して治療して救おう、ガンで後で死ぬ人より結核で死ぬ人が多い時にはそれをやろう、という事だったわけですね。

An illustration of a chest X-ray. The image shows a cross-section of the human torso with internal organs like the heart and lungs. A series of parallel lines radiate from the bottom left, representing the path of the X-ray beam as it passes through the body to the detector on the opposite side.



『日本海新聞』(1982年3月7日)に掲載された中国電力の原発推進の広告「今、なぜ原子力か」より。

- 23 -

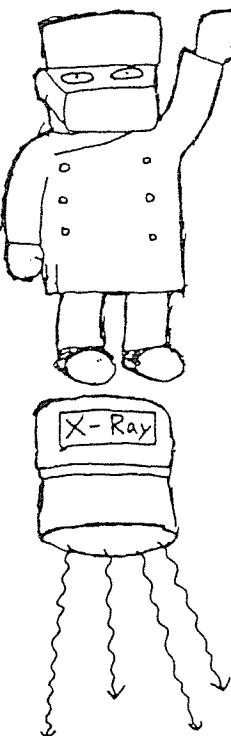
く浴びせるわけです。そうすると、四十ですからガンは出たとしても大体二十年あと、六十から六十五才で出ますから、ま、その頃はもうあとあんまり残りがないわけですか

ら（大笑い）。

若い人にはなぜやらんかというと、若い人のガンは怖い。

三十代の人はアツという間に死んでしまいます。若い人にどんどん検診で放射線当たると、ほんとのガンより浴びせて出来るガンの方が多くなるからです。で、平均寿命がだんだん延びて、公務員もいま四十五才からになつてゐる。四五才から強制的にやつて二十五年経つてガンが出ても七十才で、大てい平均寿命と一緒にから、ま、よかろう（大笑い）！と、こうなつてゐる。

みんなそういう均合いを保つて医療業務をやつてるわけで、無害だからやつてるんではなくて、やむにやまれずやつてる。それを原子力発電所のこんな数と比較している。ぜひとも皆さん、このところはよく討論しておいて下さい。そうするといろんなインチキにだまされずにすむ。



死の灰は無毒にできない

それから死の灰やプルトニウムのやっかいさはまだあります。一つは死の灰はそれを無毒にする手段をもつておればいいんですね。放射線にあたつて病気になるわけですから、放射線が出てこないようなものに変えてやればよろしい。ところがそれが実は、私たちもそういう方法はないかと思って一生懸命やつたんですけど、現在までのところ世界中でまだ、そういう原理が見つかっていない。

放射線を出すものは、こんな（原発）装置で割合、簡単に作られるようになります。一つは、作ったものを放射線が出ないようにするという手段はないんです。あれば原子力発電のやっかいさはずいぶん減るわけですけれども、どんなにお金をかけてもいまのところそれを消す方法がない。で、どうするかというと、それはコンクリートの中へ閉じこめて、みんなの所へ出でこないようになります。

毒性減るのに二十四万年

幸か不幸か、放射能には寿命がござります。ちょうど、

ル島へ行つても、ヨウ素はもうほとんど残つていません。

ですが、事故の直後は盛んに出ておつたんですね。

それからストロンチウム。これもスリーマイルでも出ましたが、事故の直後は盛んに出ていない。むしろ、核実験で米・ソがボーンとやつたのが、成層圏に今までいっぱいあつて地球に降つてくる。一九六一年から六年ぐらいの間にお母さんのお乳吸つてたり、ミルクをのんでたりしてた方には、ストロンチウムが骨へ赤ちゃんと入つてゐるわけです。ストロンチウムというのはカルシウムと似てまして、骨をつくる時入つてくる。大人の場合は骨ができてますから入らないんですけど、赤ん坊や子供の場合はどんどん取り込まれていく。で、若一方の骨には、だからずいぶん入つてゐるんですけど、このストロンチウムは三十年で半分。ですから墓場まで行つても仲々減らん。それから、初めにも言つた、猛毒のプルトニウム。これは半分に減るのに何と、二万四千年ですから、千分の一になるには二十四万年かかる。ちょうど類人猿がワーウア言ひだしたのがいまから二十四万年前の頃ですから、いまつくつたプルトニウムもそのくらい置いといてやつと毒がうんと減る、という事になります。その間、毒が外へ出ないよう閉じこめて置く、ということしかしない。

だから、寿命の短いヤツは割合いよろしいのですけれども、永いヤツは、本当に、何千年、何百万年という間、外に減り、次の八日間でまたその半分に減る。ですから、いまスリーマイ

第四章 死の灰はもれる

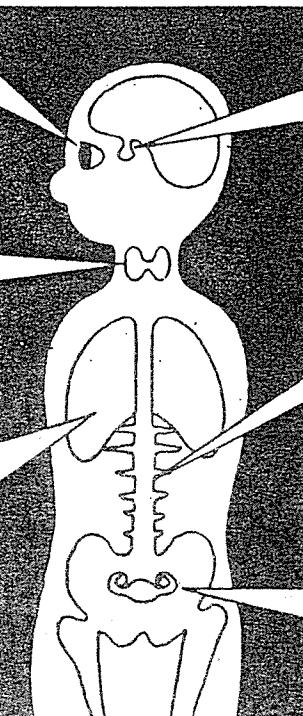
に出んように置いとかなければならぬ。それが非常にやつ
かいな点でござります。

放射能は目に見えない

もう一つやつかいなのは、そういう死の灰やプルトニウムが、お茶碗で食べるくらい、パクパクたべないと害がない、というのではなくて、超微量、目に見えない程度の量でガンや遺伝障害が起こる。その一番ごついのがさきほどのプルトニウムでございまして、耳カキ一杯で百万人の人を殺すことができる。皆さんが掃除される時の、キラッと光るチリ、あれ一粒ぐらいが入ると肺ガンに確実になる。そういう極微量。皆さんのもわりに原子力発電所からやつくるのはもちろん目には見えません。

放射線というのは見えないわけですから、何か特別の道具をもってないと、どれくらいやられたか、というのは分らない。スリーマイル島周辺で、住民は浴びたに違いない。あの時変な臭いがした、味がした、と言いに行くんですねけれども、「イヤ、うちのメーターにはそんなん出てへんかった」という事でつき放されているのであります。青谷・氣高でもそういうことになっていく。

以上のやつかいな点をしっかりと討論したり勉強していくいただきたい。でないと、忘れた頃に出てくる障害ですから、



ついつい宣伝にだまされてしまします。

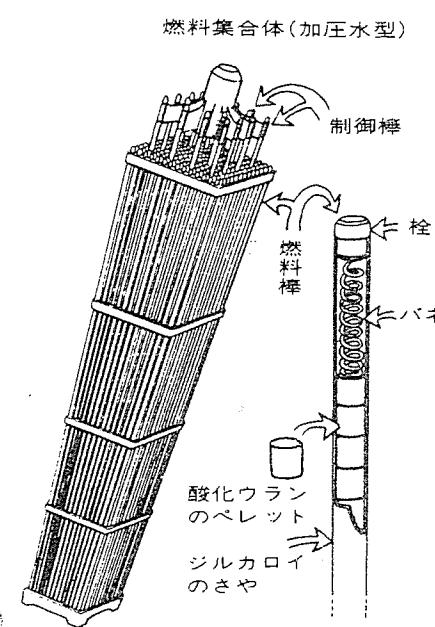
放射能は必ずもれる

では、どうして、推進派といわれる人たちは「こういうやつかいなものが出てくる原子力発電を使おうとするのか、といいますと、その人たちは外へ出でこないように技術で押しこめる事ができる、だから心配しないでいいんだ、とこう言っているんですが、私たち批判派はそうではなくて、完全に閉じこめるのはムリだ。

しかも炉にできる量はベラ棒に多い量ですから、一寸もれても大変なことになる。だから大勢の人の目の前で使ふことは出来ないので反対しているのでござります。で、どういう風にもれてくるか、というと原発でのもれ方には、日頃運転している時と、事故の時に分れると思います。

運転している時の事から言いますと、皆さんのレジュメの三ページの下の方に、燃料棒というものの絵がござります。これは差し渡しが一センチで長さ四メートルござります。太さ鉛筆ぐらいで、非常にヒヨロ長いものにしてそれが炉の中に入っています。外から光つて見える覆いの中に、ペレットという錠剤のようなものをウランで作って、そのサヤの中に二百個ほど詰めて、出てこないようにサヤの上下を熔接で封じてございます。

そして、穴からお湯の中へ死の灰がもれて、お湯と一緒にグルグル回る。この時、お湯が回るだけならいいんですが、ポンプやバルブの所からどうしてももれてくる。



そういう棒を、この青谷をねらつての原発ですと五万本ほど中に入れられるわけです。一ぺんに入れると倒れますから、

二百本宛を立てのようなものにさしまして、そういうものをまた数百個並べる。そして忘れんように制御棒を突っ込んでおく。原子力発電の火のところはそうなつてる。

ウランが燃えるということはペレットが燃えてまつ赤になる事です。そして、後に死の灰とブルトニウムがたまつていますから、この燃料棒から外に出ないはずなのです

が、実際はそうはいきませんで、運転中に燃料棒に穴があいてきます。これはいまの技術ではどうしようもないんで、これは事故とは申しません。

エントツは死の灰の捨て場

死の灰には、ガス状の死の灰と、ガスにならない死の灰と二つ混じっています。で、ガス状の死の灰は原発の中にいっぱいになると危険ですから、それをポンプで引張って、エントツから外へ捨ててるわけです。

島根原発へ見学に行かれた方は、ダンダラのエントツをご覧になったと思いますが、原発というのは煙を出さんのに、なんでエントツがいるかというと、それがガスの死の灰の捨て場所にってるわけです。これからも見学へ行かれたら尋ねてみて下さい。「原子の火には煙は出んのに、どうしてあんな高いエントツがいるんだ」と。どういう答が返ってくるか。これは非常に大事な質問です。大阪大学のあの男からの入れ知恵だ（大笑い）、という事になつたそうですけど……。

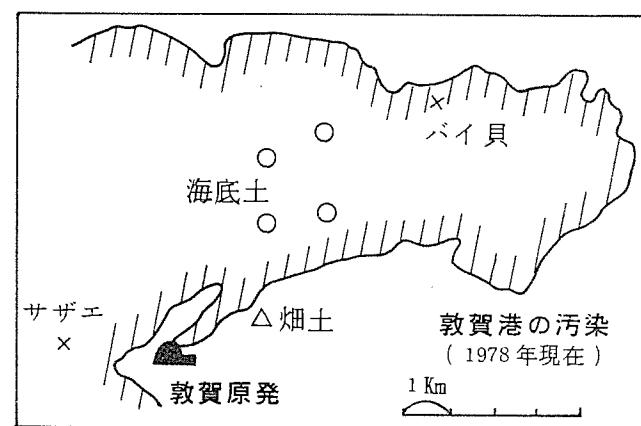
それから、煙にならん部分を集めて、煮つめて、ナベの底へ残つたものはドラムカンへ詰める。これが太平洋へ捨てに行こうとしているドラムカンです。そのドラムカンが、「年に大体三千本ぐらい出来る、とされています。

今年の三月までに、日本全国の原発にドラムカンが二十四万本、たまりにたまってるわけです。それを来年ぐらいから太平洋に捨てに行こうとして、もの凄く現地から反対

受けてゆきづまっている。

そうやっても取り切れなかつた分、ドラムカンへ入れた後も、どうやってもいろんなものが残ります。それは水で薄めて、パイプでひいて、海へ流れていく温排水の口にタレ流す。もちろん皆さんが見学へ行つても、見えんように、奥の方へつくつてあります。

政府公認でタレ流し



この絵は何かというと、この間、事故を起こした敦賀の絵ですが、こうして日頃から正々堂々とタレ流しているので湾が何となく汚れている、というので、海底の泥を探つた時に放射能が見つかつた、といふしるしです。これは貝から見つかった、といふしるしです。そういうわけで、周囲十キロくらいいは何となく湾が汚れてくる。この辺に民宿があ

りますから、エラそうな事を言う先生ほど、ここへ来ると「この魚どこのや？」と聞く事になります。

それから煙に「これは海から上つたのではなくて、エントツから出たのが流れしていくうちに落ちた放射能が見つかつてゐる。

どうしてこんなこと許してるかというと、さつき言うた

五ミリレムというヤツ。許容量があるからでござります。

それ以下だからいいのだという事で、政府公認で捨ててる。ですけど、敦賀の民宿へ行つてもあまりそういう事は言いたがりませんけれども、一寸親しくなつていろいろ聞くと、敦賀の人たちは「この魚はたべない」、という事になつております。

これにまともに応えられませんと、その程度の反対か、とバカにする例が沢山ございますのちよつと言つて、原子力発電に使つてる燃料は、原子爆弾に使つてる同じウランなのですけれども、原発には燃えが悪いウランを使つています。

ですから、もし間違つて、制御棒をグッと抜きすぎると、うな事があつても、全体が原爆のようだ爆発をおこすことはまずない、とされてます。小爆発にとどまる、といふのは事実です。これを知りませんと、原爆と感違ひしてゐる、とバカにしますので、皆さんも注意して下さい。

そしたら、原発にとつて一体、「事故とは何か」というと、それまでにすでに原爆の時のように、原子力発電のおなかいっぱい死の灰、千発分の死の灰ができるのですから、それが一挙に、どつと外へ出てくる、ということを大事故と呼んでいます。

原発の事故とは

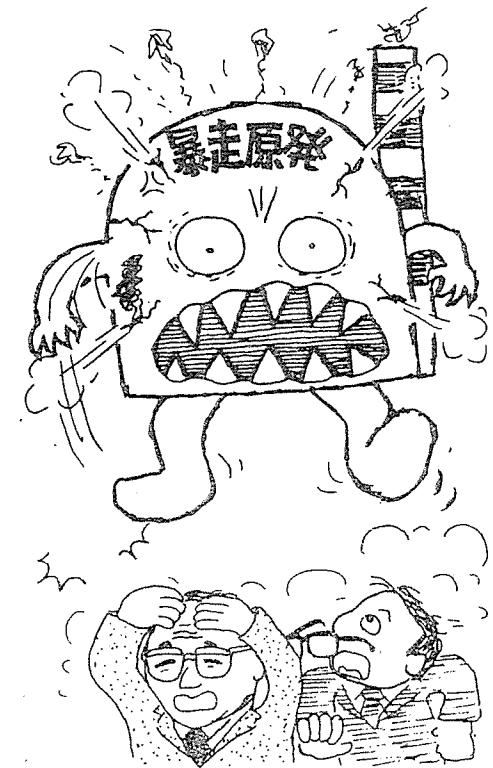
それから、事故の時はどうかといふと、あの燃料棒からドツと放射能が出てくる、ということが事故です。

これは青谷の会場でもちよつと言いましたけれども、電力会社の人は、反対していの住民に対して、「お前ら間違うと。原子力発電所が爆発する、と言うて原爆と間違う

逃げる間もない暴走事故

その出方を大きく分けて二つありますて、一つは暴走事故。具体的には、制御棒を、ほんとはゆっくり抜いていかないかんすけれども、機械の調子が悪かつた、あるいは運転する人がぼんやりしどつた、という事で、ガーッと勢い

カラだき事故と水素爆発



よく抜いてしまう。そういうことが起こった時どうなるかというと、急に火が燃え上りますから、格納容器まで噴きとばすほどの爆発は十分起ります。天井も吹つとびますから、死の灰が一拳に、ドーッと外へ噴き出す。これが一番やっかいで、アポロ事故と呼んでいます。

アポロの打ち上げとおんなじで、ドーンと死の灰も打ち上げられてくる。事故と同時に死の灰が飛んで参りますから逃げる間もないのに対して、これは世界でも実験の段階ではおこっていますけれども、実物ではまだ起こっていません。



ガス爆発
グジャグジャに潰れて死の灰がどっと出ます。

界中がテレビの前でヒヤヒヤした、水素の大きな泡でございます。水素というのは軽いものですから原子炉のアタマへ上つていって、いっぱいになる。そしてもし爆発すれば全部ふきとんで大変なことになる。この爆発は、水素の爆発です。

同時に、死の灰が吹きとんで周囲に襲いかかる。そういう

う事になればこれは大変だ、というので世界中がヒヤヒヤした。あの水素というのは炉心から発生したのだという事を、しっかりと覚えといて下さい。

青谷の長尾鼻に運悪く原発ができる、ある日水素が出た、といふような」とを聞いた、「目撃に、出来るだけ遠くへ逃げること。水素が出たというのは、中で大変な事が起こっているわけですから。しかし、暴走事故の時と違つて、スリーマイルの時でも水素が出始めてから放射能が外へ出てくるまでに、大体、半日かかっていますから、その間に逃げる。ひたすら逃げるのです(笑い)。

そういう意味では水素が出たというのは、原子力発電にとって致命的な事故が起こったことを意味します。水素はカラだきになつて温度が上つて、燃料棒が崩れて出てきたという事をしっかりと覚えといて下さい。

まだ続くスリーマイル事故

カラだきはどうして起つたか。スリーマイルは沸騰水型とは型が違いますけれど、要するにバルブがございまして、本来なら閉じてなきゃいかん。皆さんとこの圧力釜の上にも弁がついてますね。たきすぎるとシューと噴いて、ポンと落ちるあれ。あれがシューと噴いたまんま止まつてしまつたんです。

で、閉まらんものですからそこから湯気がブーッと出た。ところが運転室では「閉まつた」という風にメーターで見えてたんです。で、開き放しになつてのを知らんじャンジャンやつたものですから、ドーッと湯気が出てカラだきになつて、ああいう事になつてしまつたんです。

実際には、燃料棒がグジャグジャになつてお湯の中へ溶けて、そのお湯が噴き出てしまつたのですから――現在、この中(格納容器)には三千トンもの水がいっぱい詰まるんです。その中へ燃料棒にたまつた死の灰がドッと出てきている。皆さんはスリーマイル事故はもう終つてると思われてるかもしませんけど、目下、事故は進行中であります。一寸のぞいてはすぐ飛び出す。決死隊が入つて写真撮つてはまた飛び出す、という事をやつて中の状況を監視しながら送つていい。

発電会社はこの水を始末して、川へ流したいんですけど、住民が「絶対に流させない」といつて、周りにピケを張つてがんばつてるので捨てられない。で、この中の機械が水の中でだんだん腐つてきてる、という大変な状況になつてきてるわけです。まだ、スリーマイルのあの時より、もっと大きな被害が出るかもしれないと心配されてまして、いったん燃料棒が崩れると大変なことになる。現在もスリーマイル島事故は続いている、という事をぜひ忘れないでいただきたい。

パイプのヒビ割れから大事故

それ以外にカラだきはどうやって起こるかというと、パイプが折れてしまう。ヒビが入っているのを知らんで運転しておって、ボキッと折れる。そうするとそこからドーンと噴き出てカラだきになる。ヒビ割れができた、というと新聞に大きな記事になるのはそういう事でございます。

「なんや、ヒビ割れぐらい」と皆さん思われるかも知れませんけど、それは大事故の隣り合せの、大変なことです。ある日それがボーンと折れたら一ぺんにカラだきになつてしまいます。

鳥取県は地震が一番問題

それから地震。鳥取県は地震が一番問題です。ですから、私は鳥取へは来ないやろと思うていたら、その鳥取へもつてくるという。

地震がなぜ怖いかというと、地震でパイプが折れる、これが怖いんですね。建物は丈夫に作るといふのはいまの建築学で十分できるんですけど、こういうモノとモノをつないでるパイプは弱いですから、一寸の衝撃でボキッと折れる。どの程度の地震で折れるかは、実はまだわかつて

いない。

本当は一みんなそうですね。例え橋を作つて、地震でつぶれる。そしたらもつと丈夫にせないかん、とこうなつた。そうやつて建築学といふのは進んできたんですけど、幸か不幸か、原発ができてから大地震に会つた、といふ事が世界中でまだないんです。それで日本のような地震国は、世界中がたぶん、一回起つてくれたらええのになあ（大笑い）、と思うて待つてゐるかも知れません。

地震が起つてももつと、「なるほど、いまの設計でよかっただ」。もたんかつたら、「これからもつと丈夫にせないかん」とそういう事で、そのためには日本でも、よりに選つて地震のない所へもつて行く。鳥取は特に地震の多発地帯



で、ただでさえ地震でやつかいなところへ、ボキッと折れて上からバーッと放射能かぶせられたらたまりません。電力会社では、どうせ地震で家がつぶれるんだからええやろ、とそんなアホなこと言う人がありますけど、地震で倒れた上に死の灰が襲いかかるという事を、ぜひ皆さん考えていただきたい。

役に立たない避難計画

これまで原発の周辺では、必ず防災計画というものができて、避難計画というものを作りました。けれども、それにはなんにも書いてなかつたんです。

それが、スリーマイル島以降は、原発から十キロの範囲は特別区域に指定されて、その住民はもしもの時にはどこのクルマをどこへ集めて、どっち向いて逃げないかん、という事が書かれることになつています。でもそんな事書いても実際には実行できないんです。

なぜかといふと、原発から出てきた死の灰はずーっと目に見えない雲になつて流れるわけです。大体、七度か八度の（分度器の）開き角をとつて、予定地（原発の）と皆さんの家の方角とを結んでみて下さい。どっちの方向へ風が吹いてきたら逃げないかんか、という事になるのですが、そういうひらき角ですから、遠くへいくほどひらいてくるわけです。

その範囲に死の灰がやつてくる。風向きが変ると別の方にいく。スリーマイル島の時は三日間、出続けたわけですから、大体まんべんなくずーっと（笑い）その辺に配給した、という形になつています。それも地上から見ていても全然わからん。



「大事故は一億年に一回」のウソ

そういう事に対し推進派や電力会社の人びとは、「そんなこと起こらん」と。「カラだきになつて死の灰が出てくらいうなことは、自分らの計算によると一億年に一ぺんくらいしか起こらん。せいぜい三十年の寿命（原子炉が）の間にそんな事は起こらん」と言いまくつてきたわけです。

しかし二年ほど前のあいつこと（スリーマイル島原発事故）が起こって、その論拠は完全に崩れてしまつた。いわゆる「安全神話」はつぶれてしまつた。いまでは、大事故は絶対大丈夫、絶対安全、なんて言えなくなつてしまつた。なるべく起こらんように努力する、という風にしか言えなくなつたんですね。

政府が出した避難計画の手引きをみますと、だから風下へ逃げるのは必ずしもよくない。つゝ切って逃げるか、横に向いて逃げる、と書いてあるんですから、その雲は目に見えんわけですから事故の時はどっち向いて逃げていいか（笑）。それに、こんな土地ですと風上は大体海ですから、海に飛び込んで（大笑い）逃げるかしないといかん。要は、目に見えん、臭いもしないものですから、どっちをどう向いて逃げればいいか分らない。

それに事故の時はパニックが起りますからとてもそんな防災計画は役に立たん。

そういう事は判っているんですけど、でも、スリーマイル事故までは、全くそんなもんいらん、となつとつたのが、いまでは各地方自治体ともかなり真剣に、そういうものを考えるようになってきた。という事は、大事故は絶対起ころん、というのは崩れ去ってるという事でございます。

結び

原発の危険手当て三十三億円

以上、言いましたように、いろんなところで問題が出てきています。それに対して、一方は「許容量で大丈夫」「そんな事故は起ころん」とやっておるわけとして、私た

ちは「そんな事はない。少量だとしても長い間それが降り積れば大変なことになる」という事を主張しているのをございます。

最後は、なぜそんなやっかいなものを、どうしてやろうとしているのかという事ですが、結論だけ申しますと、まず、原子力発電をもちこんでこようとしている側は政府と電力会社でございますが、どういう事が口実となつているかというと、「石油がなくなる。石油がなくなるとエネルギーはどうする？」「当分は原子力しかないじゃないか」という、これでやつてきているわけあります。しかし、これはウソであります。決して原子力は石油の代替にはならない。そういう事がおいおいとはつきりしてきております。

受けいれる側、主として、気高や青谷の地方自治体をあつかっている町長さんや町議会でございますが、一〇〇万キロワットの原子力発電が一基まいりますと、大体三十三億円というお金が地方自治体へ交付金という形で入ります。その用途は原子力発電がくる周りに安全施設をつくるとか、公民館をつくるとか、電気料金を割引くとか、その他いろんな使い途がありまして、ことしの十月の値段で合計三十三億円配られます。ですから、二〇〇万キロワットもつてくるとその倍ですね。これがたとえば青谷にできると青谷にそれだけ入る。

期間は、建設を始めてから運転開始の五年までの間。そ

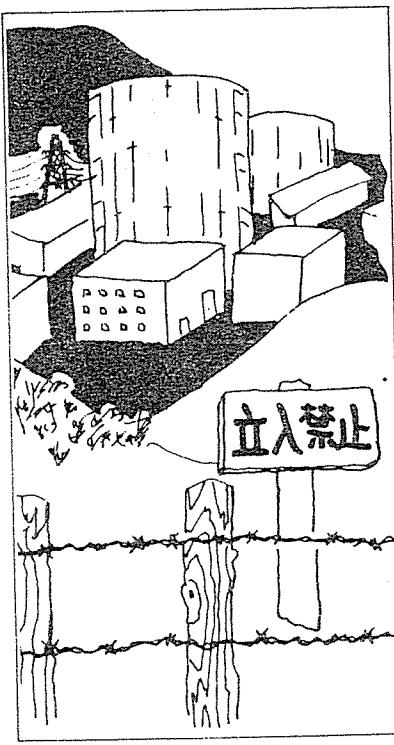
の間にそれを使わないかんすけど、年々に割ってでもええし、一ぺんでもええし、それが出る。それから、青谷の周りの市町村には、市町村全部あわせてやっぱり三十三億円出ることになつていて。

力ネかいのちかー住民の選択

大体、原子力発電所というのは二基が最低で、電力会社の予定では四基ぐらい置きたい。四基だと大体、百五十億円ぐらい入る。この魅力に地方自治体が耐えられないということが、一番大きな問題でございます。ですから各地とも、原発が安全かどうか、という議論はほとんど問題にならない。

そんなの（安全問題）は、国がやるから国へまかしとけ。とにかく金をやるというから金を取らんことには、赤字財政でどうにもやつていけん。原発がイヤだと言うんなら代りにどんなええもんがあるか言うてみいーと、こういう事を言って、反対派の人たじろいでいる間に、原発が入ってくるというのが、最近の頭著な傾向です。

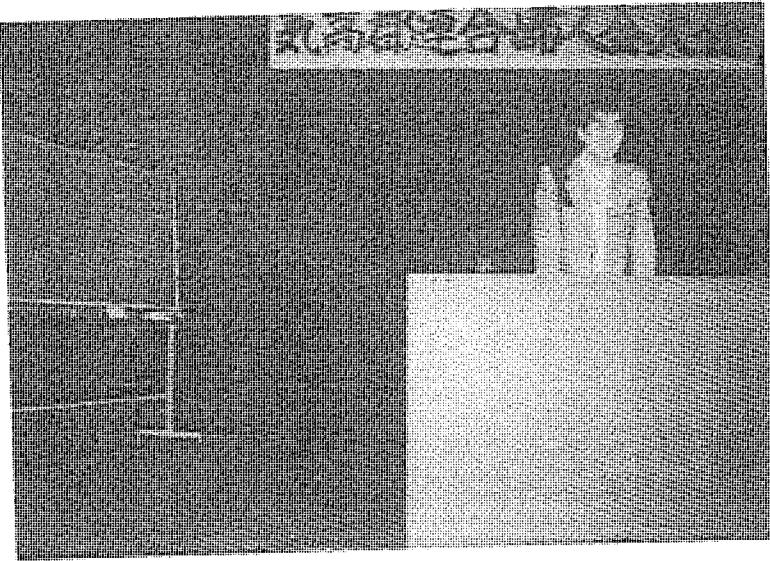
十年前にはもっと気軽に満ちとつたんですがねえ。これから花形は原子力や、と。いまはもう、そんな事いっても誰も信じないですから、どうせ危険手当や、と割切って、金をとるために危険は覚悟せな取れん。それ



一九八一年一月一五日

気高郡連合婦人会学習会講演より

（記録・小泉澄子）



原子力発電の安全性

京都大学原子炉実験所

小出裕章

この美しいふるさとの海を子供らに（八束水の浜辺で）



はじめに 進む青谷原発

解説されていない死の灰の管理法

第三章 エネルギーの浪費

39

第一章 原発は危険だ

石油より先にウランがなくなる

原発は石油の一割しか代替できぬ

39

- ・危険だから大都会には建てない
- ・危険と引き替えにバラまかれる金
- ・青谷原発一日で広島原爆六発分
- ・死の灰は閉じ込められない
- ・三つのルートで死の灰が環境に
- ・エンツツから空にバラまく
- ・温排水に薄めて海にタレ流す
- ・原発の敷地にこつ然と現われる大河
- ・平常運転でも死の灰は必ず出る

第二章 必ず起きる事故

- ・起つる時には起つてしまふ
- ・スリーマイルで実証された原発事故
- ・非常にズサンな日本の安全審査
- ・敦賀事故を見る現実とタテマエ
- ・まだ序の口の原発の大事故
- ・国がひっくり返るケタ違いの大事故も
- ・一度も試されぬ緊急炉心冷却装置
- ・死の灰は作れど無毒にはできない
- ・死の灰の管理二十万年から百万年

49 48 48 47 47 47 47 47 47 47 44 43 43 43 42 41 41 40 39

第四章 弱者を踏み台に

- ・差別の上に立つ世界のエネルギー構造
- ・ウラン採掘の蔭に原住民の犠牲と汚染
- ・被曝要員の下請け労働者
- ・被曝基準にも下請け差別が
- ・モノ言わぬ子孫へおそろしいツケを
- ・悪い電力会社、踏んだりけつたりの住民
- ・「お國のため」谷中村の教訓
- ・やがては国も地球も滅びる

60 59 58 57 57 56 55 55 55

結び

はじめに 進む青谷原発

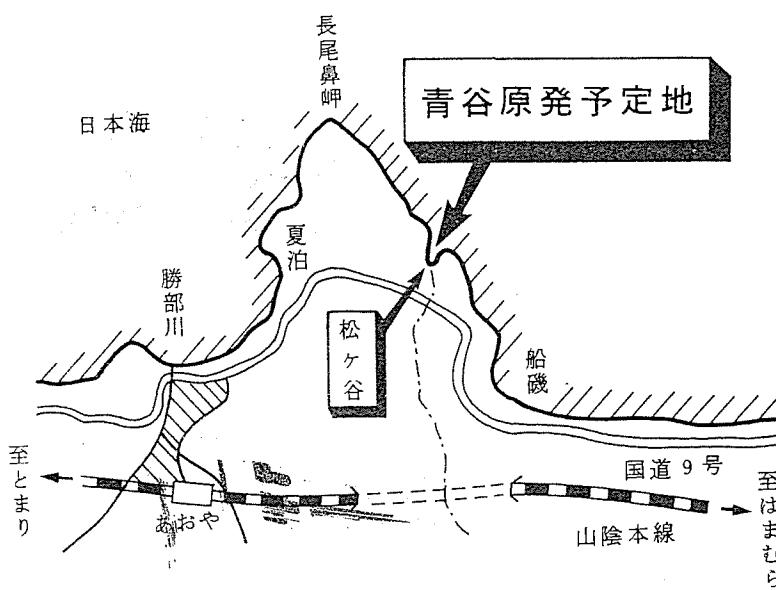
青谷の原発の話が大分進んできたということで、またうかがつたのですが、鳥取の県議会で、青谷の原発が問題になつてゐる。随分早く話が出てきたんだなあと、驚いていられるわけですが、実は昨日、青谷の現地を見せていただいて、新聞で県議会の記事を見た以上にびっくりしました。国道のつけ替え工事の話も、進められている。

皆さんのが全然知らないところで、話はどんどん進められている。皆さんも早く行動を起さないと、知らない内にやられてしまうということになりますので、ぜひ注意をしていただきたい。

第一章 原発は危険だ

危険だから
大都會には建てない

今日は、原子力発電所がどういうものかというお話をす
るのでですが、私は、原子力発電所が危険だということは、
もうお話する必要はないのではないかと思っています。



私は、原発は危険だということは、ずっと言つてきましたけど、原子力発電を推進している人も、原発は危険だということは、知つてゐるわけです。

それは、なぜ分るかというと、原子力発電といふものは、都會には絶対建たない。電気を一番よく使う東京や大阪には、原発はない。日本全国を見ても、都會に建つてゐる原発は、一つもない。すべて、過疎地といわれる非常に貧しいところに建つてゐる。

それは、とりも直さず、原子力発電所を建てようとしている人たちが、原発は非常に危険だということを、知りながらやつてゐることの、一番いい証明だと思います。

最近、『東京に原発を』という本が出ました。非常に皮肉な題ですが、「本当に電気が必要なら、東京に建てる」と、東京に住んでいる人自身が言つてゐる。その人は、そういうことを通じて、原発といふのは、非常に危険なんだということを訴えている。

危険と引き替えに バラまかれる金

原発が危険であるということの第二の理由は、原発を建てられる時に、いろんな形でお金がバラまかれます。

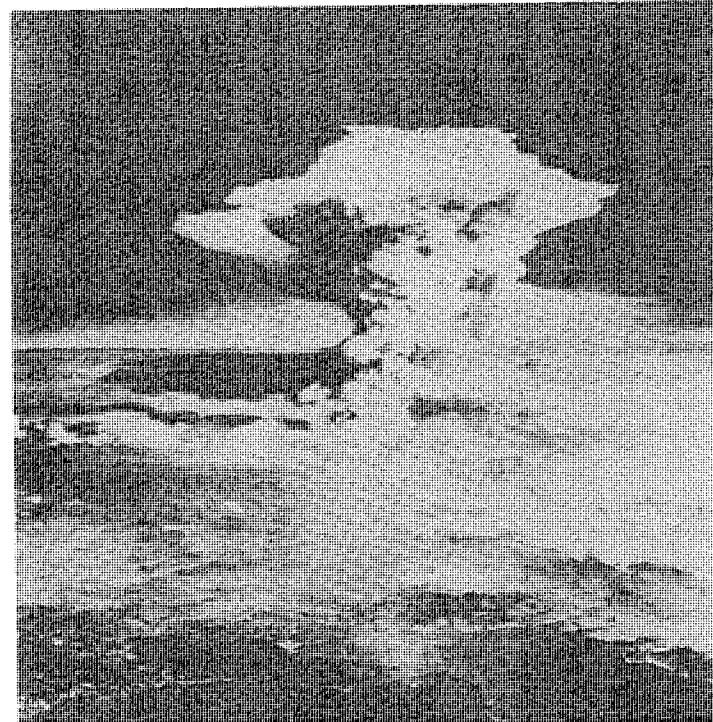
一つは、電源三法という法律があります。電源開発促進

法という名前の法律がある。そういう法律を土台にして、原発を建てるところに、危険と引き替えに、国のお金をやる。また、土地の所有者が土地を売る、漁民が漁業権を売れば、お金が使われる。あるいは、原発に賛成すれば、金をやるという買収の形や、原発の視察に連れていくための大名旅行をするなど……。要するに、非常に貧しいところに、お金を沢山バラまく。

私は、お金がバラまかれること自体が、原発が非常に危険であることの証拠だと思う。



昔の宰相「貧乏人は麦を食え」
今の宰相「過疎地には原発を」



広島原爆、爆発の瞬間

青谷原発一日で 広島原爆六発分

では、なぜ原発は危険なのか。原子力発電所の目的は、電氣を得るためにですけれど、原子力発電が動く限り、死の灰ができる。それは絶対に避けられない。それが、危険なのです。

では、どれぐらい危険なのかといえば、そこの青谷に計

画されている原子力発電は、一一〇万キロワットといわれています。一一〇万キロワットの原子炉が、三基か四基といふふうにいわれています。

一一〇万キロワットの原子炉が一日動けば、三・三キログラムのウランが燃えて、三・三キログラムの死の灰ができる。ヒロシマの原子爆弾は、六百グラムのウランから、六百グラムの死の灰が出た。ところが、青谷に計画されている原発が一日動くと、ヒロシマの原爆の六発分、非常に膨大な死の灰が出る。

万一それが、皆さんのが住んでいるところに放出された場合には、非常に大きな被害が出ることになります。

(注) アメリカの国防省の当初の発表では、ウラン一キロ燃えて死の灰一キロ(広島原爆三発分)だったが、この講演時点では六百グラム(六発分)、現在は七百五十グラム(四発分)とさらに修正している。

死の灰は 閉じ込められぬ

では一体、私みたいな「原発は危い」といっている人間と、「原発はやらざるを得ないんだ。何んとかなるだろう」といっている人たちと、どこが問題になつてゐるかといいますと、このように膨大にできる死の灰を、閉じ込めることができるか、環境にバラ撒かないですかどうかが、私

たち専門家の間で、論争を起こしている点なのです。

本当に閉じ込めておけるならば、それほど危険はないが、本当に閉じ込めておけるのだろうかという点です。原子力を推進している人たちは、本当に閉じ込めておけると考えておられる。

皆さんは、中国電力からお話をおききになったことがありますかどうか分りませんが、電力会社の人は、はじめは「死の灰は絶対だしません」。ところが、しばらくして住民が事実を少しずつ知つてくると、「死の灰は、少しは出るが、非常に微量だから、心配ありません」という言い方をする。恐らく、これから青谷に原子力発電を建てるとすると、中国電力の人が皆さんとのところに来て、そういう言い方をするだろうと思う。「少しは出るだろうが、非常に微量だから心配要らない」と。

しかし、そうではないと私は思います。

三つのルートで 死の灰が環境に・・・

死の灰が、皆さんのところに関係してくるのに、二つのルートがあります。

一つは、原発が何のトラブルもなく、非常にいい状況で運転されている時でも、死の灰は降つてくるし、海に流さ

エントツから 空にバラまく

日常的に原子力発電所が、非常に順調に動いている時でも、原発の高いエントツ一決して煙の出ないこのエントツは、排気筒といつていて、一からは、死の灰を出してい

る。死の灰は、非常に危険ですから、なるべく高い所から出して、人が住んでいるところに来る時には、薄まってしまふという、それぐらいの考えですが、一たん出てしまつた死の灰は、決してなくならないわけですから、薄まるにしても、どこかで人間のところに来る。

温排水に薄めて 海にタレ流す

もう一つは温排水。一一〇万キロワットの原子炉というと、実は、三三〇万キロワット分の熱が、原子炉の中ではできている。その内、電気にできるのは、三分の一の一一〇万キロワットで、残りの三分の二は海に捨てている。

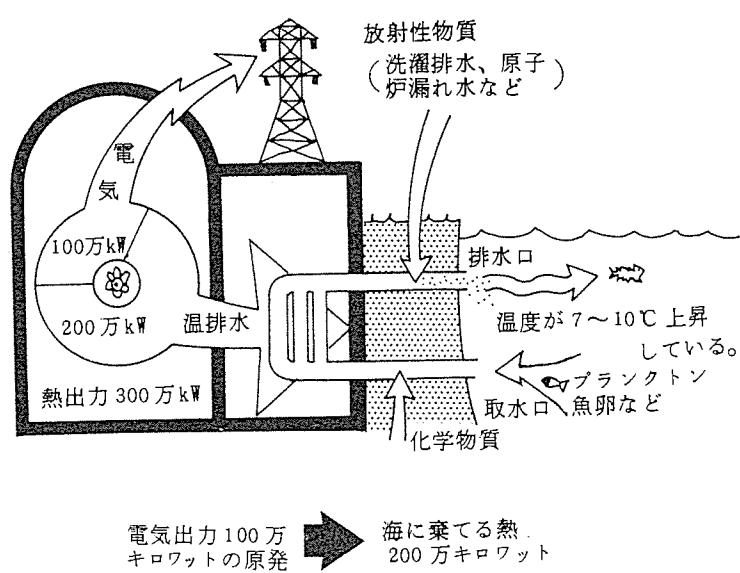
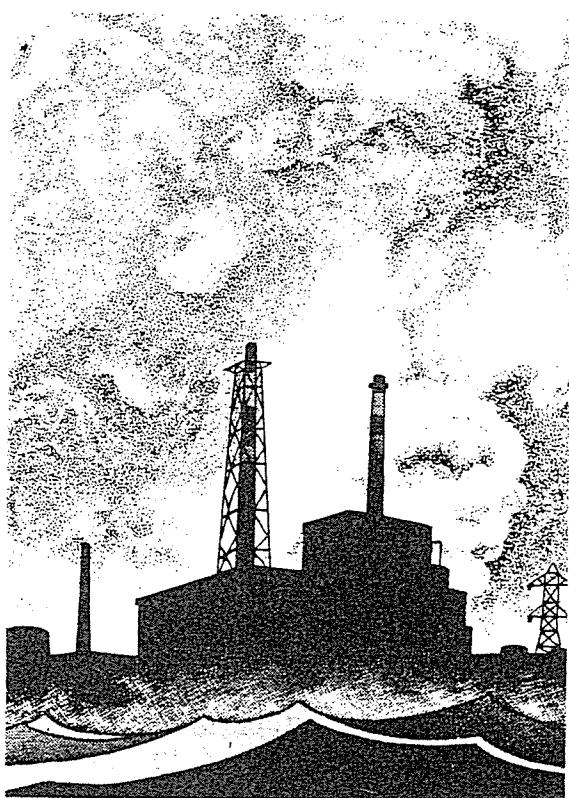
捨てないことには、原発は運転できない。捨てるというのは、海水を原子力発電の中に引き込んできて、海水を温めてまた海に戻すという作業をしている。

れる。

つぎの段階は、何か事故があつたらどうするかという心配が常にあります。

三番目に、原発が非常に順調に動いて、事故もなかつた。ところが、原発は二十年ぐらいすると、ダメになってしまふ。どの機械でもそうですが、二十年、三十年経つて、原子力発電所が古くなつてだめになつても、一度できてしまつた死の灰は、なくならない。それが、やがて私たちのところにやってくる。

そういう、三つのルートです。



一一〇万キロワットの原発ですと、一秒間に八〇トンの海水が、約七度も温度が上つてまた海に帰る。一秒間に八

○トンというと、千代川よりもっと大きい河が、原子力発電所ができると、その敷地にこつ然と現われる。

もちろん、原子力発電所というのは、一基で建てられることはなく、青谷の原発計画も、三基から四基といわれていますから、量も三倍から四倍。一秒間に三百トン近い、しかも熱い河が原発の敷地にできる。

一秒間に三百トンといえば、日本一の大河ですが、もし青谷に原発ができるとなると、日本一の、しかも熱い河ができるしまう。その河は、ただ熱いというだけでなく、その中に死の灰がある。

平常運転でも

死の灰は必ず出る

原子力発電には、避けようがなく、死の灰ができるてしまう。その避けようがなくできた死の灰は、原発の中に入じ込めておくことができず、避けようがなく表にもれる。

それを原発では、捨てなければならない。一部は煙突から、一部は温排水という大きな河に、薄めて流している。

いまの国は法律では、死の灰で非常に汚れた水は、そのまま捨ててはいけないが、これを水をジャアジャア流しながら薄めてしまえば、捨ててもかまわないことになります。ですから、原子力発電所には大きな河ができています

第一章 必ず起きる事故

起ころる時には

起こってしまう

きわめて当然の事なんですけれども、この世の中に、絶

から、少しぐらい死の灰ができるても、皆その河に流してしまえばよい。そういう法律なんですから。

ですから、熱い河というのは、本当は原発の中から出でた熱の三分の一を捨てるためにあるといいましたが、実は、原子力発電所が停まっている時も、ぐるぐる河は流れている。もちろん、原子炉が停まっているから、河は熱くはありません。熱くはないけど、河だけは流れている。なぜ河を流しているかというと、死の灰を薄めて捨てるために流している。

だから、その河の役目は、明確に二つある。一つは、原子炉の中でできた熱の三分の一を捨てるため、一つは放射能を薄めて流すため。

原子力発電所は、非常にうまく運転されているという時でも、死の灰は、そういう形で皆さんのが住んでいるところに出てくる。

対事故を起こさないというものは、何一つありません。別に事故を起こそうと思うわけではないけれども、事故というものは起こる。どんな機械でも、大ていは何かのハズミで事故を起こす。

原子力発電所については、国が非常に厳重な安全審査というものをやつていて、「国がお墨つきを与えたんだから、大丈夫だ」といつていて。しかし、私はダメだと思う。国がいくら厳重に安全審査をしても、事故というものは、起ころるときには起ころってしまう、というふうなことを前々からいつてきた。

スリーマイルで 実証された原発事故

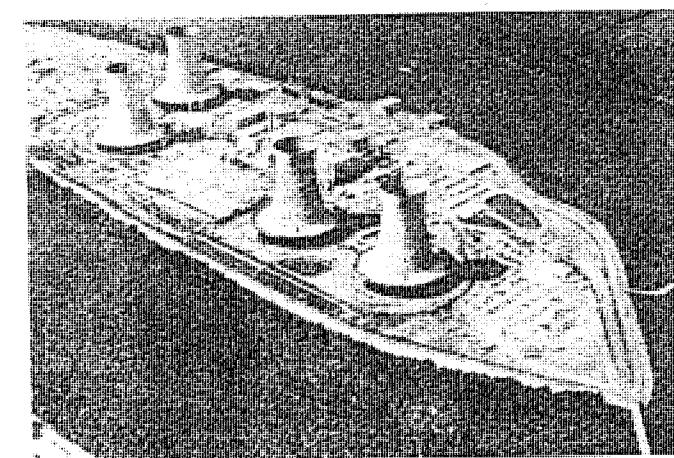
そのことが一番はっきり現れたのは、一九七九年三月、スリーマイル島で、非常に大きな事故が起こった。

では、アメリカでは、安全審査を何もしなかったかといふと、アメリカは非常に厳重に安全審査をやつていて。スリーマイル島の原子力発電所も、実は安全だというお墨つきを与えられて動いていた。ところが、思いがけない事故というものは、起こった。

だから、日本の国でいくら厳重に安全審査をやつたといつても、事故が起ころる時には起ころる。事故というものは、そ

非常にズサンな 日本の安全審査

いうものなんだということを、あの事故は示したんです。



スリーマイル島原発
(米国ペンシルバニア州)

日本の原子力発電所の規制をしている役所には、約百人しかいません。それぐらい、日本の国の原発のやり方には、まだに力がこもっていない。

さらば 安全審査のやり方についても、非常にスサンな審査しかされていない。要するに、電力会社が書類を出す「こうこう、こうするつもりです」という書類を読んで、「アア、こうこう、こうすれば大丈夫だろう」といつて、印が押される。

こうこう、こうすれば、という仮定は、事故のときには成り立たない。こうこう、こうするつもりだったけれど、そうならなかつたというのが、事故というものなんで、タ

決して、タテマエ通りにいかない時に、事故というものは起るんで、そんな安全審査、いくらやつてもだめなのです。

敦賀事故に見る
現実とタテマエ

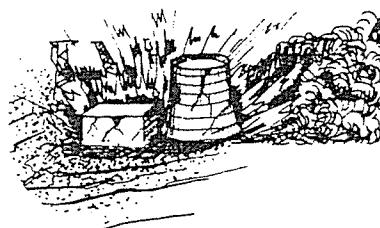
まだ序の口の
原発の大事故

裏賀の原子力発電所の事故は、ご存知だと思います。絶対に死の灰が流れないと書いていた普通の排水口から、死の灰が出ていた。

私が先日、敦賀原子力発電所に行つた時にもらつてきたパンフレットに、「原子力発電所の運転によつて生じる気体、液体あるいは固体等の放射性廃棄物は、環境へ影響を与えないよう、廃棄物処理装置で、放射能の除去または低減をします。したがつて、放出される放射能は、極く少く、常に測定監視して、無害であることを確認しています」とある。

放射能に、無害ということはまずない。「測定していくま
す」というが、そうでないところから、やはり死の灰は、
環境に出てくるということに問題がある。

決して、タテマエ通りにいかないというのが、事故なの
です。



		即死
すぐ障害を受ける人	十八三千人ぐらい	一万三千人ぐらい
晩発性障害（何十年も経つてガン等で倒れる人）	十三万五千人ぐらい	十八万人ぐらい
遺伝的障害を受けて生まれてくる人	十五万人ぐらい	十六万人ぐらい
人が住めなくなる地域	千五百平方キロ (中國地方全域ぐら いの広さ)	一万五千平方キロ
放射能を除去して人が住めるようにする地域	その土地の補償などにかかる金	その土地の補償などにかかる金

はせいせいいあの程度のものかというと、そうではない。
国がひっくり返る
ケタ違いの大事故も
もし原発で、本当に大事故が起こったら、どれぐらいの被害が出るか。

もし原発で、本当に大事故が起こつたら、どれぐらいの被害が出るか。

アメリカの、原子力を推進している役所で、そういう計算をしたことが、何度もあります。一番新らしいデータは、五年ぐらい前に出た三千ページぐらいのくわしい報告書です。それによれば、原子力発電所で非常に大きい事故がおこつた場合、

敦賀原発で放射能漏れ

相次ぐズサンな管理

これは土地の補償金だけで、人間の補償は含まれてはいません。日本の国家予算は、二十兆円ですから、それだけでも、膨大な金額です。

もし、本当に事故がおこったとしたら、非常にケタ違いの、国がひっくり返るぐらいの事故になる。

一度も試されぬ 緊急炉心冷却装置

そういう大事故は、非常に起こりにくいとしても、起きた時には取り返しがつかないから、原発はやめるべきだと私は思う。そういう事故は、いつかはおこるだらうと、私は思っています。

なぜなら、そういう事故にならないようにする安全装置が、原子力発電所にはついている。名前は、緊急炉心冷却装置という。これがあるから、先刻いったような事故は絶対起きないとわれているが、その安全装置が有効に動くかどうか、一度も調べられたことはありません。

実はいま、実験している段階です。青谷原発は、一基で一一〇万キロワット（熱出力では三三〇万キロワット）の原子炉ですが、実験しているのは、五万キロワットの非常に小さな、オモチャみたいな原子炉を使って、いま実験をしている。そういう段階です。

の灰を消すことはできません。

私たち日本人は、かなり悲惨な公害を、いろいろ経験してきました。一番よく知られているのは、水俣病です。それは、有機水銀が人間の体の中に蓄積して、ああいう病気を起こしたのですが、いまの科学の力では、人間の体の中に、水銀が入らないようにすることは、不可能ではあります。やる気になればです。ただ、水俣病の場合は、企業がそういうことをサボったから、ああいう被害が起こったんです。

死の灰の場合は、お金を借しまず、死の灰を無毒化しようと考へて、どんなに沢山お金を使つてもダメです。決して死の灰をなくすこともできません。無毒にすることもできません。絶対に。

死の灰の管理 二十万年から百万年

ただ、ひとことで『死の灰』といっていますけど、いろんな死の灰がありまして、それぞれ寿命を持っている。すぐに寿命が切れて、なくなってしまう死の灰も、実はあります。一方、非常に長い寿命を持っていて、なかなかなくなってくれない死の灰もある。

人間の寿命は、せいぜい数十年ですが、死の灰は、数万

ところが、実際には原子力発電所だけは、どんどん建てられている。ですから、もし事故が起これば、実際の原子力発電所で、その装置の実験をしてことになる。失敗すれば、大きな事故になる。

私は多分、安全装置は動かないだらうと思っています。

その点に関しては、原子力を推進している人も、本当にうまくいかどうか自信がない。だからこそ、原子力発電所は都会には建てられない。

さきほど、私が言った原発の大事故の数字は、アメリカの、人口が非常に少ないところに建てられた原発の事故の被害の数字ですが、もし都会に建てられていたら、その何十倍、何百倍の被害がでる。ですから怖い。

原子力を進めている人も、怖いんです。だから、原子力発電所は都会には建てられない。それが、原子力発電所で起きた事故の怖さです。

死の灰は作れても 無毒にはできない

さいわい、事故は起こらなかつたとしても、原子力発電所は、二十年か三十年経てば、古くなつて使えなくなります。しかし、死の灰は残る。死の灰は、作ることはできても、いまでもどんどん作っているわけですが、その死

年とか數十萬年とか、そういう長い寿命を持つた放射能がいくつもある。

ですから、原子力発電所を使って、二十年ぐらい電気を起こしたとしても、できてしまつた死の灰は、あるものは何十万年もなくなつてはくれない。確實に危険なのです。

私たちのような仕事をしている者の間では、死の灰は大体二十万年から百万年の間、隔離しておかなければならぬといふことになっています。そうでないと、人間に被害がある。

解明されていない 死の灰の管理法

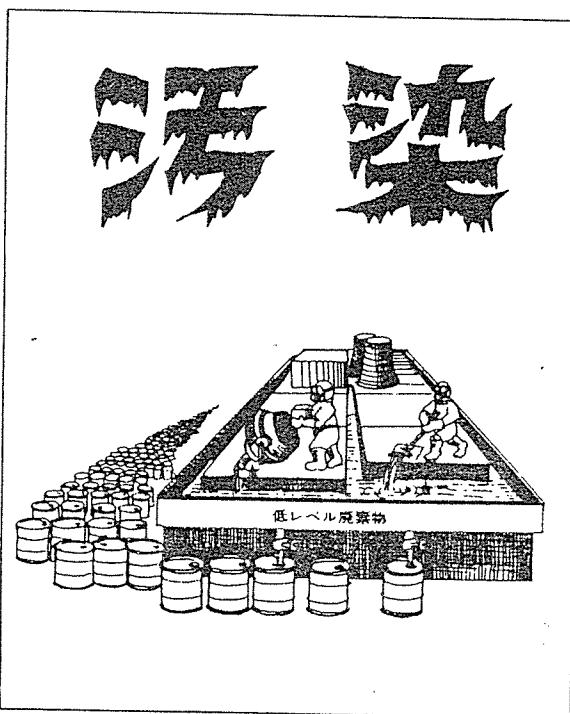
これから科学が進歩すれば、なんとかなるんじゃないのか」という人がある。死の灰を、なんとか管理しようといふことは、何十年間、必死で研究しているわけです。

私は原子力発電は、これ以上つくるべきでないと思つていますが、すでに原子力発電は何基もできつて、死の灰はどんどんできている。その死の灰は、何十万年も管理が

いるわけですが、その死の灰を何んとか安全に管理できるようにななければいけないと強く思っていますが、いまのところ見つかっていません。

これから、本当にそういう方法が見つかるかどうか、非常にむづかしい。とにかく、時間の長さがベラ棒ですから、いまの人間が、その時間の長さにわたって、保証を与えることは、恐らくタマエでそんなことが言えたとしても、現実問題としては困難です。

もし、二十万年から百万年の間に、何らかのトラブルが



第三章 エネルギーの浪費

石油より先に ウランがなくなる

私は、そういう話をあちこちでしているわけです。すると、聴衆の人から「そんな危険なものなら、なんでやるのか」と逆に聞かれます。

推進派の人には「わせれば一推進派の人も、実は（原発が）危険だということは、認めているわけです」しかし、エネルギーが必要だから我慢をする。石油というものは、なくなってしまう。石油がなくなれば、つぎは原子力だ。原子力は未来のエネルギーだと、推進派の人はいうわけではありません。

石油は、後三十年といわれています。石油が三十年しかもたないというのは、三十年前からいわれていた。何んとか新しい石油を見つけながら、後三十年はもつでしょう。「石油がなくなったらウラン」なんて……。石油がなくなる前に、ウランの方が先になくなる。

所も必要になる。

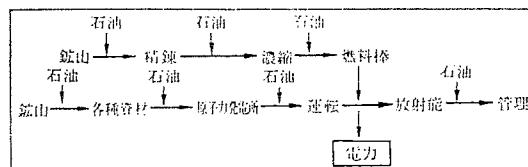
もしかりに、いまの発電所の50%を、原子力発電所にしたとすれば、一たぶん、そんなことはできないでしょうが、現在、石油の25%が発電用に使われているのですから、そのうちの50%が原子力発電所になった場合、発電用石油は半分になって10%。つまり、原子力発電所が石油の代わりになれるとしても、全体のせいぜい一割。

「原子力が石油の代替になる」とよくいわれますが、そんなことはできない。どんなにがんばっても、せいぜい一割ぐらい。あとは、石油なんです。石油がなかつたら、やっぱりダメなんです。

原発は大量の 石油を浪費する

もっと悪いのは、原子力発電所は非常に石油を浪費しています。

大体、日本はものすごく石油を使っているのですが、その中で発電用に使っているのはせいぜい25%ぐらい、あとは化学工業用やガソリン等に使っている。原子力発電所は、停めたり動かしたりという小回りがきかない。火力発電所は、その点停めたり動かしたりできます。その点で、すべての発電所を原子力発電所にしてしまうことはできない。やはり、全体の中で小回りのきく発電



原発は石油の 一割しか代替できぬ

大体、日本はものすごく石油を使っているのですが、そ

の中で発電用に使っているのはせいぜい25%ぐらい、あとは化学工業用やガソリン等に使っている。

原子力発電所は、停めたり動かしたりといいう小回りがきかない。火力発電所は、その点停めたり動かしたりできます。その点で、すべての発電所を原子力発電所にしてしまうことはできない。やはり、全体の中で小回りのきく発電

起こった場合、私たちや、もしくは私たちの何十代の子孫に、悪い影響を与えることになる。

以上が、原子力発電所の死の灰が、私たちに関わってくる三つのルートですが、そのどれ一つをとっても、非常に重要な問題ですし、いまの科学技術の段階で、「絶対に大丈夫だ」という保証を与えられない問題なのです。

少なくとも、そういう段階であるならば、私は原子力発電所はやるべきではないと思う。

原発一基つくるのに、四千億円とか五千億円とか、膨大なお金を使って鉄やコンクリートのお化けのようない建物など、それらの資材をつくるにも、ウランを掘ったり、運搬するのも、石油を使って機械を動かしながらつくっている。ですから、原発

をつくるのに要る非常に沢山の資材は、皆石油を使って生み出している。

原子力発電所をつくった後、運転するにも石油が要る。

引き合わない

原発のエネルギー収支

さきほど、ウランのうち燃えるウランは、一五〇分の一しかないといいましたが、原子力発電所の燃料にするには、燃えるウランの割合を、全体の三十分の一ぐらいに高める「濃縮」という操作をしなければならない。

このウランの濃度を高める操作だけで、非常にバカバカしいほど、電力がいる。その上に出てきた死の灰を、何十万年も管理するのに、非常に沢山の資材がいる。

ですから、原子力発電を使ってエネルギーを生み出すのが、得か損か、実はよく分らないんです。発電すれば電気が出るのは確かだけれど、そのエネルギーを得るために、非常に沢山のエネルギーを使ってしまう。本当に、得になるのか損になるのか、いま一生懸命計算をしている。そんな状態です。

前にアメリカで、原発を推進している役所が、そんな計算をしたことがあるんですが、原発が三十年間非常に順調に動いたという場合でも、たぶんつぎ込んだエネルギーの

のように、次から次へと原子力発電所を建てていくと、あとから電気は出てくるわけですが、一建てるためにまずモノがいるわけですから、つぎ込むエネルギーの方が、はあるかに多いという状態になっている。

私の計算では、いま日本にある二十二基の原子力発電所が、今までつくってきた電気よりも、はるかに多いエネルギーを、原子力発電所を建てるために、使つてしまつていい。ですから、これからもどんどん原子力発電所を建てていくとすれば、エネルギーを使っちゃう方が、はるかに多いという状態になるのです。

ちゃんと計算してみれば、原子力はエネルギーを生む以上に、石油を浪費している。

エネルギーは無制限に使えないと

「エネルギーが必要だから、原子力を推進するんだ」と

いう人には、じゃあ、一体どこまでエネルギーというものは、使えると思っているのかと、私は逆に聞くことにして

いるんですが、エネルギーを無制限に使うってことは、まづないです。

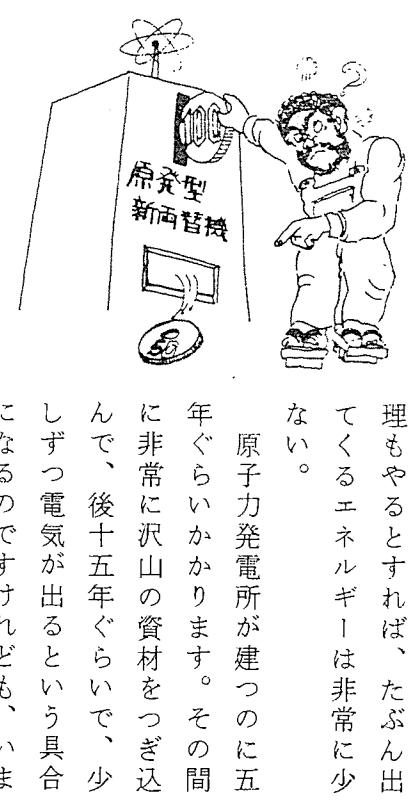
日本は明治のはじめ頃から、大体この百年間に、二百倍ぐらいのエネルギーを使っている。一九六〇年と比べると、

環境 자체が持たなくなる

私は自分で計算しましたが――

せいぜい、原子力発電所の寿命は十五年。順調にも動かない。最近でも、稼働率の平均は、せいぜい五〇%ぐらい。原子炉は年が経つにしたがつて、稼働率が悪くなりますから、耐用年数十五年、稼働率四〇%で計算してみたら、つぎ込んだエネルギーの、倍ぐらいのエネルギーしか生み出せない。それに、死の灰の管理もやるとすれば、たぶん出てくるエネルギーは非常に少ない。

せいぜい、原子力発電所が建つのに五年ぐらいかかります。その間に非常に沢山の資材をつぎ込んで、後十五年ぐらいで、少しずつ電気が出るという具合になるのですけれども、いま



この調子で、エネルギーを前の年より八%多く使い続けしていくと、百年後には今の二千二百倍もエネルギーを使う計算になります。百年後というのは、そう遠いことではない。皆さん孫の時代ですが、本当に二千二百倍ものエネルギーを得ることが、可能かといえば、不可能です。

現在、太陽から送つてくる熱（エネルギー）の一百分の一に相当する熱を、石油等を燃して使つている。ところが、もし百年後に今の二千二百倍になるとしたら、太陽から送つてくる熱の十倍ぐらいのエネルギーを、石油とか原子力を燃して得ようという。石油もそんなにない。ウランもありませんから、私はとてもそんなことありはしないと思いませんが――。

もし資源があるとして、エネルギーを沢山使えるとしても、できない。それは、太陽が送つてくる十倍ものエネルギーを、どんどん燃して使おうと思ったら、生きている環境 자체がもたない。皆壊れてしまう。

すでに日本の都会は、異状気象になっている。人間の環境は、だんだん変化してきて、おかしなことになってきているのに、そんなになつたら、とても人間住むことができません。

だから「エネルギーが足らないから、原子力を進めよう」というようなことでは、もうだめなんです。なんとかこれ以上エネルギーを使わなくとも、生きていけるような生活を考えよう、というのが私たちの考えです。

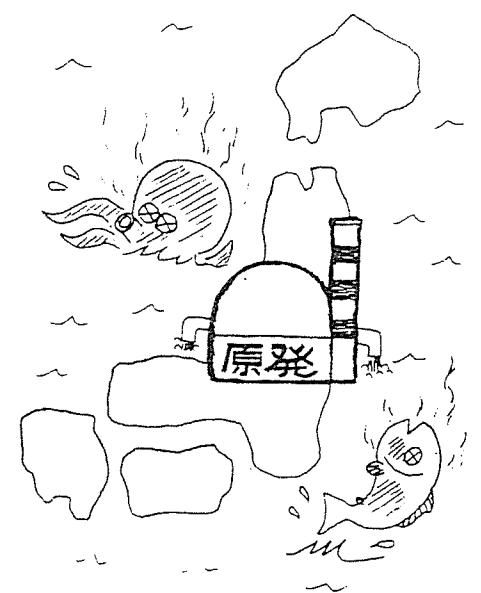
西歴二〇〇〇年には 温排水で漁業全滅

日本では、西歴二〇〇〇年つまり二十年後には、原発で一億キロワットの発電をやろうという計算があるのですが、それが実現するとすれば、大体一年間に千三百億トンという温排水が出来ます。

それはどんな量かというと、日本の河川の流量をすべてたすと四千億トン。日本の年間の降水量は六十億トン。ところが、原子力発電所が一億キロワットになつたら、原発だけで千三百億トンの温排水がいる。

火力発電所とか全部あわせると、たぶん六千億トンを越えてしまふ、というふうにいわれています。つまり、日本に降つてくる雨の量を全部あわせた量より多いぐらいの、沙汰ではない。

日本人はエネルギーを浪費しすぎると私は思う。一九六〇年の頃は、いまの五分の一しかエネルギーを使つていなかった。それでは、いまの人はその五倍もしあわせかといえば、別にそうでもない。むしろ、何か大切なものを忘れてきているといえます。



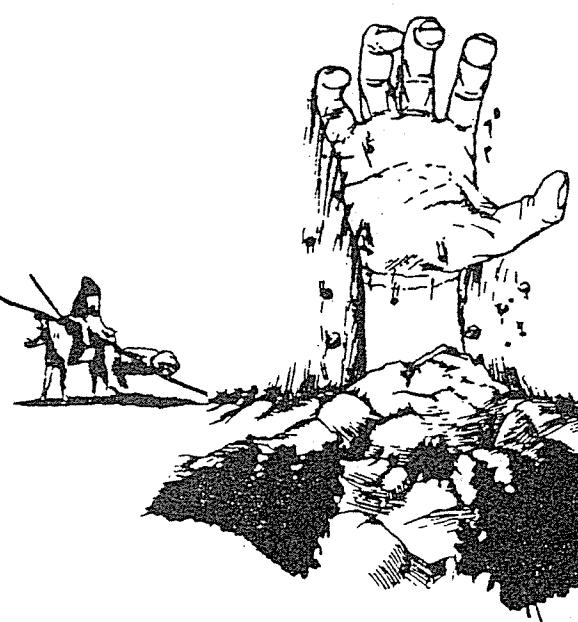
熱い河を日本はつくることになる。
最近、日本の近海漁業は、非常に汚されてどんどんだめになつてきている。もし今のようなやり方で進めていくと、西歴二千年の頃には、日本中の近海漁業は全部だめになつてしまふ。

低い食糧自給率と エネルギー浪費反省

エネルギーが足りないというけれど、日本は今までも食糧の自給率がものすごく低い。エネルギーがないどこ

という情勢です。

私が、原子力を絶対許せないと思うのは、原子力というのは、弱い人間を踏み台にしなければできないということです。沢山の例があります。



第四章 弱者を踏み台に

差別の上に立つ 世界のエネルギー構造

地球上にはいま、四十億の人が生きていている。

その中で、先進国といわれている日本、アメリカ、イギリス、フランス、西ドイツ、この五ヶ国の人口を合わせると五億。全地球の八分の一の人間が、全地球の半分ぐらいのエネルギーを使つている。との八分の七の人間が、残りの半分を使つている。

日本的人口は、一億一千万人。約四十分の一ですが、大体八%ものエネルギーを使って、ぜいたくにくらしている

ウラン採掘の蔭に
原住民の犠牲と汚染

ウラン鉱石は、日本には人形峠等で少し出ますが、ほとんど全部外国から買っている。一番沢山買っているのは、ナミビアという国で、人種差別で有名な、南アフリカという国が、武力で占領している国なんです。

国連の中にナミビアの代表がいて、「いまナミビアから持ち出されているウランは、南アフリカの手で盗んだものだ」と、宣言している。その盗品を、日本は買って原子力発電に使っている。

つぎに多いのが、オーストラリア。オーストラリアという国は、普通白人の国と思われていますが、昔から住んでいた原住民を、後から入ってきた白人が武力で占領して、住みやすいところから追い出し、砂漠のようなところに追いやった。ところが最近、原住民が細々とくらしている不毛の地に、ウラン鉱石が見つかると、白人はまた原住民を追い出した。そこで採れたものを、日本は買っている。

同じことがアメリカでもある。アメリカでは、インディアンの居住地に、ウランが沢山見つかって、そこからウランを採っていますが、最近の調査によると、非常に放射線でインディアンが汚染されている。

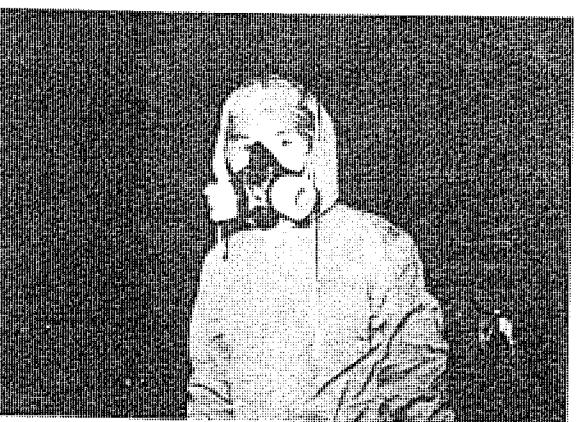
そんな形で、非常に弱いところから、ウランは奪われてやられている。

つぎに、原子力発電所自体が、非常に経済的に弱い過疎地をねらって建設される。

原発にどんな人が働いているかというと、一番数が多いのは、下請け労働者です。危険な作業をするんですね。原子力発電で働く労働者は、死の灰を被曝する。

原発労働者の被曝の実態は、政府や電力会社の発表によると、九割から九・五割が下請け労働者で、残りの一割たらずが電力会社の労働者。私は多分、もっとひどく下請け労働者の人は被曝していると思う。これは、非常にけしからんことだと思います。

要するに、電力会社の社員は、危険な作業はいやだからんで「危険な作業は下請けにやらせる」という要求を、電力会社にしている。そういう状況の中で、危険な作業はどんどん下請け労働者に



被曝要員の 下請け労働者

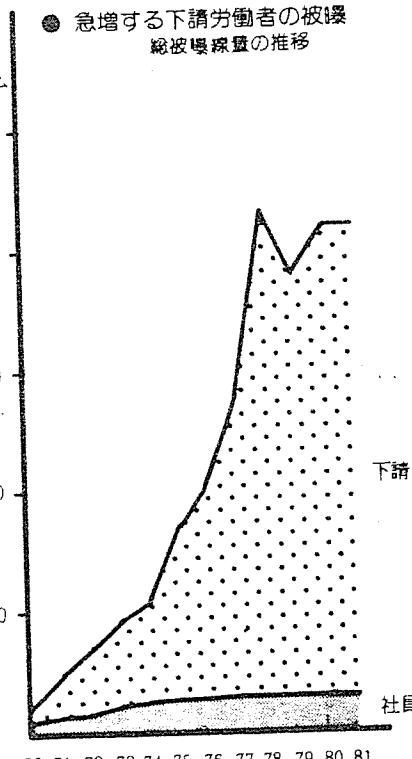
● 急増する下請労働者の被曝
総被曝累積量の推移

人・レム

15,000
12,000
9,000
6,000
3,000
0

70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81

下請
社員



被曝基準にも 下請け差別が

一年ぐらい前にやっとわかつたんですが、被曝基準を、電力会社の社員は一日百ミリレム、下請け労働者は三百ミリレムとしている。同じ人間ですよ。同じ人間なのに、下請けは三倍浴びてもいいと。

ところが、原発の中の汚染がひどくなってきて、それだけではすまなくなり、特に危険な作業の時には、下請けは

千ミリレムまで浴びてもよい、という基準を作った。このように、弱い者へのしわ寄せをしている。

モノ言わぬ子孫へ おそろしいツケを

それから、これもずいぶんひどい話ですが、私たちは原子力発電を二十年か、三十年やって、電気をつくつても、死の灰というものは、永遠に管理していかねばならない。管理をサボつたら、直ちに被害を受けるから、サボることはできない。私たちの子孫は、永遠に死の灰の管理をしながら、生きていかねばならない。

私たちには原子力を使って電気を作つて、ほんの少し繁栄するでしょうが、そのツケは全部子孫の方にいく。ツケを負わされる子孫は、私たちが原子力を使用することについて、いま生まれてもいいし、発言力も権限もない。

野坂昭如という作家が、こう書いています。「原子力平時利用は、現在生きているわれわれが、未来の人類の生命財産、人間らしい生き方、人間にふさわしい自然環境を奪、破壊することで、当面の文明を支えようという企みである」「われわれは、親の脛を噛んで育つた、そして今、子供の血をすすり、孫の骨をダシにして、繁栄とやらを楽しむ」。

まさに、その通りですね。原子力は、強者が力にまかせて、弱い者を踏み台にしてやっている。弱い者を踏み台にしてやつていると、私たち自身を蝕み、人間がだめになる。私は、原子力は危険だという問題以上に、そういう意味で原子力は許してはいけないと思う。

悪どい電力会社

踏んだりけつたりの住民

青谷がねらわれているわけです。青谷といつても、気高町との境、むしろ気高町に近い。

一度原子力発電所にねらわれたら、非常にしつこい。少しげらい反対しても、決してあきらめない。私は、各地の事例を知っています。

和歌山県の日高町に、関西電力の原子力発電所を建てる計画がある。一番はじめは、材木屋が土地を買いにきた。「材木工場を建てたい。土地を売ってくれ。建つたら皆さんを雇うから」「決して、他に土地を転売したりしません」ということだった。そこは漁村でした。海がだんだんダメになってきており、働き場所ができるいいだろうというんで、土地を売った。

そしたら、材木会社はその土地を関西電力に売ってしまった。住民は材木会社ができるというので土地を売つたら、

原子力発電ができるというのでびっくりして、裁判に持ち込んだ。ところが、裁判では負けてしまいました。「材木会社の社長が言ったのは、口約束だった。契約書も何もないのはダメだ」というんです。結局、土地は取られてしまつた。着々、原子力発電所を建てる計画が進められている。

おまけにもつと悪いことに、材木屋が住民を訴えた。

「住民がイチャモンをつけたから、すぐ売れなかつた。何年か停止させられたために、損した分、三億円払え」といのです。住民側は、三億円なんてとても払えませんよ。

先の裁判で意氣消沈している処へ、今度また裁判で負けたらどうしようかと、非常に苦しい時に、関電がでてきて、「オレが仲に入つて裁判を取り下げるから、原発には協力しろ」ということで、住民は脅かされたあげく、原発に協力させられる状態になつた。

それだけではない。漁業協同組合の幹部が、電力会社に言い含められてかどうか知らないが、二億八千万円の不正融資をしてコケつかせた。そしたら、関電が三億円預金をしました。漁協はつぶれずに済んだが、関電が預金を引き出すといえば、漁協はつぶれます。いまや、漁協は関電の言いなりという状態です。

土地もだまされる。

土地もだまされた。



結び

「お国のために」 谷中村の教訓

現在、各地で原子力発電所がムリヤリに建てられていましたが、実は、何も原子力発電所に限つたことではありません。

谷中村といふところがあります。足尾銅山鉱毒事件で有名になったこの村は、一九〇七年、なくなっています。日清・日露戦争をするために、栃木県足尾銅山から非常に沢山の銅を掘つたため、川に鉱毒が流れ、下流一帯農作物は全然取れない。つぎつぎ病人が出て死ぬという、大変な被害をこうむつたことがあります。

そういう被害が見えながら、国は何もしてくれなかつた。「お国のためにだから、我慢しろ」ということで、結局、最後には谷中村は廃村にさせられた。警官が手先になって、そこに住んでいた住民も、全部追い出されてしまつた。ただ、その理由は「お国のために」という。実は、そういうことではなかつたのですが――。

実は、谷中村をつぶしたことによつて、日本といふ国自体が「人間らしい国」として、つぶれていつた。それは、谷中村をなんとかつぶさないように努力した、田中正造といふ、私が一番尊敬している人が言つた。「谷中を潰すことで、国家は自己の破滅を実行した」。まさに、その通りです。

弱い者を踏み台にして、自己の安泰をはからうとすれば、必ず自分が滅びてしまう。そのことは、多くの人が言っています。



やがては國も 地球も滅びる

私が尊敬しているもう一人の人に、宮沢賢治という人があります。皆さんは「雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ」という詩で、ご存知だと思います。この人の言葉に、「世界が全体、幸福にならないうちは、個人の幸福はあり得ない」。

こういうことを、私たちはこれから考えていかないと、やがては私たち自身が滅びてしまう。

宮沢賢治の言葉は、たぶん心が滅びることを言っているのでしょうか、滅びるのは心だけではない。

近い将来、地球という私たち生きていける場所が、壊れてしまうということを、心にとめておいてほしいと思います。

一九八一年五月三一日

気高郡連合婦人会学習会講演より
(記録・村上小枝)



この子らのためにも原発をつくらせてはならない!
(1983年4月29日、長尾鼻で第2回反原発風船あげ)

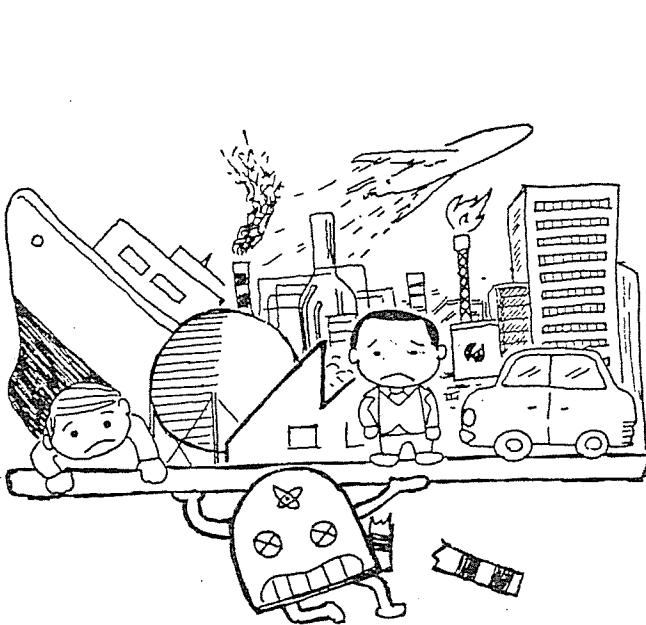
原子力発電の経済性

九州大学工学部

平井孝治



第一章 原発は石油の代替にならない



石油でつくられたり動いているものを
原発で代替することは不可能だ

第一 chapter 原発は石油の代替にならない

原子力発電は石油に依存

原発の経済性を中心に、お話ししたいと思います。まず、原発は石油のかわりになり得るかということを考えてみた

「原発は基本的には、石油依存型の発電です。つまり、いまま、かりに原子力発電をやろうとすれば、建物を造らなければいけませんが、その建物は、原子力で建てているわけではない。例えば、原子炉の機械とか、いろんなものは、石油エネルギーでつくります。

ということは、「原子力発電」と言葉では言っているけれど、これは石油がなければできない技術なんです。車一つ動かすのも、原子力発電でやっているんではない。

そういう意味で、原子力発電は基本的には、「エネルギー」とは、言いがたいところがある。

成り立たぬ原子力文明

石油の場合だと、石油を掘りだすのに、石油を使って掘りだしているわけです。したがって、掘りだせる石油の方が多ければ、石油生産をどんどん続けるわけです。石油を掘りだすときに、掘りだす石油の方が少くなれば、誰もそんなムダなことしないわけですね。

世界の現在の経済学のレベルでいいますと、「石油は最後の一滴まで使うだらう」となっていますが、そんなバカな話はありません。石油を掘りだすのに必要な石油の量が、掘りだせる石油の量より多ければ、やめちゃうんですね。

- ・原子力発電は石油に依存
- ・成り立たぬ原子力文明
- ・発電は石油の用途の $\frac{1}{4}$
- ・合わないエネルギー収支
- ・計算外の核廃物の管理費
- ・ウランの寿命あと二〇数年
- ・原発は借金地獄
- ・バカげた海のウラン採取
- 第二章 電力は余りに余っている
 - ・原発40基分も余っている
 - ・デマ宣伝の「電力不足」
 - ・伸びない電力需要
 - ・家庭用電力が頭打ち
 - ・素材型産業も落ち込む
 - ・電力を使わせる工作
 - ・「民生用」電力のゴマカシ
- 第三章 ではなぜ原発をつくるか
 - ・原発でもうかる仕掛け
 - ・核兵器認める日本政府
 - ・原発から核兵器生産へ
 - ・資源戦争と死の商人

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 74 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 72 | 72 | 71 | 71 | 70 | 69 | 68 | 68 | 67 | 67 | 67 | 66 | 66 | 65 | 64 | 63 | 63 |
| 74 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 73 | 72 | 72 | 71 | 71 | 70 | 69 | 68 | 68 | 67 | 67 | 67 | 66 | 66 | 65 | 64 | 63 | 63 |
- 第四章 原発は電気料金を引き上げる
 - ・電気料金のしくみ
 - ・原発つくればもうかる理由
 - ・核燃料をため込む理由
 - ・ばく大な原発の建設費
 - ・補償金も電気料金から
 - ・補償金をめぐる悲劇
 - ・悪錢身を減ぼす
 - ・揚水発電所は原発の受け皿
 - ・俣野川揚水の三倍の原発が
 - ・原発でハネ上がる電気料金
 - ・原発でハネ上がる電気料金
 - 第五章 “死に損”の原発災害
 - ・大事故起きても補償せず
 - ・生命・火災保険も出ない
 - 第六章 高くつく原子力発電
 - ・「発電単価は安い」のウソ
 - ・ウラン三〇年分を先買い
 - ・三〇年分の利子も電気料金へ
 - ・黒を白と言いくるめる
 - ・断ち切れ原発商法

ところが、とにかく今日、掘りだせる石油の量の方が多いから、石油生産をやっているんです。そういう意味で、

石油を使って石油を掘りだすように、ウランを使ってウランを掘りだすわけではない。

というわけで、原子力発電は、もともと石油依存型の発電である。ですから、文明として考える場合には、そこにおのずから限界があるというわけです。例えば、石油文明という時には、こういう関係で石油が沢山掘りだせるから、文明として成立するんです。石炭文明もそうです。

食糧文明でいえば、例えば、米を生産するのに、米を半年貯蔵しておいて、それをまき、それ以上の米がとれるから、米という農耕文明が成立するんです。ところが、かりに、米を作るのに、作り出せる米より沢山のモミをまかなければ、米といけないなら、誰だってそんな生産しないんです。だからそこには、文明は成立しない。米をまいて、またいた量以上に米ができるから、その差額で、農業以外の人の生活を支えることができるんです。

そういう意味で、ウラン文明、原子力文明というのは、もともと成立たない文明なんです。一〇〇万キロワット・クラスの原子炉を、十五年間稼働させた場合、どれくらいの石油がいるかといいますと、ドラムカンに換算して、ウランを濃縮するのに七百五十万本。発電所の建設に二百五十万本等、莫大な量が必要です。

あって、ダメと分った。というわけで、もし原子力が、石油に代り得るとすれば、二三%の発電だけです。

しかも日本政府は、その二三%の中の三割、せいぜい七%ぐらいを、原子力で置き換えるといつて。たったそれだけのこと、日本全国、原子力をめぐって、ケンケンガクガク議論をしなければならない状態です。

それでは何故、日本政府はがんばるのかということになるのですけれども、その話は後でしたいと思います。

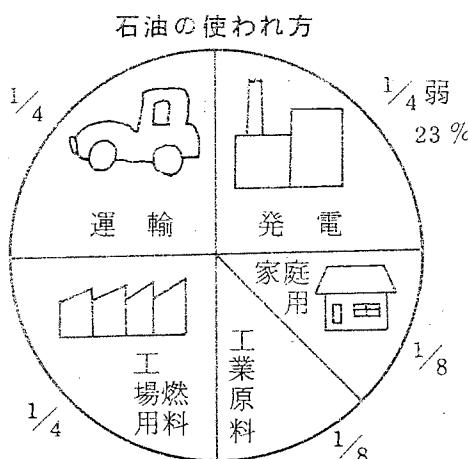
合わないエネルギー収支

アメリカのエネルギー計算では、原子力はつぎのようなエネルギー収支になっています。軽水炉の原発——日本で原発といつてるのは皆軽水炉のことです——¹⁰⁰のものを作りだすのに、どれくらいのエネルギーを投入しなければならないか、という計算をしています。

昔は原子力というのは、一〇〇%エネルギーを調達できると考えていたんですが、実はそうではない。いろんな格好で、エネルギーを投入しなければならないことが、だんだん分ってきた。

ウランを濃縮するためのエネルギー。発電所を建設するために、莫大なエネルギーがいる。そのエネルギーはどのくらいかというと、¹⁰⁰生産するためには、²⁶投入しなけれ

発電は石油の用途の1/4



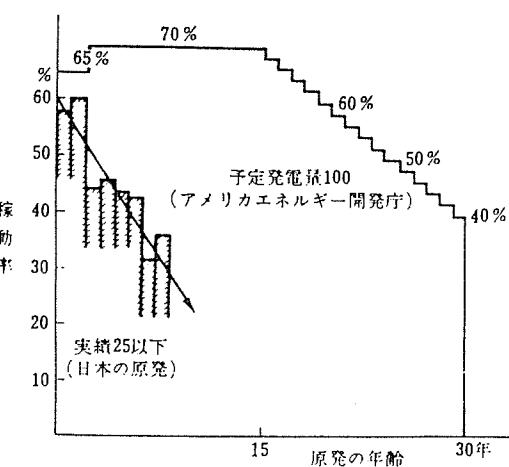
いま、石油の使われ方を調べてみますと、大体、物を運ぶのにおよそ四分の一を使います。工業用原料に八分の一、工場用燃料に八分の一、家庭用燃料に八分の一。発電には大ざっぱに言って四分の一、正確にいうと二三%を使われている。

そこで、発電以外の別の用途を、ウラン・原子力で置き換えるかを考えてみると、例えば薬品。ウランをどんなふうに処理しても、アスピリンだと薬品になるわけがない。石油・石炭なら原料になり得る。

あるいは、家庭用の燃料を、一戸一戸の家庭で原子力発電でやるとか、物を運ぶのに、一台一台原発を積み込んだ運搬車なんて、できっこない。そんな、ナマやさしいものではないし、庶民の手に負えるものではない。

工業用原料になんとか使えないかと、日本、ドイツ、ソ連とかで研究しましたが、これもいろんな技術的な欠陥があります。

この表は（スライド）、原子力発電の稼働率の変化を示したもので、大部分こんなふうに年が経つと共に落ちてきますから、十五年ぐらいでアウトになるだろうといわれています。



原発の稼働率は年と共に下がるので、実際にはアメリカのエネルギー計算の1/4しか電気を生まない

い
る。
。

ただ一台だけ、イギリスから輸入した優秀なのがあります……。軽水炉ではなく、コールダーホール型といい、稼働率六〇・七〇数%と優秀ですが、他の軽水炉は皆落ちている。例えば、福島一号、美浜一号機等は、年間稼働率六・七%という有様です。

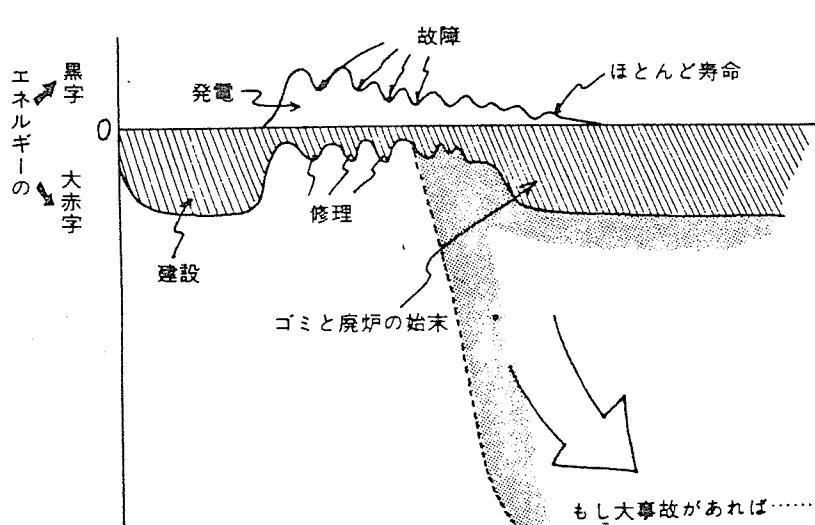
稼働率は八〇%でなくて、平均四〇%だということになると、できるエネルギーも半分の半分、トータルで四分の一、25ぐらいだといわれました。²⁶ 投入して、²⁵ぐらい、せいぜいトントンである。

計算外の核廃棄物の管理費

つまり、エネルギー問題を解決するのには、何の役にも立たない。しかも、実際には、このエネルギー収支計算の中に、いろんな核廃棄物の管理費だとか、廃炉にした後のエネルギーの計算が、全然入っていない。

人類が、何万年にわたって管理しなければならないエネルギーの計算が算入されていないのは、そのやり方がまだ見つかっていない。どうしていいかわからないので、どのぐらいのエネルギーが必要か計算できない。というわけで、全然入っていない。それを入れなくとも、なおかつト

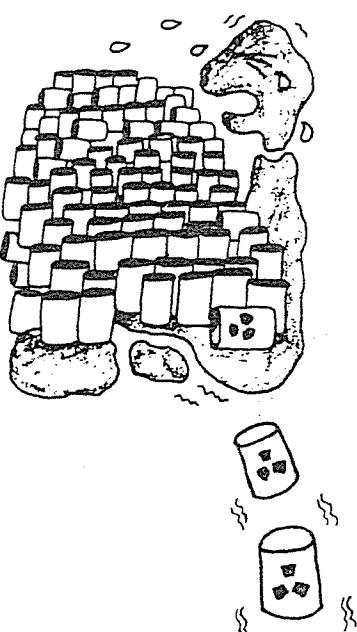
ントンぐらい。
このことについては、反対派である私たちが言っている
だけでなく、推進派の諸君がすでに指摘しています。原発
で儲けようとしている人たち原子力産業会議が、「今日
の軽水炉は、実証性もないし、経済性もない」と。実証性
がないというのは、安全確保に確信がないということ。経
済性がないとは、エネルギー収支が合わないということで
す。



(とくに核のゴミのあと始末が大変だ!!)

さらに原発は、私に言わせれば、ある意味で“借金地獄”だと思っています。

どういう意味かと言いますと、原発が動きますと、核廃棄物ができます。これは、数百年から数万年も管理する必要がある。



たまる一方の核のゴミ
どこにも捨て場がない

管理するためには、エネルギーがいる。石油が本当になければ、原子力発電をまたやつて、この廃棄物を管理するしかない。

廃物の管理をするために、また廃物が出てくることになる。つまり、廃棄物は非常に早いスピードで、どんどん、どんどん増えざるを得ない。

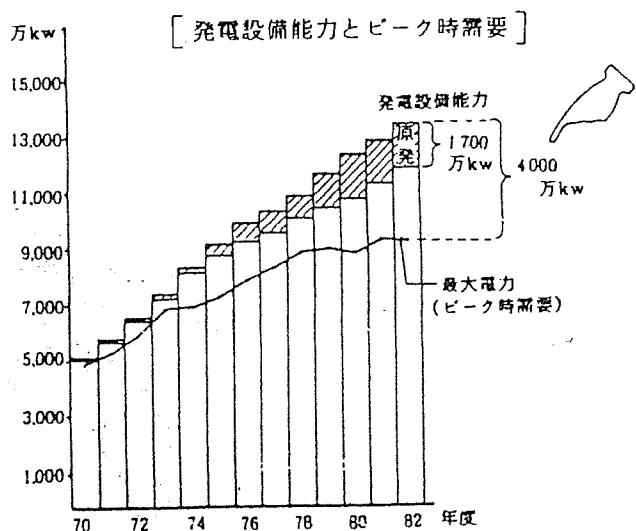
とにかく、こんなことを続けていては、しようがないと、いうわけです。

バカげた海のウラン採取

「海水の中にもウランがある。ウランがなくなれば、そのウランを取り出せばいい」という話をする人がいる。たしかに、話としては面白そうです。「海水からウランを取り出して、原子力発電をやろうじゃないか」？。

ところが、そんなつまらないことは、やるべきではありません。なぜかといえば、海水からエネルギーを取り出すのに、莫大なエネルギーが必要です。つまり、いま、かりに取り出したとしても、そのウランできるエネルギーよりも、海水からウランを取り出すエネルギーの方が多ければ、誰もやってはいけない。やるべきではないんです。

実はそのことは、専門家が計算すればすぐ分る。言葉の上では言いますけれども、実際にはそんなこと誰もやる人



が、供給能力ということになる。供給能力は、一九七〇年には四、九八二万キロワットであったものが、一九八〇年には一億一、七〇六万キロワット、とものすごい増え方をしています。

他方、電力のピークといいますか、一番電気が必要な時、八月の最大値を三つ取って平均したものを見、「八月最大三

はいない。

第一章 電力は余りに余っている

原発40基分も余っている

いま、電力の供給設備が、どうなっているかということを、お話ししたいと思います。

いま、日本は、九電力体制になっていて、北海道電力から九州電力まで、九つの電力会社がある。正確には、もう一つ、沖縄電力というのがあります。九電力体制で考えた場合、設備の利用率。どの程度に発電設備を利用しているか。一九七〇年が六九%。それが一九八〇年では四六・四%に落ち込んでいる。つまり、七〇%近く利用していたのが、今日では五割を切っている。この設備利用率は、まだまだ落ちそうです。

そこで、供給能力。どの程度供給する能力があるか。自社分とプラス卸業者、つまり、共同火力とか、公営水力とか、日本原電、電源開発株式会社とか、電力の卸業者、それから自家発（自分のところから発電している大きな会社）から各社は電気を受けている。したがって、自分のところで発電するものプラス受電するものを合せたもの

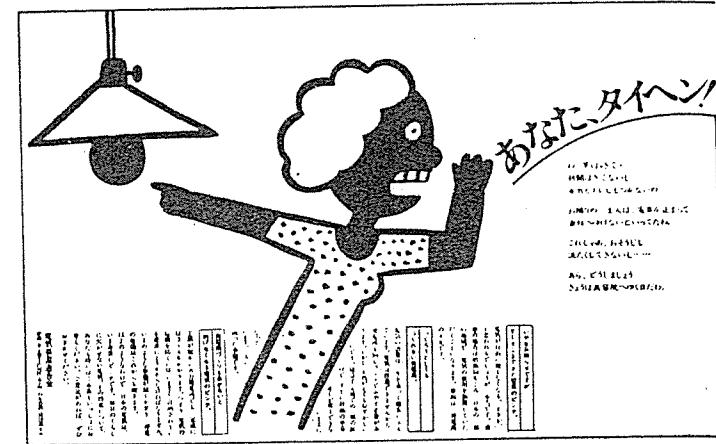
日平均電力」といいますが、一九七〇年が四、八四五万キロワット、一九八〇年が七、七三六万キロワットということがなっています。したがって、供給能力からピーク電力を引くと、一番沢山使う時で、どの程度余っているかが分かる。それが、遊休能力です。遊休能力は、一九七〇年が一三七万キロワット、一九八〇年が三、九七〇万キロワット（大型原発四十基分）も余っている。これは、今日発電設備なんて、全然新設しないですむぐらい、非常に余っているということがいえる。

ピーク時余裕率は、七〇年は二・七五%しか余っていないかったのに、八〇年は三三・九%。つまり、ムチャクチャ余っている。一番使う時ですらですよ。

デマ宣伝の「電力不足」

これはね、皆さん方、電力会社から説明を受けた時、「電力が足らん足らん」といわれているはずなんです。ところが、私は、実はこの道の専門家のつもりなんですがれども、実際調べてみると、そうではない。余りに余っている。なぜ、こういう説明の仕方をするかといいますと、受電分を削ってしまうんです。実際は、卸業者と毎年契約をしていて、六月は何キロワット、八月は何キロワットと受電の量が決まっているにもかかわらず、削ってしまう。削る

原発推進のため
電力危機（停電）をあおるデマ宣伝



電気事業連合会の広告

と、自社分だけになり、トントンぐらいになつて、「電力は余つていませんよ」なんてインチキをする。実際は、卸業者から受ける電気の量を足さなければいけないのに、その量をはずして、自社分だけを発表する。そうすると、余裕がないように見える。

しかし、電力会社や通産省のいろんなデータを拾いだし

電力需要量の全国計の平均増加率

年 (5年毎) 度	30年度	35年	40年	45年	50年	55年度
平均増加率 (5年間)	13.53%	11.26%	13.51%	6.05%	3.96%	

ますと、なんと三分の一は余つている。ですから、今日では夏場のもつとも電力の必要な時ですら、原発だと、巨大火電をとめている。とめられるんです。例えば、島根一号炉は、今年の夏なんか動かないはずです。動かなくたって、十分やつていけるんです。それぐらい余っている。にもかかわらず、原発をつくろうという。

伸びない電力需要

今度は、電気を使用する側が、どれぐらいい電気を必要としているか。需要電力量の全国計を、昭和三十年から五年毎に取って、五年間の平均伸び率を表にあらわしています（表参照）。三十年から三十五年は、一三・五三%で増えています。三十五年から四十年は一一・二六%。四十年から四十五年は一三・五一%、ともにすごい増え方です。

ところが、四十五年から五十年は六・五%に増え方が減ってきた。五十年から

一台当たりの消費電力量が半減している。つまり、器械の熱効率が優秀になってきている。だから、節電しようと思わなくとも、自動的に節約できている。

電気料金は、単価が高くなっているから、上っていますが、家庭用の使用電力量キロワット時の方は落ちてきている。これが、原単位です。

素材型産業も落ち込む

さらに、大口電力でも、素材型産業——鉄・アルミなど材料をつくる産業の、消費電力量も落ちていて。これは、一番電力をくう部門なんです。

例えば、アルミなど巨大な電力をくうものは、最近は統廃合が進んで、日本ではつくらない。石油製品あたりもそろです。つまり、そういう原材料のトン当たりの、消費電力量が落ち込んでいる。

いま、家庭用や大口の使用電力量が減っているにもかかわらず、五年間平均で増えているのは、二つの要因がある。一つは、業務用電力。デパート、スーパー、事務所、官庁、つまり、ビルみたいなところで使うのが、いぜんとしてものすごく伸びている。必要以上に冷房をしたりしていのを、皆さんもお気付きと 思います。

もう一つは、大口の中でも、自動車産業などの組立て型原単位というのは一。例えば、家庭で使う電力は、いまだほんと伸びなくなつた。

それは、皆さんが節電に努力をしているからではない。そうではなくて、例えば、冷凍冷蔵庫をいったん買う。普及率が一〇〇%ぐらいになる。日本全国の冷凍冷蔵庫の量は、それ以上増えっこありませんね。一台あればいい。

それを電気が余っているからといって、二台も三台も買う人はいません。例えば、中国電力の会長の山根寛作さんは、私の所得の何十倍もあるでしょう。彼は、私の収入の何十倍もあるからといって、冷凍冷蔵庫を何十台も買うわけはない。家電製品の普及率が一〇〇%近くなれば、それ以上器械は増えません。だから、家庭で使う電力はそんなに増えない。

家庭用電力が頭打ち

五十五年はついに三・九六%と四%を割り込みました。この間、電力を使う量が、そんなに増えなくなつてきた。つまり、かつて高度成長の時代は、ワットと増えた。例えば、各家庭が冷凍冷蔵庫や、カラーテレビを買い込む時代は、ワットと増える。ところが、今日そういうのがなくなつてきました。家庭で使う電力や大口電力の原単位が減りつつある。

原単位というのは一。例えば、家庭で使う電力は、いまだほんと伸びなくなつた。

それは、皆さんが節電に努力をしているからではない。そうではなくて、例えば、冷凍冷蔵庫をいったん買う。普及率が一〇〇%ぐらいになる。日本全国の冷凍冷蔵庫の量は、それ以上増えっこありませんね。一台あればいい。

それを電気が余っているからといって、二台も三台も買う人はいません。例えば、中国電力の会長の山根寛作さんは、私の所得の何十倍もあるでしょう。彼は、私の収入の何十倍もあるからといって、冷凍冷蔵庫を何十台も買うわけはない。家電製品の普及率が一〇〇%近くなれば、それ以上器械は増えません。だから、家庭で使う電力はそんなに増えない。

その上、冷凍冷蔵庫でいえば、出始めた時と今日では、

産業や食品加工など加工型産業が、伸ばしている。

したがって、業務用電力と、組立て・加工型産業に使う電力を、押さえ込むことに成功すれば、これから先、電力は伸びっこありません。

電力を使わせる工作

ただし、いま各電力会社は、自分のところの設備が余って仕方がない。なんとかして使わせようと、努力しています。

例えば、住宅をつくる時には、必ず電気温水器をつけるように指導するとか、あるいは、ビルでは必要ないのに、大きな電力を引き込むよう指導するとか、いろんな工作をしています。つまり、電気が足りないのではなくて、わざわざ使わせるような工作を彼等はしています。

ですから、供給面をみても、需要面をみても、電力危機などという要素は、一つもありません。これはデータが如実に示している。ただし、そのデータは、国民には知られていらないという感じはもちろんあります。

「民生用」電力のゴマカシ

参考までに、家庭用と大口電力の比を見ますと、九電力

第三章 ではなぜ原発をつくるか

原発でもうかる仕掛け

原発があるというだけで、料金収入が増える仕掛けになっている。そこで、料金が増えた分で、また、原発の建設資金をつくるというふうになる。その建設資金で原発を建てる、また料金収入が増えるようになっている。

原発を一つのサイクルにして、ドル箱をつくりだすという関係になっています。もっとも、電力会社だけがもうけているんではない。原発をつくることによって、いろんな産業がもうかることになっています。

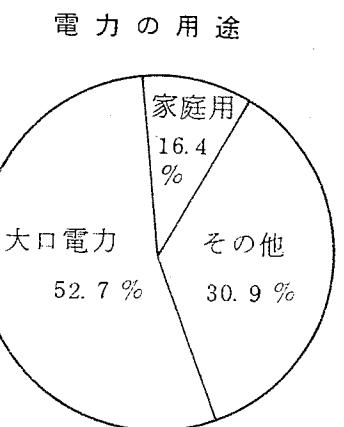
核兵器認める日本政府

実は国連の、この間ずっと出てきている決議案に、「核兵器の不使用、および核戦争の防止決議案」というのがあります。その全文は非常に簡単で、「核兵器の使用は、国連憲章違反であり、人道に反する犯罪である。したがって、核兵器の使用、または使用による威嚇は、核軍縮が達成されるまでの間、禁止されるべきである」。

原発から核兵器生産へ

核兵器というと、内容的に三つに分けて考える必要があります。

一つは核弾頭。日本は持っていないけれども、プルトニ



については、家庭用一九・七%、大口が四三・八%。

それから、自家発などを含めて、全国の電力について、家庭用が一六・四%、大口が五二・七%。

最近、電力会社の宣伝においては、家庭用が一六・

に、こんなのがあります。

「家庭でものすごく電力を使うから、原発がいるんだ」。これ真っ赤なウソです。

電力会社がいのうのは、「民生用電力が増えている」。

昔は「家庭用」といっていたが、最近はゴマカシがきかなくなつて、「民生用」といっている。民生用といえば、何か家庭で使つているように思うでしょう。ところがそうではないんで、業務用電力も含めている。

家庭用電力に限つていえば、全国計で一六・四%しかない。ないにもかかわらず、原発等々が必要なのは、まるでわれわれ家庭で使つている人間のゆえだ、といわんばかりの宣伝をしている。そうすると、何となく、「われわれの家庭の電気が停まると困るから、原発に賛成せないかんのかナア」という気になる。その辺をうまく利用している。



ごくもつともな決議案なん

です。これについて、日本政

府は、一九七九年までは賛成していました。核兵器は使うべきではない、という立場を

とつていました。

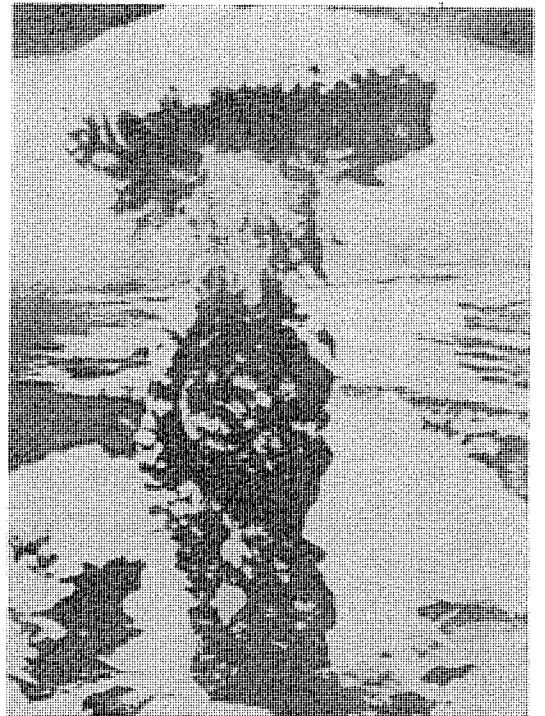
一九八〇年に入つて、この

決議案に棄権しました。なん

ともいえないという見解です。

これは本当のことなんです。政府はこの問題で、何回か

国会で答弁しています。もっとも、新聞には大きな記事にはなつていません。非常に小さな記事です。とにかく、今日ではわれわれの国は、核兵器を使うことは、やむを得ないという観点に立つていてるんです。



プルトニウムでつくられた長崎の原爆

日本には、そういう意味で原理的には、全部そろってい
る。核弾頭は、原発をやっているから大丈夫。核の運搬手
段は、ミサイル、核兵器搭載艦、潜水艦、戦略爆撃機なん
である。三〇関係は、日本は電子工学が発達しています
から、十分です。

というわけで、私たちの国は、核クラブ入りを達成しよ
うと思えば、いつでもできる。さらに、日本の構想は、と
にかく今は核兵器がないとダメなんだという考え方なん
です。しかし、日本が核兵器を持つとは、言えないから、『ア
メリカの核のカサ』といつていいわけです。

ウムを持ってますから、いつでも作れます。原子力発電
がありますから。

もう一つは運搬手段。ミサイル、潜水艦等。日本の海上
自衛隊は、核弾頭を運ぶことができるものを、現実に持つ
ていて。

三つめは、三〇といわれる指揮・統制・通信（コンダク
ター・コントロール・コミュニケーション）。

弾頭だけあっても、運べないと核兵器にならない。ある
いは、それをコントロールし、情報を与えるシステムが必
要です。この三つが一緒になって、はじめて核兵器の体系
がつくられる。

資源戦争と死の商人

O P E C（石油輸出国機構）などの、資源ナショナリズ
ム「オレとこ石油あるけど、渡してやらんぞ」というのに
対抗するエネルギーとして、「石油を買わなくても、原子

そういう国際環境に、日本はいるわけです。現実の課題
として、日本は核クラブ入りを果そうとしている。

で、つぎは今日では、電力が占めている。昔は、鉄鋼だと
か、自動車だった。

高度な管理社会めざす

原発をやることによって、高度な管理社会をつくりたい。
原発の事故が起こったときに、皆が仲よく、この事故をどう
しましょうと、相談してた日には、事故はどんどん進む。
そういう時には、専門家がテキパキ指示をする。そういう
う高度な管理社会、技術社会に原発が適していることは、
明白です。今日の技術体系というのは、だんだんそういう
つつあります。

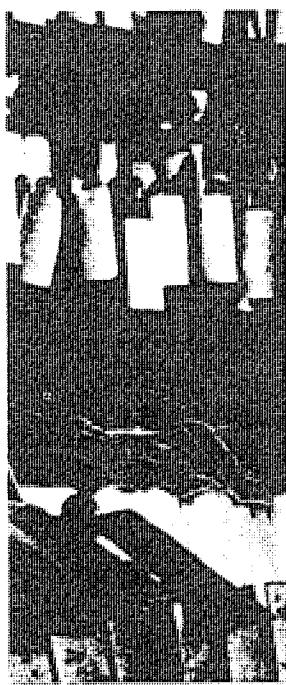
このほか、いろいろ考えられますが、大ざっぱにいって
そんなところが、安全性が確保されていない、経済的にも
エネルギー収支としても合わないけれども、なおかつ（原
発を）やりたい、という理由です。

景気刺激の目玉商品

いま、日本の経済を保つためには、かつての高度成長時
代のように、経済を刺激するような新製品がない。

考えてごらんなさい。ないです。かつて、冷蔵庫、洗濯
機が出たトタン、どこの家でも欲しいと思った。だけど、
いま、ビデオなりマイコンなり出ても、どうしても欲しい
なんて、思ったことはない。つまり、景気を刺激するよう
な、大きな材料がない。

その代りに、経済のけん引車として、原発を持ってくる。
民間設備投資の中でも、住宅が一番です。これが断然トップ



第四章 原発は電気料金を引き上げる

電気料金のしくみ

簡単に言いますと、電力会社は、供給を促進するような送電線とか、発電設備とか、巨大な設備を、持つていいならどうに設計されている。

それは、正式にいいますと、"総括原価方式"といいまして、電気料金の算定はつぎのようになっています。

「原価」といわれているもの。人件費、燃料費、修繕費、減価償却費、公租公課、購入電力料、その他の経費を全部足し算します。

それに、電力会社のもうけをいくらにするかという「事業報酬」を足します。それを、

使用量で割算した結果が、「単価」です。
例えば、修繕費なんか、原発になりますと、一年で五十億円ぐらい積み上げができる。もっとも、出力や建てるから何年経ったかで、多少ちがってきますが。そういうわけで、コストを計算します。

原発つくればもうかる理由

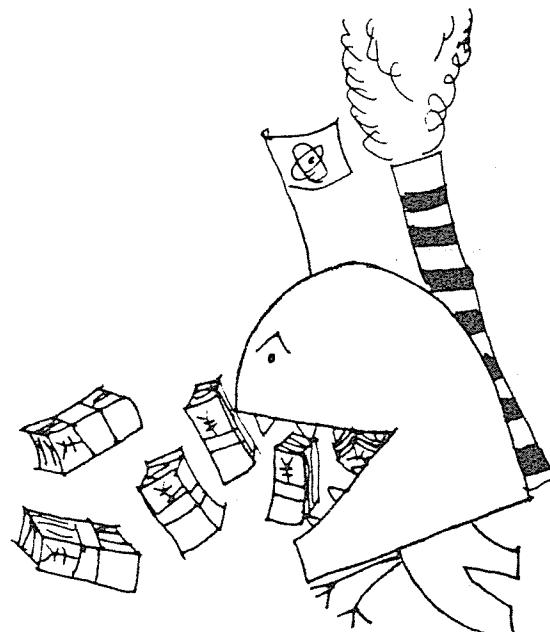
他方、「事業報酬」。利潤ですね。利益については、ちょっとと言葉がむずかしいですが、「レート・ベース」といわれる資産の額かける8%で、年々の報酬がきます。この「レート・ベース」といわれる部分を、大きく算定すれば、報酬がふえるということです。「レート・ベース」とは、電気事業固定資産、要するに、電気を供給するルート、発電して送電して変電して配電するために、必要な発電所・送電所・変電所・配電設備等々の固定資産に、8%かけたものが、年々の利潤という計算をしている。だから、この「レート・ベース」が大きければ大きいほど、電力会社は有利だということになっている。

そのほか、建設途上の資産。普通、民間会社は、施設を建設している段階では、何の報酬も入ってこない。当たり前です。稼働していないですから。ところが、電気事業だけは、動かなくてもかまわない。帳簿上金額が出てきます

$$\begin{array}{l} \boxed{\text{総括原価}} = \boxed{\text{適正原価}} + \boxed{\text{事業報酬}} \\ \downarrow \\ \left\{ \begin{array}{l} \text{A 減価償却費} \\ \text{B 営業費} \\ \text{C 諸税等} \end{array} \right. \end{array}$$

$$\star \text{電力単価} = \frac{\text{適正原価(円) + 事業報酬(円)}}{\text{販売予定電力量(KW時)}}$$

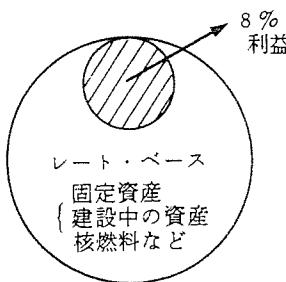
原発は
力ね食い虫じゃ



$$\star \text{事業報酬} = \boxed{\text{レート・ベース}} \times 8\%$$

電力会社のもうけ:

- A 電気事業固定資産… (原発の建設費など)
- B 建設費の費用 $\times \frac{1}{2}$ … (建設中でもよい)
- C 核燃料勘定 (火力とちがい燃料代は固定資産に入れてよい)
- D 運転資本等



《投資が大きいほど
もうけも大きい》

と一建設資産の場合は、二分の一の評価になるので4%になります。その4%分は、確実に電気料金に積み上げることができるようになっている。ですから、電力会社は安泰なんです。

普通、計画をたてて、資金を投下して、何千億円の資金が十何年も動かないってことになると、どの会社だって破産しますよ。ところが、電力会社だけはその心配がない。動かなくても、その間ちゃんと4%の利潤は、認めているんですから。

核燃料をため込む理由

それから、核燃料勘定というのがありますと、帳簿上買付け契約するだけで、これまた8%の利潤を保障している。極端な例をいいますと、北陸電力や東北電力、北海道電力は、まだ一基も原発は稼働していませんが、核燃料を何百億円か持っている。会社の中にはありません。買付け契約をして、手付け金だけ打っている。

そうすると、何百億かの核燃料を買った格好になって、帳簿につきます。その金額の8%は年々の収入になる。北陸電力で四百億円ですから、その金額の8%、三十二億円がだまって転がりこんでくる。そういう事業になっているんです。ぬれ手に粟（アワ）です。

それから、運転資本というのがあって、営業費や燃料費の一・五ヶ月分を見込みます。ですから、どれだけ「レート・ベース」を大きくするかによって、電力会社の利潤がきまります。

ばく大な原発の建設費

発電所の建設費は、どういう格好ではじきだすかというと、建設費を出力で割ります。つまり、キロワット当たり、何万円で建設できるかというのが、一つの指標になるわけです。

九州電力の例でいえば、玄海一号と二号機がありますが、かつては一号機のときには、キロワット当たり八万三千二百円だったのが、二号機では二十三万八千三百円とハネ上がっている。年間上昇率一一・四三%。ナリーチェンジしていまますので平均にするともっと多い。

それから、三号機はいま玄海ヒアリングといつて、問題になっていますけれども、これは現在の段階で、キロワット当たり五十万八千五百円。実際建てられる場合には、当初計画の絶対倍になります。キロワット当たり百万円は越えちゃうでしょう。

現在、豊北原発一号機は、立ち消えになってしまってはいなくて、毎年建設費の洗い直しをしております。これが五千四百十

億円もついています。五千億円というのは、ものすごい金額なのです。普通、人口一万ぐらいの町の財政は、年間三十億円。それが、原発一基で五千四百億円。これは去年の見積りですから、たぶんことしは六千億円になるでしょう。玄海原発三・四号機は、もう六千億円の見積りをしています。

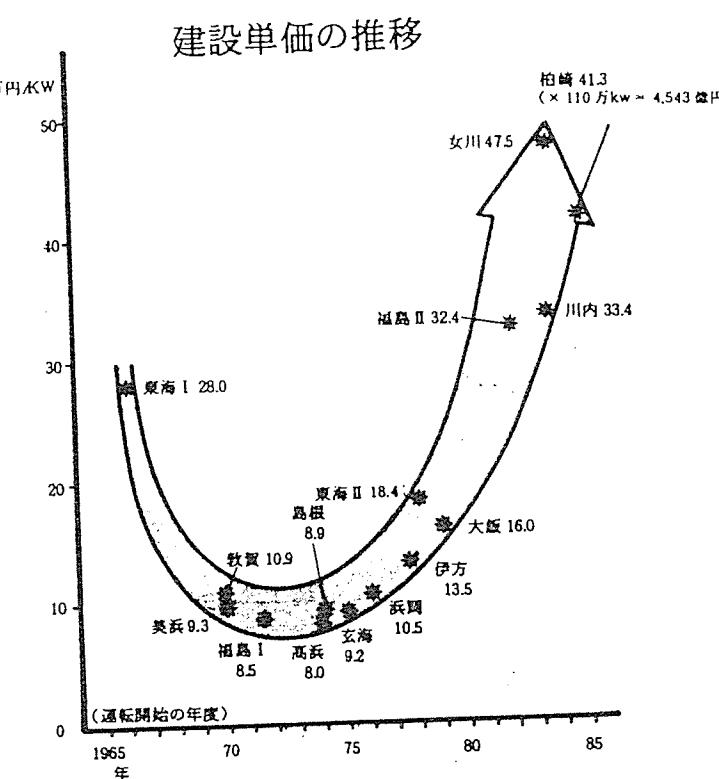
常に激しい。

補償金も電気料金から

しかも、その建設費の中には、例えば、漁業権を放棄した人に、補償金を払いますね。最近では、これも何十億円という金額ですが、それも、もちろん、皆さん方の電気料金から取るわけです。

まず補償金を払う。あるいは、地方自治体に協力金を払うでしょう。それは「総工事費」という名目になります。それを固定資産に計上して、減価償却するという格好で、いくら巨額な補償金を払っても、電気料金から、必ず取り戻せるようになっているわけです。だから、平氣で何十億円（補償金を）出すことになる。

補償金をめぐる悲劇



ついでに、補償金の配られ方をお話しますと、これは各地で見られる現象なんですが、最近は、漁民一人当たり二千万円とか三千万円という金額になります。一・二三千万円も漁民に入りますと、沢山入っていいようですが、そのためには、人格が破たんしていった例が一ぱいある。つまり、漁業権を放棄した地域に、何十億補償金が入っ

てくると、配分をめぐって、血で血を洗うような争いが起ころ。例えば、漁獲高で分けるのか、あるいは組合員になって何年経っているかとか、それぞれ自分に有利になるような基準を主張する。何百万円にかかるのですから、それはもう、必死です。

その上で、入ってきた補償金を、どう使うかの問題。一ぱん賢明なのは、家や土地を買うという方法。これは、モノが残ります。私が関わっている玄海町では、今まで水揚げで細々と生活していた人が、何千万円も手にして、仕事をせずにバクチをする。けれども、その人たちはまだマシです。バクチですっちゃうと、また働き出すから。

一番悪いのは、何千万円かを頭金にして、大きな船を買った人です。大きな船を買えば、もうかるだらうと思えば、大間違い。普通、船を大きくするというのは、大きくするだけの資金をため込むわけです。その間に自分の力がつくわけで、生産高が増えているはずです。

ところが、漁獲高が増えないまま、船だけが大きくなつた。したがって、大きな船に見合うだけの水揚げがない。燃料費だとか、維持費だとか、ローンだとか、方々に借金だけが増える。その結果、何千万円も抱え込んだ借金を返済するためには、どうするかということで、また、原発の増設をお願いしようということになり、電力会社から名目を作つて金を引き出そうとなる。そうなります

と、あきらかに生活破たんということになつてくる。人間、堕落してしまいます。

悪銭身を滅ぼす

もともと、身につかない金というものが、人を滅ぼすとすることが、よくありますね。

例えば、宝クジに当たった。人にとってはかくいわれるので、会社にもおれないとか。宝クジはまだいいんですが、何千万円も補償金が入つたら、どうにもならない。人間関係がドンドン切れていく。これが遺産相続なら、親が持つていたんだから、まだ根拠がある。

ところが、これは電力会社がガバッと出したんだから、親、兄弟、親せき、黙つていらない。「オレにもくれ」「俺とこ借金があるからなんとか立て替えてくれ」とか、当然そういう悪銭を、アテにすることになる。

ということは、一生懸命働いている人が、バカに見える。つまり、労働を軽んじることになる。そういう悲劇が、原発立地点では起きている。

揚水発電所は原発の受け皿

原発には、水を揚げて発電するという余計な、発電設備

がいる。

電気の一日の使われ方は、夜間の午前一時から五時頃までの間の使用量は一様に低く、昼間の午後一時から五時頃までの間が、一番高い。原発なら原発で発電するのを、夜少くして昼多くできれば問題はないが、使用量のカーブに合わせて原発を発電すると、燃料棒が破損してしまふものですから、一定の出力を保つわけです。緊急時にはやむを得ず出力を落しますが……。

そうすると、夜余つてきます。夜余つた電力で、水を汲み上げるわけです。そして、昼のピーク時の電力が必要なときに、これを降ろして水力発電をする。これを、揚水発電といいます。大体でいいますと、汲み上げるために必要な電力を100とするとき、下ろす時にできる電力は60ぐらいです。電力というのを、やらなければいけない。

中国電力の現在一番巨大な揚水発電所は、いま建設中の保野川揚水発電一二〇万キロワット。島根原発一号は、四六万キロワットですから、大体三倍です。こんな巨大な揚水を汲み上げてそれで発電し、また汲み上げて発電すれば、エネルギー問題は、たちまちにして解決する」。

これは、物理を学んだ人なら、アハハ……と笑うところです。『エネルギー保存則』というのがあって、こんなアホなことは、成り立たんのです。つまり、下りてきた水

と、あきらかに生活破たんということになつてくる。人間、堕落してしまいます。

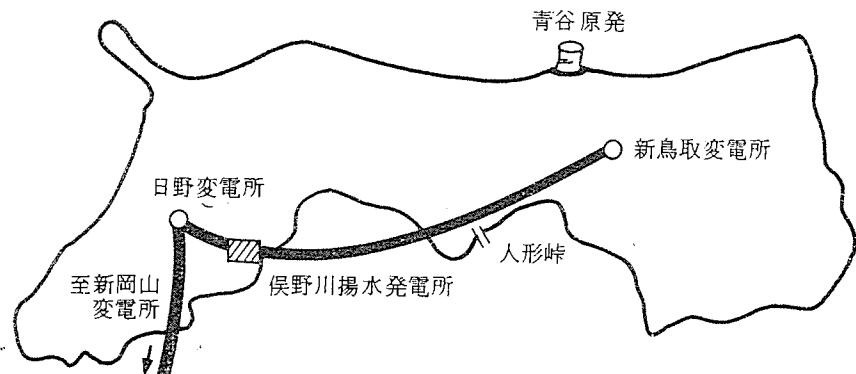
中国電力の現在一番巨大な揚水発電所は、いま建設中の保野川揚水発電一二〇万キロワット。島根原発一号は、四六万キロワットですから、大体三倍です。こんな巨大な揚水発電所をつくっています。

これは、昭和六十年に営業運転開始。したがって、試運転が五十九年になると考えています。総工事費千六百三十二億円。これは、まったく莫大な事業です。全国各地の原発のあるところでは、必ず揚水発電をやっているわけです。

揚水発電の規模は、現在ある原発の大体三分の一ぐらいの出力になる。

逆にいって、揚水発電が

あると、その三倍ぐらいの出力を持った原発がある(トータルで)あるはずだと考えていい。



そうすると、中国電力の場合、いま原発は四六万キロワットの島根一号だけ。一二〇万キロワットの揚水発電が必要だとかえていえば、その一二〇万キロワットの三倍ぐらいの出力の原発を、近々建設したいんだ、といふことになる。

これは、どこでもそななんです。すぐ近くとは限りませんが、送電線で連けいされるようなところ

ろに、大体その三倍ぐらいの原発がある。だから、大ざっぱにいいますと、島根一号四六万キロワットがありますね。それを除くと、一〇〇万キロワット・クラス最低三基ぐらいです。

皆さん方が、中国電力を問い合わせるしかない。そんな計画なら、やめろ、やめろと話をせざるを得ない。

とにかく、私どもは電力の需給関係を調べていて、いつも同じパターンがあります。まず、揚水発電所を先につくっちゃうんです。どこでもそなんです。それに見合う格好で、つまりその三倍ぐらいのクラスの原発が、その後を追いかけてます。

大体、侯野川というのは、岡山、島根、鳥取の三県に源を発して、上のダムは岡山県、発電所は鳥取県にある。そのあたりは注目しなければいけませんし、建設中の揚水発電でも、電気料金には事業報酬をつみ上げることができる。

原発でハネ上がる電気料金

豊北一号機が、運転開始するようになれば、どのぐらいの電気料金の値上げになるか。十五年で償却するとして、減価償却費は、五千四百十億円かける一四・二三%という計算になりまして、初年度は

第五章 “死に損”の原発災害

大事故起きても補償せず

原発が巨大な事故に出くわせば、損害賠償でとんでもないことになります。いまの原子力災害では、恐らく十兆円とかいうようなオーダーでの、補償をしなければいけないだろうといわれています。だから、いくらこんな格好で費用を回収しても、ひとたび巨大な事故を起せば、たちまちにして間に合わない。ところが、どんな大事故を起こしても、補償金に限度額をもうけている。

ひとたび事故を起せば、何もかも終りになるというので原発が巨大な事故に出くわせば、損害賠償でとんでもないことになります。いまの原子力災害では、恐らく十兆円とかいうようなオーダーでの、補償をしなければいけないだろうといわれています。だから、いくらこんな格好で費用を回収しても、ひとたび巨大な事故を起せば、たちまちにして間に合わない。ところが、どんな大事故を起こしても、補償金に限度額をもうけている。

	アメリカ原子力委 ニウォッシュ740報告 (1957年)	アメリカ原子力委 ニウォッシュ740報告 (改訂) (1965年)	アメリカ原子力規制委 ニラスムッセン報告 (最終) (1975年)	日本 の 原 子 力 産 業 会 議 (1960年)
急性死者	3,400人 (24キロ以内)	4万5,000人	3,300人 (その4倍)	720人
急性障害	4万3,000人 (72キロ以内)	10万人	4万5,000人 (その4倍)	5,000人
ガン死者			4万5,000人 (その3倍)	
甲状腺ガン			24万人 (その3倍)	
遺伝障害			2万5,500人 (その6倍)	
要観察者	380万人			130万人
永久立ちのき口人	46万人			3万人
永久立ちのき面積	2,000平方キロ (鳥取県の2/3)		750平方キロ (気高郡の5倍)	
農業制限面積	39万平方キロ (ほぼ日本の面積)	710万平方キロ (米国の面積の8割弱)	8,300平方キロ (鳥取県の2.4倍)	3万6,000平方キロ (中国地方の面積)
財産損害	2兆1,000億円	5兆1,000億円	4兆2,000億円 (その2倍)	100億～10兆円
当時の日本の国家予算	1兆2,000億円	3兆7,000億円	21兆円	1兆7,000億円

[備考1] ラスマッセン報告の()は不確かな上限(最大被害)を示す。

[備考2] 空白の部分は報告書中に評価がないことを示す。むろん、これらの被害がゼロであることを意味しない。

黒を白と書いてくるめる

建設費はもちろん高いし、修理費とか税金とか支払われますから、原発は大変高くつくんです。

従来、電気料金の値上げのたびに、「電気代を安くするためには、原発をやらねばいかん」と、宣伝してきた。あれは、真赤なウソです。

私は、電気料金、需給関係、原価計算とかをずっとやってきて、電力会社がいかにウソを言っているかということを、いろんなところで、書きまくっています。しかし、これについては、電力会社から公式な反論は、一度もきません。

私の書くのは、彼らのデータを使って書いていますから、反論の余地がない。

断ち切れ原発商法

というわけで、事業報酬等々を含めまして、私たちの払う電気料金は、高くならざるを得ない。つまり、サイクルは、原発をやれば、建設費だとか、核燃料費だとか、電気料金が上がります。そして、回収した費用で、また原発をつくる。そのおかげでまたもうかる。またつくるーとい

うサイクルになっている。

私は、これをドル箱サイクルといっていますが、そんな仕掛けになつているということを、私は数年以前からあはいていることなんです。私たちは、このサイクルを断ち切らねばならない。

とりわけ、青谷・気高の人たちにとっては、電気料金の問題だけではありませんね。経済性の面からも、科学的に安全性の面からも、ありとあらゆる意味で、原子力が問題にならない厄介なものであることを強調して、私の話を終ります。

一九八二年六月二〇日

氣高郡連合婦人会学習会講演より

(記録・村上小枝)



第一部 記録と資料

どう原発に反対したか

スリーマイル島の事故（アメリカ）を機に世界的な原子力発電所の安全性問題が表面化している。県内でも「原子力発電の実態を正確に報告、知つてもいおう」という「原子力発電の公害を考える集い」が十六日午後一時から鳥取市立博物館で開かれる。同じく主催する原子力発電の公害を考える集い（西田余英会長、会員五百人）によると、「県内でも計画

スリーマイル島の事故（アメリカ）を機に世界的な原子力発電所の安全性問題が表面化している。県内でも「原子力発電の実態を正確に報告、知つてもいおう」という「原子力発電の公害を考える集い」が十六日午後一時から鳥取市立博物館で開かれる。同じく主催する原子力発電の公害を考える集い（西田余英会長、会員五百人）によると、「県内でも計画

青谷も候補地だつた？

あす「原発を考える集い」

鳥取



1 ねらわれる長尾鼻

予定になつてゐる。

原子力発電の公害を考える余会

長、吉田謙蔵議（社会党）が十

二日明らかにしたところによる

と、県内に関係（建設する原子

力発電所は、現在同余の資料によ

ると「計画中一カ所、検討中一カ

所が明らかになつてゐるといつ

その一つは、去る四十五年十月

に計画が明らかになつた関西電力

の岩美郡岩美町東浜付近から兵庫

県美方郡浜坂町瀬組にかけて関西

電力が計画してゐるという

ので、兵庫県では開拓計画にも計画

が載つていていられる。現在

計画は休止状態といふ。

他の一ヵ所は、同余によると中

國電力が氣高郡青谷町長尾鼻に建

設を検討したことがある、という

もの。同余の話では、中電として検

討したことのあるようだ」という

ことで、具体的には計画があつた

のかどうかも一般には明らかにな

つてはならないとみられてゐる。

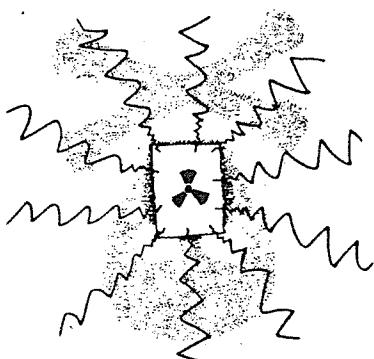
今度の集いは、こうした県内へ

の開拓計画がある中で、同余な

ども中心の原子力発電の現状と実

態を知つてもらおうねい。

『日本海新聞』1979年6月15日



気高側から遠望した長尾鼻

講師、久米三四郎氏は柔

許容度といふは

110

『島取県婦人新聞』1981年12月27日

青谷・氣高で原発学習

青谷町の「原子力発電について話しあう会」は、住民組織「青谷原発を考える会」の主催で、九時半から十二時まで、原子力発電所がもし長尾島にできたらと題する講演と質疑が時間いっぱい続いた。

気高町では婦人会と、町連合青年団が共催して、いま子孫に何を遺すか、をテーマに、国や電力会社が伝するように、「原発」ははたして安全でバラ色の未来を約束するものかどうかを私たちの暮らしや未来につづく子ども達のために、青谷気高原発のうわさを単なるデマとして見過してしまっていいか、を学習した。

科学の総力を以ってしても
解説されはしない。百万
K.W.の原発一基から一年で
ヒロシマの千発分の死の灰
が出来る。また、死の灰だ
けでなくプルトニウムとい
うものができる。耳かき一
ぱい——タで、百万人の人
を肺ガンで殺すことができる。
放射線障害については
原発から平常時、排気筒（
エントツ）からガス状の死
の灰が排出され、排水溝か
ら放射能物質が水でうすめ
て海に流されている。

りしひねは、經濟的に厄介なも
会社はどうするのかと、石油の代
線が浮かと、ブルーは、石油の代
発は、石油の代はない。
らぬ。並周囲の交付金はその結果
はその結果をしまう。
結局、ないで、う住民のことを結
ると結ぶ。最後に返しり返しのこと
上気高会を開く。

被害が予想される
にも安全面からも
のを、政府・電力
うして進めようと
つきつめて行く
トニウムー原爆の
び上がってくる。
替えたというが原
油の代わりにはな
原発立地の町ねよ
町村には、何十億
元が出、地方自治体
能力にとりつかれて
はれた。
そんなものに頼ら
やっていくんだとい
の気概が決め手にな
のつかぬ選択をする
ないよう」との村
郡連絡会長の言葉で
じた。

原子力発電を考える

久米三四郎氏

(講演要旨略)



八重水から長尾鶯を望む

広まる噂「青谷原発」警戒強く

“郷十危うし、”氣高郡連婦學習会

農繁期押し住民らで満員

て再び学習会をや
を深めたい」と田
はこびとなつた
々が、何も知ら
とが進められて
とのないようにな
代に、あの時の
氣高郡のお母さ
していたのだ。
ことのないよこ
学習のものでい
正しい行動がい
願っている」。

開き、研究して今日の住民の我にいた。住民の我ではない間にこと後悔することに、後々の世に、青谷町の、さん達は何をされると言われるが、正しく、正しい判断されることを

暮らしと命とのせた若いお母さんの姿みられたが、何れもひき入れられるような真剣なまなざしと、一語も聽きあらずまいとする緊張した表情が印象的であった。

午後の話し合いでは、

①青谷原発が単なるうわさの段階ではなく、中国電力の青写真にハッキリしており、地質調査もすでに終っていること。

②敷地は青谷町と氣高町

を守つゝ
に終る。⑤すでに数年前から青谷、
高地周辺で中國電力
のさまざまな住民工作が
行なわれ、最近特に動き
が目立ってきた。(島根
原発視察、電気教室など
での原発P.R.・等)
⑥中国電力の最近の新規採
用者が青谷町、岩美町に
偏っている。(岩美町も
候補地の一つ)等々が情
報交換の中で出し合われ
た。

・意見や情報交換を主に話し合いを行なった。

青谷町に原発がくる、という噂を私たちがはじめて耳にしたのは二年ほど前のことであった。最近になって再びその内容に一層の真実味を増してひろがりつつある。先頃の敦賀日本原発の相次ぐ放射能もれと事故かくしが大きな社会問題として取沙汰されている折から気高郡連合婦人会では、郷土危うし、の危機感をつよめ、五月三十一日、地元の青谷町中央公民館で会員ならびに住民一般に参加を呼びかけ学習会をひらいた。スライドを交えながら原子力発電の基本的な知識とその安全性について学んだあと、講師・小出裕章氏（京都大学原子炉実験所）と、土井淑平氏（共同通信社）を助言者にして、会場との質疑

ふる里と命と

暮らしを守ろう

「鳥取県婦人新聞」1981年6月14日

またがり、距離的にはむろ気高町に近い。

小出氏の講演は淡々として語り口ながら、原子力電という一般には難解な内容を非常にわかり易く理解させることと、論者が明

またがり、距離的にはむろ気高町に近い。

させるつけ替え工事の計画が、最近急浮上している。

中華書局影印
新編國語辭典

原発学習会を終えて

地区会長 岩田 玲子

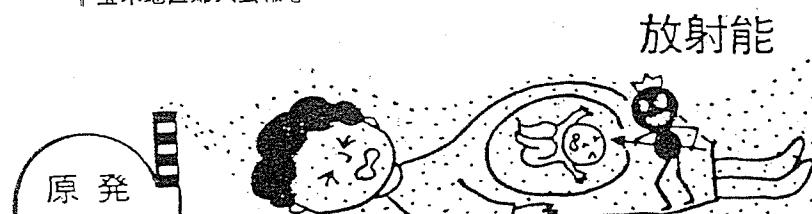
私達の住む町にあの恐ろ

3 原発学習会から

特に危ない 妊娠乳幼児

(富吉 吉村芳美) 夕方遅く、田の水あてから帰ると公民館が明るか。や幼児は特に危険。青谷・た。なんだろう? 中で人声も聞えた。家の帰ると二男が「お母さん婦人会の人は公民館に寄る様に放送が有ったでー」と言います。何の話だろ? 私は夕食も食べず、とんで行きました。まず、婦人会長さんと、小泉さの二人が来ておられました。私は座るなり「何の話をしておられるのですか」と支部長さんに小声で聞きますと「これを見て」とおっしゃいます。私は驚いて「何の根を止めなければなりません。日本の原発なしでこの危険な原発計画の、労働者の被爆、放射能は人間の細胞を破壊する、妊婦や幼児は特に危険。青谷・気高い娘は嫁にもらうな。美しい海水浴場も汚される以上のような恐い話を、こまかく話して聞かせて下さいました。

「宝木地区婦人会報」1981年9月



原 稿

偽
まんたら
代替
エネルギー論

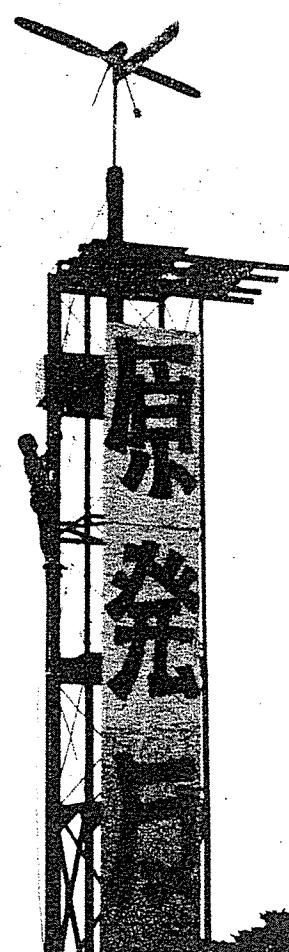
高会場で
平井孝治
(九州大
学部)は
中の疲れ
えず、
力発電の
と実像、
一マでス
まじえな
れている
替エネル
がいかに
かを経済
とつ説き
ます。

ラードやデータを
がら、一般に言わ
、原発は石油の代
ギー、といふ宣伝
虚構にみちたもの
性の面から一つひ
あかしました。

(講演要旨略)

原発こそ完全な石油依存型

平井謹師　虚無宣伝ひめいすく崩す



氣高郡連婦學習会

原発でなく、自然のエネルギーをもっと見直そう(川内の風車)

六月二十日、気高郡連合婦人会は午前に青谷町の中央公民館、午後は氣高町役場にて開催され、原発問題を話し合う会、をひらきました。中國電力が第二の原発立地として決定している山口県豊北町の町長選挙でも、四月二十五日、原発反対の町長が再選され、豊北原発は当分手がつけられなくなつたことから、代つて長尾嶽が狙われる公算はますます強まる状態の中で、気をゆるめず更に学習を積み、本気でこの問題を考えようという目的でひらいた勉強会で、青谷・気高両町の連合婦人会、酒津漁協婦人部などの共催や後援で住民全戸数のちらしを作成し、広く参加を呼びかけました。

平井講師

われわれの安全誰が保証
怯まず進む気構えを

(室木 小泉澄子) のには驚きました。

話し合いで各支部へ出かけてみて、皆さんの声に大変勇気づけられました。とり分け上光と夏谷の両支部の反響は大きく、「すぐにでも反対運動を」とか「いのちがけで反対しよう」とか積極的な意見が多く、連日の疲れがふっとぶ思いがしました。

しかしある支部では、たまたま話し合いに加わって下さった数少ない男性から、「こういう問題に関わると思想的におかしいと言われる」「暮しの中で電気の恩恵は受けておきながら、原発を自分の所につくるのは厭だ」というのは地域エゴ」などとの意見が出た

ました。

まだ、地域エゴというのなら、私達田舎の、僅かな電力消費地に原発を押しつけ、作った電力だけを持ったてにげる大消費地区（都市）はもととエゴです。私達が地域エゴだと遠慮していても万一一の場合、誰が私たちの安全を保証していくかも知れません。

（常松 山崎ス子） 原子力発電所の事故、故障は毎日の様に、新聞、テレビ等で報道されているが、その原発が私達地元にも、建設が予定されているといふ。 勉強会で色々と、原発のおそろしさをしめつけ、おなおさら、これは決して、思うた。知らないことは、私たちの身近にせまっていく危機感を、ひしひしと感じた。

あまりにも知らなさすぎる

（宝木　一　会員） 奪われるだけでなく、魚貝類農作物等そして人体にまで汚染されるとなるとどうやって生活していくのか？本当にこんな事が現実におこりうるんだろうか？

みんなだめ。海水浴が青谷に予定されて困ったものだな、だけど本当にどうだうかと半信半疑でいたものです。

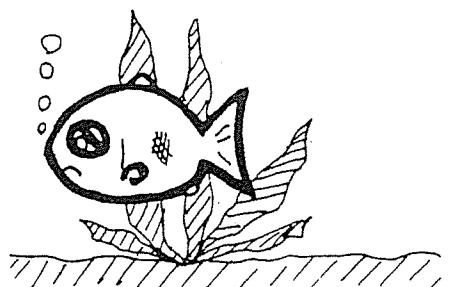
学習会において、詳しく話を聞いたり、スライドを見せてもらうにつれ、一瞬映画でも見ているような錯覚を覚えました。

毎年、子供達が楽しみにしている海水浴、お父さん

ケタ達いの怖さをもつていこうした危険と向き合います。その中の一つ、ブルト墓すのは、私たちちはまつニウムといいうのは、別名地獄の王といわれる位、猛毒なのです。こんなものが空や海や土を毎日々々汚るばかりか、濃い死の灰がドラム管に何本も毎日溜っていくのです。煮ても焼いても、五十年から百万年もの永い間毒性のなくなない死の灰がたまる一方にならぬのです。

トニウムといいうのは、別名地獄の王といわれる位、猛毒なのです。こんなものが空や海や土を毎日々々汚るばかりか、濃い死の灰がドラム管に何本も毎日溜っていくのです。煮ても焼いても、五十年から百万年もの永い間毒性のなくなない死の灰がたまる一方にならぬのです。

安心して暮せる青い空、安心して食物が食えるきれいな海と土、安心して子供が育てられる、汚染の少ないこの郷里を守める力にならぬのです。



町民こそつて 反対運動を!!

この夏、私の家を改築しました。電気工事の配線は、こちらが注文するのですが、何Wをつける事まで言わなければ、電気屋さんも決して、この気高に原発を作らなかったのです。電気屋さんは、発が出来ていた、というような事があってはなりません。町をあげて声を大にしないで、この気高に原発を作らせてないようにしましょう。

の 一 語
て 反 対 を

『怖い』の一語

積極的に反対をす。
今日の高度成長した世の中人間の頭脳は蒸嗜らしいもので、合理化、機械化、便利化されている反面、また人間の体に、危険な事物が多くある事を忘れてはならないと思います。原発とはまさにそのとおりだと思います。人間にとて、体の健康が最大の望みであり

(夏谷 周川そめ子) 私は婦人新聞を読んでいた。二六日の、新潟の巻町の住ます。その新聞で私達の町民が反対デモをするニエーに原子力発電所ができるらしいと知られました。私たちの所でも、電力会社が原発をつくると発表して、敦賀発電所附近を通ってからでは「遅いのです」と、婦人新聞も会長さんもこのガイドさんの説明をきいて、言つていました。こんなデモをやるまでにくい止めなくては、とテレビをニラミ。その後に婦人新聞をよみつけて視ました。私の部落N H Kの特別番組を見て、の支部長さんも職場でこの原発の怖さがますますは、話をしてみると、必ず「原

喜んでいては
大変！

(奥見沢一介員) 下さった皆様が日頃のお疲
私達の部落では、七月のれにもかかわらず多数お集
最後の土曜日の夜、小泉さまり下さって、ほんとうに
ん岩田さんのお二人をお迎えして学習会を開きました
えして学習会を開きました 又、岩出さんの発想もす
お一人をはじめ、参加して ばらしいと思います。こん

な大切な問題を東部公民館で通り一ぺん聞かれたとしましても、なかなか部落のすみすみまで浸透なかつたと思いました。御苦労様でした。

この頃よく聞く言葉に、「これから政治は男性ばかりに任せられない。」私達婦人も政治の動きに目をひらき、す早く情報をキ

原発はお金を運ぶ企業だとばかり喜こんでいると、さあ大変。學習したればこそ事の重大さに恐怖をいたしております。

青谷原発もその中の一つです。

今日の高度成長した世の中人間の頭脳は素晴らしいもので、合理化、機械化、便利化されている反面、まことに人間の体に、危険な事物も多くある事を忘れてはならないと思います。原発とはまさにそのとおりだと思います。人間にとって、体の健康が最大の望みであります。人間にとって、体の最大の幸福だと思います。

(夏谷 一 会 員)

先日、原発のスライドをさせて頂き、人体への影響おそろしい事を、さまざまと知りびっくりしました

発とは、一言で表現するならば、「こわい」。ただ時代の流れを放っておいてよいものでしょうか。我々の生活を不安から守るために、原発を作らないようにして、働く人々の実態を見れば

4 原発反対の署名運動から



河合中電鳥取支店長に青谷原発反対を申し入れる村上会長ら

九千三百人の反対署名提出

中電・県に申入れ

氣高郡連合婦人会

中国電力の青谷・気高(長尾鼻)原子力発電所建設計画は、三年前から取りざたされてきたが、最近、それがたんなる噂でないと裏付ける数々の情報により、にわかに現実性がつよまってきた。気高郡連合婦人会は、二月下旬から青谷・気高原発設置計画に反対する署名運動に取り組んだが、四月二十日、会員村上小枝ら代表八人が中国電力鳥取支店を訪れ、九千二百九十八人の署名簿を提出して、「原発計画を断念」するよう強く申し入れた。

ひき続き一行は鳥取県庁へ行き、上京中の平林知事に代って植谷商工労働部長に会い、署名簿の複写を受け、「中電の原発計画を受けいれないよう」陳情した。

『鳥取県婦人新聞』1982年5月2日

青谷・気高(長尾鼻)原子力発電所設置計画に反対する署名をお願いします!!

私たちの郷土が原発候補地に狙われています!

中国電力は私たち住民が知らない間に、青谷町長尾鼻(青谷・気高町境)に原発設置計画を着々進めています。

原発は郷土の自然を永遠に奪い去り、恐ろしい人体破壊をもたらします。

最近の日刊紙(一月十四日付山陰中央新報・中国新聞)は、いよいよ五十七年度が重要な段階になると報じています。

原発計画は公表されてからでは遅いのです。

“いのちとくらしとふるさとを守る”を、貫して活動目標に掲げてきた私たち気高郡連合婦人会が、今ここで何もないのは、子孫に対し大罪を犯すことになるのではないか。皆さん、いまこそ一緒に、長尾鼻原発設置反対運動に立ち上りましょう!!

一九八二年二月

取り扱い団体

氣高郡連合婦人会

連絡先=氣高郡氣高町宝木(丁目)二一〇三八〇

青谷原発のウワサに対応して54・6・14日、県立博物館で「私たちは原子力發

力と共存できるのか」を、テーマに映画と講演会が開かれ、副会長ら役員を誘い四人で出席しました。

講師京都大学原子炉実験所、小出裕章氏はまず「原発は人類と共存し得ない」と結論を述べてから、原子力発電の本質的な危険性を説明し「いくら優秀な技術者でも、人為ミスは本質的に防止できないし、事故が起きた場合の被害が、あまりにも大き過ぎる。出力百万瓩の原発一基が一日で電力会社の人から何べんも聞かされていた、原発に事を見たのは、三年前の六月のことでした。

丁度、その三月にスリーマイル島で、世界を震撼させた原発事故が起った直後でした。私たちは、それまで電力会社の人から何べんも聞かされていた、原発に

は、二重三重に安全装置がある、大事故は絶対起きない。起るとすれば、宇宙から落する隕石にあたって死者が出る程度、一万七千年に一回の確率に過ぎない(ラスマッセン報告)、が、全く神話でしかなかったことを、この事件で学んだのでした。

ラン鉱石の鉱滓は、野づみされ周辺の住民に白血病やガンが多発している。また原発内部の下請け、孫請けひ孫請けの労働体制の差別構造。さらには、私たちが二十年程の繁栄のために、何十万年間も廃棄物の管理を押しつけられる子孫は、いま何んの発言力も持たぬ最も弱い者ではないか

と弱者へしわ寄せする。

原発は許せないと訴えた氏の、技術者としてだけでなく、深い倫理観に根ざした講演は、聴く者の胸をうつものでした。

・青谷の長尾鼻が原子力発電所の候補地に、日本海新聞に、ショッキングな記事を見たのは、三年前の六月のことでした。

丁度、その三月にスリーマイル島で、世界を震撼させた原発事故が起った直後でした。私たちは、それまで電力会社の人から何べんも聞かされていた、原発に

は、二重三重に安全装置がある、大事故は絶対起きない。起るとすれば、宇宙から落する隕石にあたって死者が出る程度、一万七千年に一回の確率に過ぎない(ラスマッセン報告)、

が、全く神話でしかなかったことを、この事件で学んだのでした。

燃料ウランはオーストラリアやナミビアの原住民から奪い取ったものであり、ウ

差別構造について「原発の

ささらに原子力開発体制の

と相談しながら帰途についたのでした。

申し入れ書

私たち氣高郡連合婦人会は、『青谷町長尾鼻が原発候補地に』のウワサが出た三年前から、原発について学習を重ねてきました。この問題がたんなる噂でないことを立証する数々の情報により、青谷・気高原発計画が事実であることを確信し、つきの理由で青谷・気高原発設置反対運動に立ち上る決意をしました。

- ① 原発の事故は想像を絶する大事故につながる危険性をはらんでいる。
- ② 原発から環境にもれる放射性物質による環境および人体破壊の問題。
- ③ 原発労働者の被ばくの問題。
- ④ 放射性廃棄物（死の灰）の処理方法が解明されていない。
- ⑤ 原発は遺伝障害や何十万、何千万年間の死の灰の管理など子孫に恐ろしいツケを遺す。

以上は日本をふくめ世界中で起つている幾多の事例で証明されています。私たちの郷土に計りしれぬ災いをもたらすおそれのある青谷・気高原発の設置を断念していただくよう署名をそえて申し入れます。

一九八二年四月二〇日

鳥取県氣高郡連合婦人会



青谷の海岸から長尾鼻を望む

その間、県議会における平林知事の答弁は「原発の県内立地については、要請あれば積極的に取り入れるべきだ」（56・7・3 読売）、「原発は必要」（10・1 毎日、山陰中央）と県内誘致に積極的と受けとれる県の姿勢がうかがえる上、今年に入つて一月十四日付、山陰中央、中国新聞が掲載した、中電山根会長の発言「57年度中に新規立地のメドをたてたい。その候補地としては、人口が少く、心理的に住民に受け入れられ易いという条件で、日本海側を選ばざるを得ない」まさに郷土の危機、青谷原発、は、現実性を帯びて重くのしかかってきたのです。

二月十四日、郡連婦役員研修会の全体討議で、青谷原発をめぐる問題が提起され、署名運動をの動議が満場一致で成立しました

いま、一刻の猶予もゆる

もとより、原発立地計画

は、公表されるまでは陰密

裡にことが隠ばれて、推進

の姿勢でした。

真相の片鱗もつかみ得ぬ

のですから、われわれ一介

の主婦がかけ合ったところ

で原発計画は、一たん公表

されてしまつてからでは、

いくつ反対しても、もはや

は、どうかこれが、たん

なる噂であつてほしい」と

願い続けてきました。

五十六年度、郡連婦は積

活動を続けながら、心の底

では、どうかこれが、たん

なる噂であ

「原発」はいりません！ 住民こそつて署名協力

反原発に火と燃えた 家族ぐるみ署名も

家族ぐるみ署名も

あれはいつ頃の事だったた
でしょうか。何ということ
なく買って帰った岩波新書
の、原子力発電、を読んで
その危険性のあまりの大き
さに驚いたのは、
しかしその頃はまだ、私
たちの郷土が原発に狙われ
ようなどとは、ましてこの
様に反対のための署名運動
にほん走しようなどとは、
夢想だにしなかったことで
した。

それが一昨年あたりから
建設予定地として、育谷町
尾鼻という具体的な地名が
しばしば耳に入るようにな
り、私たちの危機感は日ご
日につのり続けました。学
習会も何回かひらき、学
会に集まれなかつた人た
のためには、二、三人が紹
介になって毎晩のようにスニ
イドを持ってあちこちの家
落へ出かけ、子孫のため
も原発を絶対につくらせ
い運動をとよびかけたり

話し合つたりしました。さすがにこの時は相当疲れましたが、いま何かしなければという火のようないで頑張り続けました。

そして今年の二月、気高郡の婦人会が役員研修会をひらいた時、遂に会員のひとりから「署名運動を」という積極的な意見が出て、にわかに運動が燃え上りました。障害はいろいろあるかも知れないけれど、とにかくやれる事は何でもやるんだという思いが私たちの心を固めさせました。

署名用紙の届くのを待ちうけて隣近所は言うに及ばず、思いつく限りの場所へ一軒一軒の家へ、しらみ溝なしに足をはこびました。一人でも多く、一人でも多くと思ひはただそれだけです。「あっ、その事はきいています。原発なんか絶対にと言ひながら、家族みんなで来てもらつては困ります」

で署名に応じて下さる
多くあります。しばらく
えている人でも、持參
資料を広げて「暴走事
んかの場合、このあた
全員即死の範囲に入る
ですよ」と説明すると「
な危険があるとは知ら
った」と驚きながら下
さる人もたくさんあ
した。

中には男の人で「西
できたらそこで働け
っているのに」とい
って、私は原発の工
労働者の被曝の状況
怖さについて時間を
説明しました。・閻
れる原発被曝者、や
ジブシー、で読んだ
心をこめて話しまし
島根を見学した時は
てリモコン操作の様
がほとんどに思えた
うですか。そんな事
か」その人も家族中
をしてくれました。

く考
が家
した
故な
りは
ので
そん
うな
きい
のりま
原発が
ると思
ふ人も
ト請け
やその
かけて
に消さ
'原発
内容も
た。一
原発、
な仕事
のにそ
事でした
千の署名
く考
した
この問題について話し合っ
ての人にも協力をたのみま
した。大ていは「手伝える
事は何でもする」ととびつ
く様に応えてくれました。
みんな、事の重大さを肌
で感じているようでした。
そして必ず「用紙が足りな
い」と追加を言ってきました
。ある人の如きは最初届
けた二十枚は「あっという
間に終った」と言い、更に
自分のツテを辿って方々の
部落へ頼んだから、と二百
五十枚もの追加を申し入れ
てきて、こちらが大あわて
する一幕もありました。

この原稿を書いている日
にも、あのスリーマイルの
二号炉がまたまた冷却水流
出事故を起こして、異常事
態宣言が出されたニュース
が報ぜられました。まさに
それは、今日はひとの身、
明日はわが身、と身の毛が
よだつ氣がするのです。
(永尾華子)

激励で成果予想以上

安全処理できぬ代物

青谷、気高に原発設置の
わざが流れて久しいが、
たら婦人会は何回も原発
安全性について勉強して
いた。その結果、推進する
側は、石油に代るエネルギー
だとか、原発はきれいで
安全だとか、石油は三十年
もすればなくなるとか言っ
ては二十数年も前から言わ
か、石油埋蔵量三十年云々¹
オイルショック以来のび
やんでいるという。勉強
事故がなくとも、目に
えなくとも、危険さわざ
ない放射能を、私たちの
上や、この美しい海や田
にまき散らす。

いと、う。この様に危険の上ない原発を設置して、私たち、いや孫子の末まで、安心してはむことのできない郷土に対することは、何が何でも絶対にしてはならないと、郡の役員研修会で署名運動をすることが決議された。すぐ署名用紙が届けられた。小さい部落に対し、割り多い枚数であり、関係のない人、何も知らない人も多い中で、これだけの署名が集まるだろうかと不安はないが、幾度か夜、家々をまわって原発の恐しさを説明し、部落みんなの署名をもらつたし、婦人会のない他の町村の人々にも説いて、署名ばかりか「しかしやつてよ」とはげました時は、大そう力強くれしかった。はじめ案じたより沢山署名が集まり、用紙がま

まだ足りない感じがした。
昨年は各部落で、夜、勉強会をして原発のおそろしさを皆で話し合ったこと、今まで聞いてきたことを、少しづつでも口コミで話していくこと等で、署名運動は予想以上のもり上りであった。

反核の運動もいま、野火の如く全国的に拡がってきた。反核の決議をする市町村もぼつかつ増えている現在、反核も反原発も、同じ視点で、危険なことは危険だとはっきり言えて行動できる社会にしなければならないし、その世論をつくるいく主役は私たちであ

の話を聞いて以来、私達は色々と先生方のお話を聞き研究も進めてきました。それは今迄以上に原発の恐しさと不安を身にしみて感じることばかりでした。

今年一月の婦人会の研修会では会員の中から、原発候補地である事をやめて頂くよう署名を、との声があり、郡婦人会として決議し実行に移りました。

さて、かかってみると中々大変でした。昼間は殆ど留守ですし私達も出掛けたことも多いので、夜な夜に署名簿を持って歩き回るのですが折も折、知事選の途中のことです。

「今日の政見放送で、林知事さんは原発についての項で、そんな話は聞いたことがない。といっておられから、一部の人達が騒いだ。そんな事に人会が踊らされてどうな

婦人会がそんな片
ことをするから会員
とか、皆が婦人会を
ないのだとかいう人
ます、危い事を嫌い
る

お叱	まし	なんかの放	歩く	とが	日々を願うこと
悪い	悪い	連や次の世の人	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
支持し	歩く	環境を残	嬉しい、美しいこ	ではないでし	日々を願うこと
寄った	紙を	人会だからこ	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
が減る	電話	達の安全な	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
す。	丁度	たいと願うの	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
た。応	いつ	うか。右も	嬉しい、美しいこ	ではないでし	日々を願うこと
って、	かな	私達には関係	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
を、と	いた事	命とくらしきを	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
また毎	下さ	合言葉のもと	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
さった	た。応	からうとする	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
つて、	美しいふる	寄せてくる益	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
を、と	愛する私達	たいと一心な	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
い希望と、た	りのささやか	美しいふる	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
ゆきたいと	守りつづける	美しいふる	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
支持し	をもって大き	美しいふる	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの

愛する子供
人々の平和を
この土地と安
したいと思う
しょうか。婦
そ、すべての
くらしを守り
ではないでし
左も、何色も
ないのです。
守る婦人会の
に、おそいか
危険や、押し
波を喰い止め
のです。

命と暮しは女の願い

の話を聞いて以来、私達は色々と先生方のお話を聞き研究も進めてきました。それは今迄以上に原発の恐しさと不安を身にしみて感じることばかりでした。

今年二月の婦人会の研修会では会員の中から、原発候補地である事をやめて頂くよう署名を、との声があり、郡婦人会として決議し実行に移りました。

さて、かかってみると中々大変でした。昼間は殆ど留守ですし私達も出掛けたことも多いので、夜な夜に署名簿を持って歩き回るのですが折も折、知事選の中のことです。

「今日の政見放送で、林知事さんは原発についての項で、そんな話は聞いたない。といっておられから、一部の人達が騒ぎ立てるだけだ。そんな事に人会が踊らされてどうな

婦人会がそんな片
ことをするから会員
とか、皆が婦人会を
ないのだとかいう人
ます、危い事を嫌い
る

お叱	まし	なんかの放	歩く	とが	日々を願うこと
悪い	悪い	連や次の世の人	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
支持し	歩く	環境を残	嬉しい、美しいこ	ではないでし	日々を願うこと
寄った	紙を	人会だからこ	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
が減る	電話	達の安全な	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
す。	丁度	たいと願うの	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
た。応	いつ	うか。右も	嬉しい、美しいこ	ではないでし	日々を願うこと
って、	かな	私達には関係	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
を、と	いた事	命とくらしきを	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
また毎	下さ	合言葉のもと	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
さった	た。応	からうとする	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
つて、	美しいふる	寄せてくる益	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
を、と	愛する私達	たいと一心な	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
い希望と、た	りのささやか	美しいふる	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの
ゆきたいと	守りつづける	美しいふる	連や次の世の人	ではないでし	日々を願うこと
支持し	をもって大き	美しいふる	女だからこそ、	といふものなの	といふものなの

愛する子供
人々の平和を
この土地と安
したいと思う
しょうか。婦
そ、すべての
くらしを守り
ではないでし
左も、何色も
ないのです。
守る婦人会の
に、おそいか
危険や、押し
波を喰い止め
のです。

こわき知らぬ人もいた

真実求める日もとう

かねがね私も気になつて
いた所でしたから郡の連合
婦人会が原発反対の署名運
動を始められたと聞いた時
これは私も一つお役に立た
なければ、と思いました。

一番の地元が誰も力を入れ
ずにいる事は許されない事
だと思ったからでした。第
各部落に入つて見て感じ
た事が二つありました。第
一は意外に原発のこわさを
知らない人達が多かつたと
いう事でした。純農村でも
旅館街でもそういう人達に
何人か出会いました。最も
驚いたのは、町に大きい金
がおりるさながら、とい
つたり、ぬくい水がおりや
あ魚がえつと寄つて来るわ
いな、など電力会社が聞い
たる喜んで涙を流しそうな
科白を吐いた人がいた事で
した。年とった人だから知
らない、若い人だから知
っている、という事ではなか
った事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対するのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
一は意外に原発のこわさを
知らない人達が多かつたと
いう事でした。純農村でも
旅館街でもそういう人達に
何人か出会いました。最も
驚いたのは、町に大きい金
がおりるさながら、とい
つたり、ぬくい水がおりや
あ魚がえつと寄つて来るわ
いな、など電力会社が聞い
たる喜んで涙を流しそうな
科白を吐いた人がいた事で
した。年とった人だから知
らない、若い人だから知
っている、という事ではなか
った事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

のする事にはあやまちはつ
いて廻るのです。これまで
の各地の原発の事故がいい
例でした。

賛成した人達の上にだけ
放射能が降って来るなら
いのです。しかし子や孫の
為にも金輪際こんなおそろ
しい物はご免だといい続
ける人の上にも平等に降つ
て来ますし、死の海になりま
す。先々週にもどなたかが
書いておられましたが私も
全く同感でした。お金で私
達の命は売られてはたまり
ません。誰にもそんな権利
は無い筈です。

青谷町と気高町の境に京
阪神の産業廃棄物を埋めた
谷がありますがそこへ降つ
た雨水が海に流れ出してわ
かめや貝が枯れたりしてい
る所を見ました。これもそ
んな事の為にその土地を売
った県を地元の者は非常に
腹を立てております。もう
あと祭りです。原発はこ
れどころでは無いのです。
永久に人の住めない所にし
てしまって。どこまで地球を
よがせば気が済むのでしょうか。
神様の大きなおいかり
を畏れるものです。(K・M)

以上、『鳥取県婦人新聞』1982年4月4日



夏泊から青谷方面を望む

つくろう！

厚い世論の力べ

中国電力が、気高郡の青
谷町と気高町にまたがる長
尾鼻岬に、原子力発電所立
地を計画していることが表
面化してから、四年以上経
過しました。

この間、中電は長尾鼻へ
の原発立地に向けた住民工
作を、水面下で着々と進め
てきています。

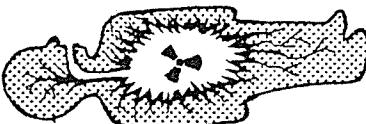
島根原発見学に、住民を
招待したり、電力懇談会、
対話週間などに名を借りた
県内の各界代表者への接近
小・中・高校の生徒や先生
への、副読本、や、教師用
教材、の無償配布、地元新
聞やテレビを利用した活発
な原発PRなど、数え上
げればキリがありません。

盛り上がる
住民運動
こうした中電の動きに対
抗して、「いのちとくらし」
は他団体と共に大阪大
学久米三四郎氏を迎える学
習会、スライドを担いで支
部や組織のない地区で小集
会をもつ等、必死で啓発活
動を取り組みました。

気高郡連婦では、この年
五月に主催した学習会に再
び小出氏を迎えて、十一月に
同じ時期、青谷町に「青
島原発設置反対の会」(51
年三月)が発足。また、そ
れより早く、鳥取に「反原
原発お断り」が、昨年七月には
倉吉に「反原発市民交流会」
が、昨年七月には

「原発お断り」
世論の壁を！
私たちは、今後長期にわ
たって、地元をはじめ全県
下で、原発反対、の運動を

『鳥取県婦人新聞』1982年4月10日



木当の事を見分けようとい
う心の持ち方だと思いまし
た。それにくわしい事を知
らない人がいても仕方のな
い所あります。県や町が
一番の地元が誰も力を入れ
ずにいる事は許されない事
だと思ったからでした。

各部落に入つて見て感じ
た事が二つありました。第
一は意外に原発のこわさを
知らない人達が多かつたと
いう事でした。純農村でも
旅館街でもそういう人達に
何人か出会いました。最も
驚いたのは、町に大きい金
がおりるさながら、とい
つたり、ぬくい水がおりや
あ魚がえつと寄つて来るわ
いな、など電力会社が聞い
たる喜んで涙を流しそうな
科白を吐いた人がいた事で
した。年とった人だから知
らない、若い人だから知
っている、という事ではなか
った事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

た事が二つありました。第
二は、団や県がする事
なら悪い事ではない、と思
つていい人がいた事でした
それに、大会社のする事や
公けのする事には何の疑問
も持たず、何でも彼でも反
対るのは、アカ、と同じ
だ、という空氣もありまし
た。これは全く無知がさせ
る事だと思いました。知ら
ないという事程こわいもの
はない、と今度程つくづく
感じた事はありません。い
え知るうとする気持ちを持
たない人達といい替えた方
間のする事なのです。人間

中電の煙幕

「十年間は……にゴマ化されまい

「長尾鼻に原発はゴメンを、いくら必死に質しても

だ」住民の強い訴えを集めて、気高郡連合婦人会が

「青谷・氣高(長尾鼻)原発

設置計画に反対する九二

九八人分の署名簿を、県と

中国電力に提出し、設置計

画を断念するよう申し入れ

をしたことは、本紙五月二

日号一、三面に掲載したと

おりである。

当日は、中電鳥取支店に

赴く私たちを、十数人の報

道陣のカメラが待ちかまえ

ていて、面くらったのであ

るが、このことは、長尾鼻

新規原発立地点が何処にな

り、そのところ長尾鼻に計

画はありません、今後十

年間は、絶対原発は作りま

せん、とくり返す。

しかし、私たちはこうし

単にききだせるようなナマ

易しい問題ではない。

マスコミが中電

のお先棒を

地の社会の重要な事で

あるかを示すものであろう

中電への申し入れ、県へ

の陳情は、それら取材陣が

所狭しと詰めかかる中での

原発問題、が、如何にこの

会談であった。前回でも述

べたように、私たちが、長

尾鼻原発立地計画はな

い、と否定。中には「十

年間の施設計画にもない」

や翌日の新聞がそろってこ

れを報道し、「中電側は、

長尾鼻原発建設計画はな

い」と否認。中には「十

年間の施設計画にもない」

や翌日の新聞がそろってこ

れを報道し、「中電側は、

長尾鼻原発建設計画はな

い」と否認。中には「十

年間の施設計画にもない」

や翌日の新聞がそろってこ

れを報道し、「中電側は、

長尾鼻原発建設計画はな

い」と否認。中には「十

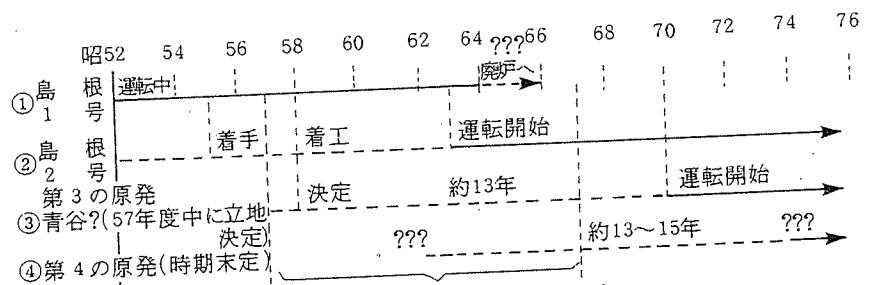
年間の施設計画にもない」

や翌日の新聞がそろってこ

れを報道し、「中電側は、

長尾鼻原発建設計画はな

中国電力の原発計画



「10年間は長尾鼻に原発はありません」

に掲載した。これでは、読る。その間、①の立地決定者は「十年間はないと言つて、立地決定から④の運転開始まで、順調に、つまり、原子力発電所は、立地決定から電力発生が稼動するのは十年以上も先のことになるわけである。しかし、マスコミを通じて、十年間長尾鼻に原発をつくるまでには非常に長い期間かかるのである。

当日、中電鳥取支店長の

十年間長尾鼻に原発計画

なし、という発言は、例え

ば、ことし中に長尾鼻に立地決定されたとしても、原

電力会社にとって、原

新規原発立地点が何処にな

るかは、公式発表まで、最

は、今のところ長尾鼻に計

画はありません、今後十

年間は、絶対原発は作りま

せん、とくり返す。

しかし、私たちはこうし

ては大へんなことになる。

もう、これは、そういう誤解を故意に与え、県民を油

に発言を真當に信用して、安心したり油断してしまっ

い、と誤解し、安心してし

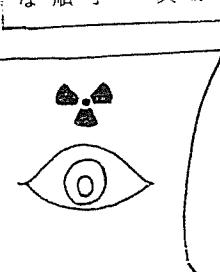
ては大へんなことになる。

もう、これは、そういう誤

解を故意に与え、県民を油

に発言を真當に信用して、安心したり油断してしまっ

い、と誤解し、安心してし



(写真上) 船磯の海岸で遊ぶ子供たち
(写真下) 長尾鼻の境界に立てられた標識

豊北町では、
反原発町長再選

私たちが行動した日から
五日後の四月二十五日、中
国電力の原子力発電所建設

予定地になっている、山口

中央でも注目されている問

工作、原発宣伝が県内で盛



題であることを、立証する

ものであろう。

豊北原発が当分日の目を

見れなくなつた現段階で、

中電は、青谷、をあきらめ

るどころか、豊北町の代り

ねない。

青谷・氣高原発計画は、

警戒を…

現に、野草社(出版社)、(1)レッキとした青写真があ

るという事実(2)関連施設

日本列島の原発立地点」と

「青谷」を掲載したこ

とは、青谷・氣高原発、が

いるという事実(3)島根原発

視察などの招待旅行、住民

決してたんなる噂ではなく

は、すでに手遅れであると

いう全国各地の例を無にせ

ぬよう、私たちの郷土に原

中国電力、山口支店長の

発を寄せつけないために、

長期にわたって監視と警戒

ができないのに、出

の手をゆるめるわけにはい

かない。この教

は、すでに手遅れであると

いう全国各地の例を無にせ

ぬよう、私たちの郷土に原

中国電力、山口支店長の

発を寄せつけないために、

長期にわたって監視と警戒

ができないのに、出

の手をゆるめるわけにはい

かない。この教

は、すでに手遅れであると

いう全国各地の例を無にせ

ぬよう、私たちの郷土に原

中国電力、山口支店長の

発を寄せつけないために、

長期にわたって監視と警戒

ができないのに、出

の手をゆるめるわけにはい

かない。この教

は、すでに手遅れであると

いう全国各地の例を無にせ

ぬよう、私たちの郷土に原

中国電力、山口支店長の

発を寄せつけないために、

長期にわたって監視と警戒

ができないのに、出

の手をゆるめるわけにはい

かない。この教

は、すでに手遅れであると

いう全国各地の例を無にせ

ぬよう、私たちの郷土に原

中国電力、山口支店長の

発を寄せつけないために、

長期にわたって監視と警戒

ができないのに、出

の手をゆるめるわけにはい

かない。この教

は、すでに手遅れであると

いう全国各地の例を無にせ

ぬよう、私たちの郷土に原

中国電力、山口支店長の

5 県内の原発反対運動から

青谷原発
一文大字
合編成

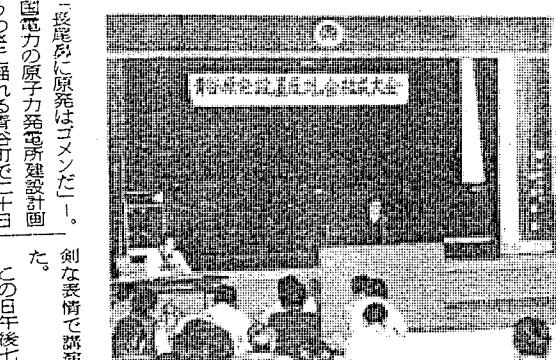
学習会など運動強化へ

地元で大会

一方、こゝに亘る氣高町議會で谷口竹雄同町長が青谷原発設置に反対の意向を表明、地元・青谷原の山根健太郎町長も反対の意を表明しておらず、町議会、青谷原発設置反対の会を含めた今後の動向が注目される。

『日本海新聞』1982年3月22日

原発が来れば磯釣りもできなくなる
(夏泊で)



『原発・反対』に立ち上がった青谷原発設置反対の会結成大会

中国電力の原子力発電所建設計画のうえに揺れる谷町で一千日夜、「貴原原発設置反対の会」の結成大會が開かれた。会場には奈良高郡三町をはじめ鳥取や倉吉市などから約三百三十人が出席。原発反対団体の代表者らが「原発の危険性を強調するなか、出席者たちは原

この日午後
結成大会では
▽原発学園会
合で開く▽*
ーねらわれて
心に、各地反
展開▽原子

いた。財産を失ったと、割り切っていた。しかしも、それがない問題ではなかった。横谷原発の「原発のうらやましさ」が、中でも谷町関係で明らかになっていた。

をされしなくな
る。便利だけでは
超だ」と強調

危機管理

10 of 10

A small, low-resolution grayscale image showing a dark, textured object against a lighter background. The image is heavily pixelated and lacks fine detail.

青島市議會も反対決議

長尾鼻原発計画

知事、国に意見書送る

「長尾は原発はダメだ」。この叫び聞かれた気高郡青木町議会は、全員一致で青原発反対意見書を決議、西田議長から十七日に西宮市知事を通じて平林知事に手渡し、三十日には総理大臣、通産大臣、科技庁長官など国の大要機関へ郵送した。

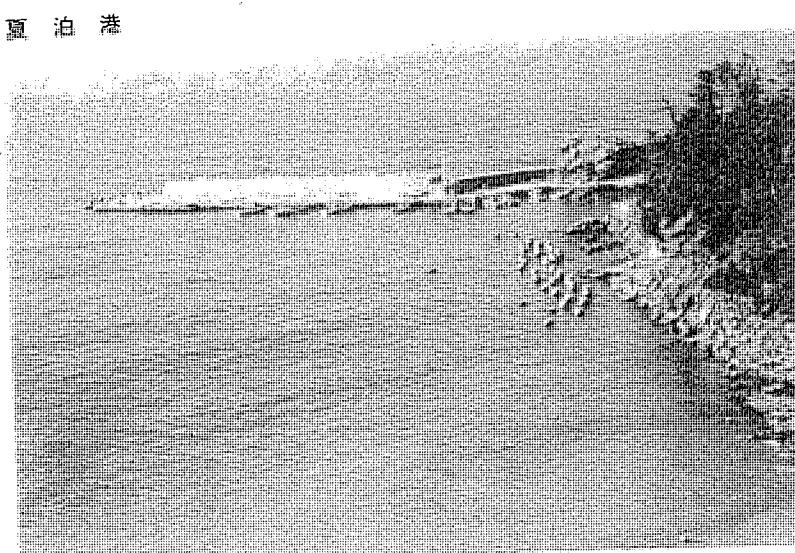
青谷原発に関する意見書はまず、「原発建設が国の基盤につながる重要な課題として取り組まれていいことは認識している」と断つたうえで、長崎原発のうわさで「町民の不安が日増じに高まっている」を繰り返す。一方で、長崎原発建設反対の翁(吉田通代)は、「長崎府民が政治家や行政機関に与える一つの光として原子力を認識するが、青谷への立地は立場的にも構造的に町民にとって安全であるという確証のない現状、全く考慮する余地はない」と述べて、翁の名を綴ることにしている。

る」と心を述べて居る。次に昨年同議会が行つた長尾開発の方向に関する決議にもあるように、「町民の憩いの場として開発するのが町産業發展につながる最善の施策である」と再確認し、最後に「かかる事情を十分に考慮し、既成のへの原発施設計画を推進しないよ」と横想があると「一帯は自然保護」との音容も飛び出している」と書く。又、矢野也坂・スパーク社代表の語

う強く要請する。しかし、既にこの意見満足のない十四日町の町議会に山田始、瀬戸親、房原吉造、見生康徳の四議員が提出。三月定期議會開頭には山根健時社説版の公認、シタリード・シヨン、地域マ・住宅地域マ農業地域一などとして整備する考え方だ。農業を原発についても見る。

「日本海新聞」1982年3月30日

蘭泊篇



中国電力の青谷・氣高原子力発電所 建設設計画に反対する共同アピール

すでに昨年三月、一部のマスコミで報道された、中国電力の青谷・氣高原原発建設設計画の公表が現実のものになるおそれが強まっています。

スリーマイル島原発の大事故について、日本原電敦賀発電所の一連の事故隠しで一時停滞をしていた原発増設の動きが、最近急に活発になってきています。

中国電力もこの例外ではなく、今年一月の年頭記者会見で、会長自ら「原子力発電には特に力を入れ、島根2号炉はもちろん、新規立地についても出来れば年内に着手をつけたい」「今は一基でも二基でも早く作るのが先決。立地条件によりは、人口が少なく、心理的に住民に受け入れられやすい」という条件で日本海側しかないなどと発言しています。また、広島県で行なわれた「電力懇談会」で中国電力の幹部は、「長尾鼻も候補地の一つ」と明言しています。私たちは、この原子力発電所建設計画について、またこの計画を推進する電力会社に対し、多くの疑問と大きな危険を感じざるを得ません。

スリーマイル島のような、あるいはそれ以上の大事故が再び起らない保証はあるのでしょうか。また、原発からは通常運転中でも放射能が大気や海水に吐き出されることは、電力会社もまた認めるところです。近年、多くの人によって、原子力発電が、石油の代替にならず経済的に割りのあわないものであることが明らかにされてきています。燃料となるウラン資源も、二〇年後には枯渇するともいわれています。

わが鳥取県は、農業や水産業が産業の大きな位置を占めていますが、原発と農業・水産業は両立しません。原発から吐き出される放射能は農産物に大きな影響を与えます。過去、原発事故で広い範囲において牛乳が汚染され、大量に廃棄された例もあり、米・野菜・果樹などに放射能が蓄積されるおそれがあります。水産業においても原発から吐き出される温排水で、沿岸の魚介類が汚染され、放射能が周辺海域の生物に蓄積するなどの危険もあります。

また、海岸線は一部国立公園に指定されているように美しい景観をもっています。巨大で不気味な原発施設は、この景観を台なしにするなど、観光への影響も見のがせません。観光客は敏感に汚染地を避けるからです。さらに何よりも周辺住民の健康を日常的におびやかすことが重大です。住民は絶えず事故と放射能の危険にさらされ、十五年の寿命といわれる原発が大量の放射能を内部に残したまま廃炉となり、周辺地域が荒廃してゆくのは明らかなことです。

廃炉を処分する技術のペドも立たず、放射性廃棄物にいたっては捨て場に困り、高レベルのものはアメリカの政府機関の報告でも最低一〇〇〇年間管理しつづける必要があるといわれております。放射能のなかには猛毒のブルトニウムのように半減期が二万四千年的な長さに及ぶものもあります。周辺地域には急性障害、晚発性障害(ガン、白血病など)、

遺伝障害など日常的な危険の代償として、協力金・補助金などの名目で、多額のカネがばらまかれますが、「親には力ね、子孫には放射能」といわれているように、危険性だけは次の世代に引きつがれていくのです。

私たちは、私たちの世代のみならず子や孫の世代、さらに続く悠久の世代にまで深い傷あとを残してよいのでしょうか。全国でも有数の美しい自然と住みよい環境を持つ、私たちのふるさと鳥取県を危険な原発の「死の灰」で汚してよいのでしょうか。

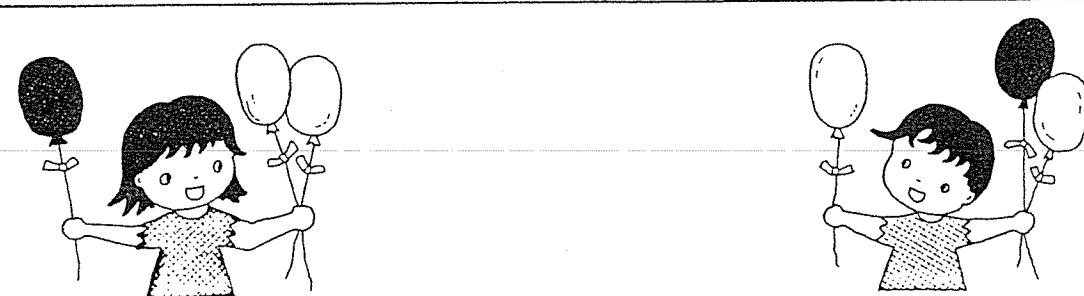
私たちは、中国電力の青谷・氣高原原発建設設計画をとうてい認めることができません。青谷・氣高への新規立地に反対することをここに表明します。

一九八一年四月二十八日

共同アピール署名	
遠坂 謙 (鳥取市／鳥取大学助教授)	石田 繁幸 (鳥取市／鳥取県住協力連絡員)
齊山 征洋 (鳥取市／元鳥取青年会議所副理)	石田 正義 (弓削町／鳥取女子短期大学教員)
赤木 三郎 (鳥取市／鳥取大学教員)	石田 弥寿夫 (鳥取市／鳥取大学教員)
鴻近 勉 (宍戸町／赤穂高等学校教員)	石飛 咲一 (鳥取市／県立厚生病院内科医)
足鹿 覚 (宍戸市／無職)	石田 勉次 (宍戸町／西若狭地区行政組合議長)
芦谷 みすゞ (用賀町／鳥取本の会会員)	石飛 茂 (宍戸市／無職)
足羽 精 (西脇町／無職)	井関 とよ子 (鳥取市／長岡市連合婦人会会員)
足立 順雄 (宍戸市／教育研究室)	伊谷 周一 (鳥取市／鳥取県民主商工会連合会会員)
足立 光正 (鳥取市／鳥取県教委員会)	伊谷 ます子 (鳥取市／老人)
有田 みち子 (宍戸町／元鳥取大学教員)	市川 長一 (境港市／シーカンバハイヤー・タク)
安藤 雄 (宍戸町／西部生協事務局理事)	市川 修 (宍戸市／鳥取大学医学部教員)
生田 正訓 (日野町／日野産業高等専修学校教員)	一橋 義則 (宍戸市／米子東高等学校教員)
池沢 源藏 (鳥取市／県会議員)	伊東 理 (鳥取市／鳥取大学教員)
池田 清子 (宍戸町／宍戸地区婦人会会員)	伊藤 武彦 (宍戸町／町長)
池田 犀 (宍戸町／前町十二番会員)	井元 敏明 (宍戸市／鳥取大学医学部教員)
石井 正 (宍戸町／前町会議員)	井上 英樹 (宍戸町／新潟県加入者代表)
石井 駿 (宍戸町／県立中央病院医師)	岩田 武彦 (宍戸町／ふるさとの環境を守る)
石井 貢 (宍戸市／鳥取市議会議員)	岩田 博 (宍戸市／鳥取大学教員)
植田 丞 (宍戸市／東洋高等学校教員)	岩見 久子 (宍戸町／鳥取県協力会員)
石田 朋也 (吉田町／医師)	上田 邦須雄 (宍戸市／鳥取大学教員)



中国電力に共同アピールを提供





共同アピールを県に提出

田秀吉	(米子市／通長・鳥取大学助教授)
村和子	(邑古市／県立庄生病院院長)
口誠	(邑古市／園医医)
口善範	(邑古市／東立町生産農業組合)
吉喜	(邑古市／邑政民俗会代表理事)
吉正大	(米子市／邑政民俗会代表理事)
吉郎	(米子市／邑根大学講師)
吉郎	(用原町／日本オリスト教師用原)
谷川良	(用原町／教員牧師)
谷川良	(用原町／教員用原)
多野謙	(邑古市／邑古市議員)
多野謙	(邑古市／邑古市議員)
森邊昭雄	(京丹波町／船引漁港理事)
森邊昭雄	(京丹波町／船引漁港理事)
田畠安	(鳥取市／邑取大学教員)
田畠安	(名和町／米子東高等学校教員)
田原盛	(名和町／山陰マスコット・文化共
林原深子	(米子市／米子市連合婦人会会長)
林原深子	(米子市／米子市連合婦人会会長)
田原幸	(邑古町／前東良國婦人部長)
田原幸	(邑古町／前東良國婦人部長)
日地麻武	(米子市／邑取大学医学部教員)
日地麻武	(米子市／邑取大学医学部教員)
平尾公二	(米子市／皆生養護学校教員)
平尾公二	(米子市／皆生養護学校教員)
福市照雄	(気高町／氣高町)
福市照雄	(氣高町／氣高町)
福田啓子	(鳥取市／邑取大学教員)
福田啓子	(鳥取市／邑取大学教員)
富士一郎	(鳥取市／邑取大学農芸科教員)
富士一郎	(鳥取市／邑取大学農芸科教員)

原正人	(鳥取市／鳥取大学教官)
文乃	(米子市／主婦)
達鍊	夫(鳥取市／鳥取大学教官)
廢	子(大栄町／鳥取県保育園組合相談協議会)
廢	崇(米子市／鳥取県保育園組合相談員)
廢	道丸(岸本町／被災を記録する余半舟)
廢	盛男(鳥取市／鳥取大学助教授)
廢	義夫(音谷町／鳥取大学名譽教授)
場秀明	(米子市／牧師)
橋秋次	(米子市／鳥取新生活活動協議会)
村武夫	(米子市／元小学校校長)
村耕三	(米子市／鳥取大学教官)
田昭明	(鳥取市／鳥取大学教官)
明岩美加(私教トラック委員長)	
修(瓦窯町／船岡熱協理事)	
一(瓦窯町／船岡熱協組合員)	
本綱生(福家町／八頭郡連合婦人会会長)	
田村俊明(鳥取市／鳥取大学助教授)	
田綱生(福家町／八頭郡連合婦人会会長)	
高瀬達(船岡町／船岡熱協組合員)	
功(鳥吉町／鳥立町生駒院診療所院長)	
棹幸昭(鳥取市／鳥取農業高等専修教員)	
棹繁(鳥取市／鳥取大学助教授)	
合義孝(鳥取市／鳥取大学教官)	
西幸男(鳥吉町／中海地区原水協事務局長)	
京山隆範(岸本町／守門町日野川の環境を守る会事務局長)	
木立早苗(鳥取市／鳥取大学医療専大教員)	
木立田洋文(船岡町／鳥取大学教官)	
柏木勝利(米子市／勁利米子地本委員長)	
柏木克夫(米子市／助教授)	
加藤早苗(鳥取市／鳥取女子教育会)	
加藤武之(音谷町／音谷町民協議会部長)	
加藤利行(米子市／勤労米子地本委員長)	
加藤俊行(米子市／教會牧師)	
金澤瑞子(鳥吉町／主婦)	
金澤廣治(船岡町／大山川流域農業協同組合)	
金澤谷慶治(羽合町／地主)	
龜谷茂代(米子市／西条生協理事)	

第1回 反原発・風船あげの報告

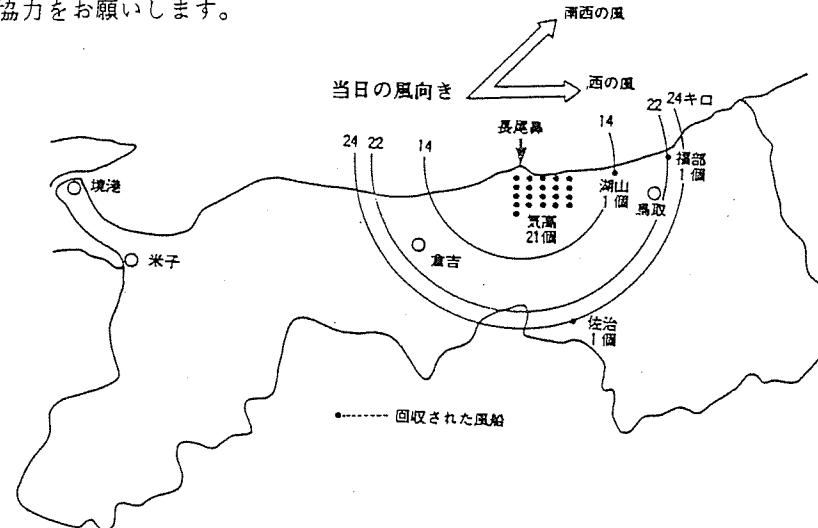
中国電力が長尾鼻に計画している原発立地を断念させるため、私たち県内の反原発住民4団体は、昨年10月24日、気高郡青谷町の松ヶ谷付近（国道9号線駐車場）からハガキ付き風船500個をあげました。

当日は、低気圧が日本海を東進し、長尾鼻から海の方向に強い風が吹き抜けるという悪条件でしたが、青谷町との町境の気高町松ヶ谷の松林で21個、鳥取市湖山町で1個、岩美郡福部村で1個、八頭郡佐治村で1個、の計24個の風船が回収されました。

風船が届く所には確実に“死の灰”（放射能）が届きます。原発からは平常運転中でも微量の“死の灰”が環境にもれ続けていますし、ひとたび大事故が起きたら大量の“死の灰”が一挙に周辺にまき散らされます。

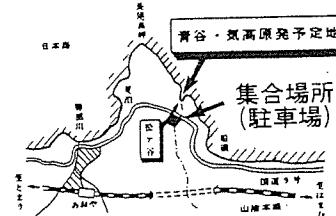
今回の風船あげで、南西ないし西の風の場合、①気高町に大量の“死の灰”が降り注ぎ、②さらに1時間以内に鳥取市もスッポリと“死の灰”的カサの下に入り、③“死の灰”的影響は岩美郡や八頭郡にも及ぶ——ということがわかります。

私たちは、中電が長尾鼻への原発計画を完全にあきらめるまで、10年かかろうが20年かかろうが、この風船あげを毎年1回のペースで続けていきたいと思います。今後とも皆様のご協力をお願いします。



風船あげの日時・場所・条件

日時=1982年10月24日 午前10時半～11時半
場所=鳥取県気高郡青谷町松ヶ谷付近（国道9号線駐車場）
天気=うすぐもり（気温16.9度）
風向=南西ないし西の風
風速=5.7～9.0 m/s
(以上、鳥取地方気象台の観測)



風船の回収場所と日時

- ① 岩美郡福部村浜湯山 (1982年10月24日 午前11時27分)
- ② 八頭郡佐治村加茂 (1982年10月26日)
- ③ 鳥取市湖山町の鳥取空港付近松林 (1982年10月29日 午後3時15分)
- ④ 気高郡気高町松ヶ谷の松林 (1983年3月20日 午前10時～11時半)

1983年4月

青谷原発設置反対の会
反原発市民交流会・鳥取
反原発市民交流会・中部
鳥取県西部原発反対の会

「原発風船」を上げます。ご協力下さい。

鳥取県内の反原発住民4

団体は、10月24日（日）、
長尾鼻岬の入口で、風船5
〇〇個を一齊にあげること
にしています。

風船を拾った方は、風船
につけてあるハガキに、拾
った場所、日時など印刷し
てある質問項目（四つ程）
にご記入の上、最寄りのボ
ストに投函して下さるよう
ご協力をねがいたしま
す。

風船の届くところには、
必ず死の灰が届きます。
原発は放射能（死の灰）
を周辺にまき散らし、処理
のできない放射性廃棄物の
ツケを子孫に押しつけるば
かりか、経済的にも引きあ
わない危険で短命なエネル
ギーです。

原発がなければ私たちの
生活が成り立たないよう
宣伝をし、札束を使って人
心をまとわせつつ、原発推
進を強行する電力会社等の
やり方に、強い憤りを覚え
ます。

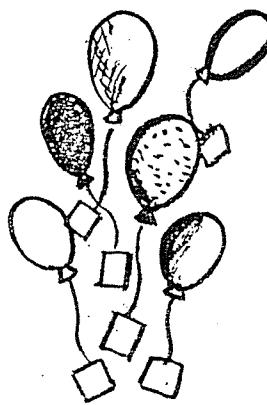
この風船あげは、広く県
内外の人びとに、中電の長
尾鼻原発計画を認識しても
らうとともに、万一長尾鼻
原発が建設された場合の、
周辺への影響調査の意味を
持っています。

今回を手はじめとして、
この風船あげは中電が長尾

鼻原発計画を断念するまで

10年かかろうが20年かかろ
うが、やり続けられます。

この反原発風船あげを成
功させるために、住民団体
では、当日行動への参加を
呼びかけるとともに、資金
カンパも要請しています。



『鳥取県婦人新聞』1982年10月17日



1982年10月24日、長尾鼻で第1回反原発風船上げ

原発を許さない長期の態勢を

◎運動を持続し警戒と監視を!!

長尾鼻の再浮上と北条町への立地を警戒し

長尾鼻が中国電力の原発候補地になっているとの情報をキャッチし、この計画を封じ込められ、県内の広汎な世論に訴えつゝ、原発立地阻止の闘いに立ちあがってから早くも四年目の新年を迎えるました。

さいわい、地元青谷・気高両町の住民運動とこれに連携する市民運動の力によって、とりあえず、長尾鼻への立地を未然に食いとめることができました。私たちは過去の経験を振り返り、九八〇年から八年にかけて私たちの郷土の長氣をゆるめることなく引き続き、今後長期にわたって、長尾鼻の再浮上を含む県内への原発立地に警戒と監視の眼を光させていきたいと思います。

◎田万川→豊北→青谷→上関

中電の当初の原発立地の青写真によると、現在稼動・建設準備中の島根1、2号の他に、日本海側の田万川、豊北（以上山口県）、島根半島（島根県）、長尾鼻（鳥取県）の四ヶ所が候補地としてとりあげられています。

中電がまずねらったのは山口県・田万川町で

私たちには、とりあえず、長尾鼻への指名を阻止できることを、この間の県内世論の盛り上がりと活動の成果として確認し、住民・市民運動の力に自信を持つていいと思います。原発は県民がその気になれば阻止できます。

ですが、地元漁民を中心に隣接の島根県・益田市なども巻き込む住民運動で、未然にしめ出します。そこで、中電は一九七七年六月、同じ山口県・豊北町を指名し計画を公表しましたが、

ここでも漁民を中心強力な住民運動が起き、反対派から町長が立ち、つけ入る余地を与えませんでした。

「豊北町がダメなら青谷」というわけで、一尾鼻が有力候補地として浮上してきたことは周知の通りです。山口県・萩市も候補地の一つとおせん立てが早く整ったとみた上関町に集中攻撃を仕かけて現在に至っています。

青谷原発設置反対の会の結成、気高郡連合婦人会の署名運動、県内各界の共同アピール、東・中・西の市民運動——と盛り上がる反原発運動に押されて、中電は一年以降、長尾鼻を保留、山口県・萩市と上関町にホコ先を向け、誘置の戦の態勢で、県内への立地を断じて封じていく決意です。

一九八四年一月

年表・原発反対の歩み

1979年(昭和54年)		県内外のおもな動き	気高郡連合婦人会の取り組み
6・16		スリーマイル島原発事故発生	原子力発電の公害を考える会など主催
3・28		「原発安全神話」崩壊	映画と講演会「私たちは原子力発電と共存できるのか」
6・15		日本海新聞に「青谷も候補地だった?! あす原発を考える集い」の記事	(講師)京都大学原子炉実験所小出裕章氏、県立博物館にて)
11・18 11・12 11・16	席。	に会長(村上)副会長(中嶋、八幡)新聞委員(小泉)出て	原子力発電の公害を考える会などを主催
11・25		小出氏の講演記録を三回にわけて鳥取県婦人新聞に掲載。	映画と講演会「私たちは原子力発電と共存できるのか」
		(上)の部を郡大会資料に配布。	(講師)京都大学原子炉実験所小出裕章氏、青谷町中央公民館にて)

気高郡連合婦人会の取り組み

県内外のおもな動き

「私たちは次の世代にきれいな環境をのこすため、原子力発電所建設に反対しよう」と申し合わせる。

- 11月『原発ジブシー』『原子炉被曝日記』『原発死』『働く安全装置—スリーマイル島事故と日本の原発』『核燃料再処理工場—その危険性のすべて』

など、原発関係書物を役員有志回し読みして学習。

1979年(昭和54年)

1980年(昭和55年)

- 『死にすぎた赤ん坊』『核文明の恐怖』『原子力発電』
- 『プルトニウム』『原子力を考える』
- など関係書物を、役員有志情報交換しながら講読学習。
- 2月28日大巾値上げ反対と、原子力に頼るエネルギー政策に反対する意見を陳述。
- 3月16日広島通産局主催「電気料金値上げ問題公聴会」に、県連合婦人会を代表して、村上(郡連婦会長)が出席。電気料金値上げ反対と、原子力に頼るエネルギー政策に反対する意見を陳述。
- 4月16日気高郡連合婦人会大会で申し合わせ、「いのちと環境を守るために、安全性に問題のある原子力発電所の建設に反対しよう」

7月1日六月定例県議会で自民党代表質問
「本県は東西に長い海岸線を持ち、原発の立地にあるのは原子力だ。(原発は)関係者から相談があれば、県として積極的に考える」
平林知事答弁
「今日石油にかわる代替エネルギーとして身近にあるのは原子力だ。(原発は)関係者から相談があれば、県として積極的に考える」

7月25日第四次鳥取県総合開発計画の審議会
原発問題に論議が集中、理事者側は原発の検討を主張。

1981年(昭和56年)	
3月30日	気高郡連合婦人会の代議員総会
4月27日	青谷原発問題に議論が集中、「空を海を土を汚してはならないのだ」と一同確認する。
5月6日	鳥取県反原発交流会主催 講演会「町長をリコールした窪川町の反原発運動」 (講師)高知県自然保護連合坂本三郎氏、鳥取市福祉文化会館にて)
5月24日	鳥取県連合婦人会役員5人出席。 に気高郡連合婦人会主催 「原子力発電問題についての学習会」 (講師)立教大学助教授服部学氏、青谷町中央公民館にて)

1981年(昭和56年)	
3月30日	鳥取県連合婦人会の代議員総会
4月27日	青谷原発問題に議論が集中、「空を海を土を汚してはならないのだ」と一同確認する。
5月6日	鳥取県反原発交流会主催 講演会「町長をリコールした窪川町の反原発運動」 (講師)高知県自然保護連合坂本三郎氏、鳥取市福祉文化会館にて)
5月24日	鳥取県連合婦人会役員5人出席。 に気高郡連合婦人会主催 「原子力発電問題についての学習会」 (講師)立教大学助教授服部学氏、青谷町中央公民館にて)

1981年(昭和56年)	
3月30日	鳥取県連合婦人会の代議員総会
4月27日	青谷原発問題に議論が集中、「空を海を土を汚してはならないのだ」と一同確認する。
5月6日	鳥取県反原発交流会主催 講演会「町長をリコールした窪川町の反原発運動」 (講師)高知県自然保護連合坂本三郎氏、鳥取市福祉文化会館にて)
5月24日	鳥取県連合婦人会役員5人出席。 に気高郡連合婦人会主催 「原子力発電問題についての学習会」 (講師)立教大学助教授服部学氏、青谷町中央公民館にて)

気高郡連合婦人会の取り組み

県内外のおもな動き

1982年(昭和57年)	
4・27	気高郡連合婦人会の代議員総会で署名運動の経過および中電への申し入れ、県に陳情した。
4・28	20の行動を報告。今後とも原発を郷土に寄せつけない運動を続けようと申し合わせ、原発関係費用を予算化する。
4・29	県内各界代表が「中国電力の青谷・気高原子力発電所建設計画に反対する」共同アピールを発表。
5・24	県議会の自民党代表質問「原発を誘致せよ」と知事に迫る。
6・19	鳥取県西部原発反対の会結成、平井孝治氏が講演。
6・21	読売新聞に「中国電、萩に原発計画」
6・25	豊北町長選を境に、中電の次の原発立地工作の重点は山口県(萩と上関)に移る。
7・24～26	東部地評『誇りの海』上演。
7・26	県内反原発市民グループ
10・21	青谷で第一回反原発合同合宿。
9・19～10・17	日本海新聞に「地元の理解得られれば鳥取県にも原発、電力
10・24	県婦人新聞に平井孝治氏の講演記録を四回シリーズで掲載。
10・24	原子力発電を考える気高町民の会(準)

1982年(昭和57年)	
2・14	気高郡連合婦人会の役員研修会
2・14	スライド『原発—ねらわれる長尾鼻』を上映。午後の全体会で長尾鼻原発をめぐる情勢が話し合われ、「青谷・気高原発設置に反対する署名運動を」の動議が出て満場一致で決議。
2・14	気高郡連合婦人会が署名運動を展開。
3・4	県内各界代表の共同アピール集約に協力。
3・6・6	新聞に九回シリーズで連載。
4・20	久米三四郎氏の講演記録「原子力発電を考える」を県婦人二九八人の署名簿を作成し、会長村上小枝ら代表八人中国電力鳥取支店を訪れ、支店長に署名簿を提出、「青谷・気高原発計画を断念するよう」申し入れる。
4・25	ついで鳥取県庁に行き、上京中の平林知事に代って植谷商工労働部長に会い、署名簿の複写を提出、「中電の原発計画を受け入れないよう」陳情。
3・20	青谷町で「青谷原発設置反対の会」結成大会。
3・24	青谷町議会が「青谷原発に関する意見書」を全会一致で決議。
3・24	同意見書は3・27平林知事と広田県会議長に提出。3・30総理大臣、通産大臣、科学技術庁長官あて郵送。
4・25	山口県豊北町長選反原発派の藤井町長再選。

1984年(昭和59年)		1983年(昭和58年)	
4・5	・『遺伝学と核時代』『恐怖の2時間18分』などの書物を役員有志情報交換しながら購読学習。	4・29	県内反原発市民グループ
3・25	講演・記録集『原発のないふるさと』(第二版)を出版。	10・22	第二回反原発風船あげに郡婦連の会員参加。
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	10・23	講演・記録集『原発のないふるさと』(第一版)を出版。
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	4・29	県内反原発市民グループ
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	5・13～14	島根原発2号炉二次ヒアリング
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	7・23～25	第二回反原発合同合宿。
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	8・21～22	広島で中国地方反原発・反火電等住民運動市民運動連絡会議結成大会
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	8・27～28	鳥取からも反原発市民グループ参加。
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	8・27～28	京都で反原発全国集会
西田良平氏、青谷町中央公民館にて)	講演会「生命をおびやかす原子力発電」(講師=埼玉大学教授市川定夫氏、気高町中央公民館にて)	8・27～28	県内の反原発市民グループ多数参加。

1983年(昭和58年)		1982年(昭和57年)	
3・26	気高郡連合婦人会の役員研修会 講義「ふるさとを守るために」(講師=浜坂火力原子力発電所設置反対町民協議会岡田一衛氏) ・『経済評論別冊市民のエネルギー白書』『ウラルの核惨事』『ジョン・ウェインはなぜ死んだか』『反原発マップ』などの書籍を役員有志情報交換しながら各自購読、学習。	2・20	県内反原発市民グループ 長尾鼻で第一回反原発風船あげ。
4・24	上関町長選 反原発派の向井氏惜敗。	2・26～27	中国新聞に 「中電第二原発、上関町(山口)が最有力に」上関での立地工作強まり、反対運動も起きる。 県内反原発市民グループ 「反原発の日」の統一ビラまき
10・26	映画『原発はいま』上映。	10・25	県内外のおもな動き
11・28	気高町中央公民館にて、会員多数参加。	12・2	県内反原発市民グループ 長尾鼻原発建設計画に反対する運動を根気よく続けよう

写真・カットの出典一覧

この講演・記録集に挿入した写真の一部は新日本海新聞社、山陰中央新報社、反原発新聞鳥取支局から提供を受けました。また、他の写真・カット・図表は、以下の単行本・論文・パンフレットから勝手ながらコピーにて利用させていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

〔単行本・論文〕

- ・緑の会『原子力発電とはなにか』『東京に原発を』(野草社=新泉社発売)
- ・小野周監修『原発はなぜこわいか』(高文研)
- ・久米三四郎『原子力発電は安全か』(日本消費者連盟)
- ・市川定夫『放射線は微量でもあぶない』(日本消費者連盟)
- ・槌田敦『石油と原子力に未来はあるか』(亜紀書房)『石油文明の次は何か』(農文協)『資源物理学』(NHKブックス)
- ・室田武『原子力の経済学』(日本評論社)「原子力発電の経済性を問う」(『原子力工業』1981年9月)
- ・中尾ハジメ『スリーマイル島』(野草社=新泉社発売)
- ・西尾謙編『反原発マップ』(五月社)
- ・西尾謙『原発・最後の賭け』(アンヴィエル)
- ・安斎育郎編『図説・原子力読本』(合同出版)
- ・安斎育郎『原発と環境』(ダイヤモンド社)
- ・飯島宗一『広島・長崎でなにが起ったのか』(岩波ブックレット)
- ・荒畠寒村『谷中村滅亡史』(新泉社)

〔パンフレット・他〕

- ・宇宙はてない社『げんぱつのえほん③てんごくのおきやくさま』『おひさまの会』No.1
- ・自主講座原子力グループ『原子力発電ここが問題だ』『太平洋を核のゴミ捨て場にするな』『再処理工場ここが問題だ』『つくるな! 第2再処理工場』
- ・反公害輸出通報センター『公害を逃すな!』(1982年10月号)
- ・原子力資料情報室『原発黒書』
- ・現代の差別と汚染を考える教育労働者の会『反核だから反原発』
- ・新潟県高教組『悪魔の火を消そう!』
- ・あげな原発いらんばい! 福岡の会『原発と電気料金』
- ・原子力はごめんだ! 関西連絡会『熊取原子炉を許さない府民の会』
- ・島根原発公害対策会議他『原発』
- ・鳥取県総評『原子力発電反対闘争のために』(第3版)
- ・反原発新聞鳥取支局『もし長尾鼻に原発が来たら...』
- ・日本はこれでいいのか市民連合『私達はどのような危険な状態にいるのか』

1985年 (昭和60年)	1984年(昭和59年)												気高郡連合婦人会の取り組み		
	5	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17			
1 ・ 日本海 海 テ レ ビ は 申 し 入 れ。 抗 議 の 9 団 体 に 郡 婦 連 も 参 加 。	12 ・ 日本海 テ レ ビ に 「 ケ ン ト ・ ギ ル バ ー ド 」 の 放 送 中 止 を 再 度 。	1 ・ 日本海 テ レ ビ に 「 積 木 細 工 の 上 の 原 発 計 画 」 (講 師 II 生 越 忠 氏) と 郡 婦 連 主 催 。	10 ・ 見 に 、 村 上 郡 婦 連 会 長 も 同 席 。	10 ・ 和 光 大 学 教 授 生 越 忠 氏 の 長 尾 鼻 の 地 盤 調 査 に 関 す る 記 者 会 。	10 ・ 参 加 。	5	27	26	25	24	23	22	21	婦人の十年推進鳥取県協議会主催講演会「核はここまで来ている」(講師II プルトニウム研究会高木仁三郎氏、農協中央会倉吉事務所にて)に郡婦連会員も参加。	
1 ・ 上 関 町 で 中 電 が ボ ー リ ン グ 調 査 開 始 。	12 ・ 上 関 町 で 中 電 が ボ ー リ ン グ 調 査 開 始 。	1 ・ 上 関 町 で 中 電 が ボ ー リ ン グ 調 査 開 始 。	10 ・ 和 光 大 学 教 授 生 越 忠 氏 が 長 尾 鼻 で 地 盤 調 査 。	10 ・ ベ ル ギ ー 沖 で ウ ラ ン を 積 ん だ 仏 貨 物 船 沈 ぼ つ 。	8 ・ 8 ・ 7 ・ 6 ・ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ 上 関 町 で 中 電 が ボ ー リ ン グ 調 査 開 始 。	8 ・ 8 ・ 7 ・ 6 ・ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ 上 関 町 で 中 電 が ボ ー リ ン グ 調 査 開 始 。	上関町議会が原発立地事前調査の請願を採択。 第三回反原発合同合宿。	上関町議会が原発立地事前調査の請願を採択。 第三回反原発風船あげ。	上関町議会が原発立地事前調査の請願を採択。 第三回反原発風船あげ。	岡山県・奥津町で中国地方反原発・反火電等住民運動市民運動連絡会議。	岡山県・奥津町で中国地方反原発・反火電等住民運動市民運動連絡会議。	岡山県・奥津町で中国地方反原発・反火電等住民運動市民運動連絡会議。	岡山県・奥津町で中国地方反原発・反火電等住民運動市民運動連絡会議。	岡山県・奥津町で中国地方反原発・反火電等住民運動市民運動連絡会議。	県内外のおもな動き

新版 編集後記

一昨年十月二十二日、気高郡連合婦人会が講演・記録集『原発のないふるさと』を出版しましたところ、県内の新聞はもとより、全国の新聞に紹介されて、その反響の大きさに、私たち自身面食らう思いでした。

北海道・青森・新潟・石川・福井・兵庫・山口などの各県の、いずれも原発に狙われている所から、本の注文が殺到しました。また、十年・十五年の歳月をたたかっている人たちから、資料や手記も寄せられました。

経済大国の繁栄の蔭にしわよせられた、全国各地の過疎地の住民が、さらに「原発」という重い課題を背負わせられている現実を、改めて実感し、強い衝撃を覚えました。

「これ以上、日本の何處にも原発を建てさせないために、ガンバッテ下さい。私たちもガンバります」——各地の反原発運動の人たちと、メッセージを交しながら、私たちのところの運動が、まだ序の口であることを、痛感しています。

(村上 小枝)

講演とか討議とかを聞いてそれを原稿にしていく過程の中で、いちばん労力を使うのは何といつても「テープ起こし」です。講師の「話し言葉」をそのまま録音したものを、一言一句、間違いなくノートに聞き写していく大念な作業です。これがきっちり出来てはじめて、スペー

スにあわせて、どこをどう省き、どいをどう詳しく原稿に書きこむかがきます。

幾度も幾度も、テープを巻いたり戻したりしながら書き進んでいく孤独なその作業は、毎晩、深夜に及びます。「時間半の講演を「起こす」のに、一介の主婦に過ぎない私では七日～十日もかかります。時として、どんなにしても聴き取れない言葉があつたり、そうした場合に限って自分のメモも取れていなかつたりして、この苦しさは経験した者でなければ分つて頂けないでしょ。

しかし今回の『原発のないふるさと』を出版するに当つて、私はそうしたテープ起こしの作業が全然、負担に思えないばかりか、むしろ愉しくさえありました。反原発運動の小さな力の一つになり得たら——という思いが、私をうさせたのだと思います。

(小泉 澄子)

原発のないふるさと

発行 1983年10月22日(第1版)

1984年4月5日(第2版)

1985年2月15日(第3版)

編集・発行 鳥取県気高郡連合婦人会

689-02 鳥取県気高郡気高町宝木778

村上 小枝 気付

(TEL) 0857-82-0380

価格 500円(送料別)